

# 選定委員会の会議の議事録

# 第1回 選定委員会の会議の議事録

委員委嘱及び任命、諮問の受諾、事務局説明、委員長選出、  
選定委員長職務代理の指名、調査員の推薦、調査員調査内容  
の検討、選定委員会答申資料様式の検討

## 1 日時

令和6年5月9日（木）

会議開始時刻 16:00 会議終了時刻 17:30

## 2 会場

教育文化センター 2階 会議室

## 3 出席者

### ○選定委員会

選定委員長	高幣 泰男				
選定委員（学識経験者）	柏野 貴之	川端 宏典	島津 俊之	庄禮 浩志	
	十河 秀彰	高木 康子	田野岡 教彦	富田 晃彦	
	西岡 真弓	西川 彰彦	三宅 秀夫	山本 茂子	
選定委員（学校代表）	溝口 恵司				
選定委員（保護者代表）	池田 貴章	南 理絵			

### ○教科用図書調査事務局

事務局長	奥山 由佳（教育局長）
事務局次長	前北 博文（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉（学校支援課長）
	竹内 圭（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹（教育研究所専門教育監補）
	岩崎 仁（教育研究所専門教育員）

## 4 令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命

○委嘱及び任命状授与

○教育長あいさつ（奥山教育局長代読）

## 5 諮問

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会様

「令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について（諮問）」

令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について、理由を添えて次のとおり諮問します。

### 1 諮問理由

教科書は、学校における子供の学習用として供されるものであり、市が育てたいと願う子供の像を実現するために重要な役割を果たすものです。

そのため、教育委員会は、教科書の採択権者として市の子供の実態に鑑み、教育基本法及び学習指導

要領に示された内容を踏まえ、確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育成するための教科書を責任を持って採択せねばなりません。

このことを踏まえ、選定委員会では、教科等の指導についての高い専門的見地から、又学校教育に対する保護者の立場から、育てたい子供像を共通理解しながら、全ての教科書について調査研究のうえ、内容について御審議いただきたいと考えます。

具体的には、次の総合的な観点から、又教科ごとの指導内容に即した観点について御審議のうえ、答申をいただきますようお願いいたします。

(1) 和歌山市教育委員会「学校教育指針」に示す「めざす子供像」の実現

(2) 教育基本法及び学習指導要領に示されている教育の目的・目標等の実現

①教育基本法で明確にされた教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成

ア 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現をめざす自立した人間の育成

イ 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成

ウ 我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成

②知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等のバランス

③豊かな心・健やかな体の育成

(3) 教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議、また御審議の際、補助とする資料の作成にあたる調査員の指名及び調査内容の指示についても、お願いいたします。

以上が中心的に御審議をお願いしたい事項であります。学校代表、保護者代表、学識経験者という様々なお立場・観点から選定委員の皆様で、本市の子供たちの学習に供する教科書について、活発な御審議をお願いします。

令和6年5月9日 和歌山市教育委員会 教育長 阿形 博司

## 6 議事

### 高幣選定委員長

当選定委員会では、先程、阿形教育長様から諮問を受けて、全ての教科書についての調査、研究の上、内容についての審議をいたします。ついては、当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ、報告することになります。また、今回、調査研究する全ての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであるということから、法令、学習指導要領の内容、趣旨には合致したものとなっております。従って、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということ協定することを目的としていないと認識しています。以上の点についての御理解、御協力をお願いいたします。

それでは開催要項に従って、議事を進めてまいります。まず調査委員の推薦を行います。教科用図書の採択に関する条例第11条の規定により、選定委員会に教科用図書に係る専門の事項の調査研究を行わせるため、調査員を置くことができるとあります。また、調査員は学校教育及び教科指導に関する専門の知識を有する校長、教頭、教諭等のうちから、選定委員会の推薦に基づき教育委員会が任命するとあります。別紙資料1に案がありますので御覧いただき、御検討ください。

### 高幣選定委員長

別紙資料の案に、御意見等があればお願いいたします。御意見がないようですので、案のとおり決議してよろしいでしょうか。それでは、案のとおり推薦することを決議いたします。続いて、議事、調査内容の検討を行います。ただいま決議した調査員に対して依頼する調査資料の作成における調査項目、観点の内容についての検討をしていただきます。別紙資料2に案がありますので、御覧いただき御検討ください。

### 高幣選定委員長

いかがでしょうか。報告様式は、内容の取り扱い等々の多岐にわたっての項目、またそれぞれの観点というのがきめ細かく示されております。よろしいですか。遠慮なく御意見等があればお願いいたします。この項目等に沿っての調査の様式でよろしいでしょうか。

### 西川選定委員

ちょっといいですか。

### 高幣選定委員長

はい。西川委員、お願いします。

### 西川選定委員

そこまで聞くべきかちょっと悩んだんですが、これは調査員が調査するときの観点ですよ。

### 高幣選定委員長

はい。

### 西川選定委員

たとえば内容の取扱いで、小学校の教育内容との系統性とか他教科等との関連というのが入っていたら、調査員は実際どのようにするんですかね。自分がもししようとしたら、膨大な時間を費やさないといけないので、できる限りという条件が付いたらそれはそれでいけると思うんですが、この観点はものすごく重いので。というか書かざるを得ないんですけども、どんなものかなと。皆さんどう考えてこれを読んでいるのかというのはちょっと気になったんですけども、どうでしょう。

### 高幣選定委員長

なるほど。系統性等については各教科書会社が系統というんですか、それを提示しているというのが、確か私の記憶にもございますので、それを参考にしながら系統性というのは担保できるのかとは思っております。ただ、その中身についてのきめ細かさの系統性というんですか、教科書の中身。それについては、各教科書等々になるんですけども、事務局のほうで、これまでの過去のなかで、このような質問等々で何かありましたかね。

### 北林専門教育監補

調査員の方が調査する期間は非常に短く、選定委員よりも短い期間で調査していただくので、調査員、選定委員ともに教科書編修趣意書を配付しています。これは、各教科書会社が教科書の特色や編修の趣旨や基本方針などを文部科学省のホームページで公開しているものです。それも参考にしながら、実際に教科書を精読して調査していただいています。

### 高幣選定委員長

これは他教科の内容も入っているんですか。

### 北林専門教育監補

そうですね。他教科との関連、小・中の関連とかもよく掲載されています。教科書本体にも関連事項が掲載されています。

### 西川選定委員

分かりました。

### 高幣選定委員長

ただいまの説明でよろしいでしょうか。

### 西川選定委員

はい、分かりました。

### 竹内教育研究所長

ただ、最初に、学習指導要領にも書かれているように、縦の校種間の系統性と横の横断的な学習というのが求められていますので、その辺、先程からの話にもあるように、教科書にもこれは小学校の何々と関連あるよとか、数学でも、これ美術の何々と関連とか、そういう親切な表記にはなっているので、そこから調査員の方で調べていただければなと考えています。

### 高幣選定委員長

ただいま御意見がありましたように、限られた時間内でまとめていくという作業でお願いするという形になると思っておりますので、ぜひともまた御協力をお願いしたいと思います。他にいかがでしょうか。

### 川端選定委員

ちょっといいですか。

### 高幣選定委員長

はい。川端委員、お願いします。

### 川端選定委員

見方・考え方であったり、コミュニケーションであったりというような、いつとき言われていたのはあるんですけども、最近よく聞く言葉にウェルビーイングという言葉がよくあるんですが、心の豊かさというのかな。ものすごく訳がしにくい言葉なんですけど、そういうような観点というのはどこにあるんですか。

### 高幣選定委員長

事務局の方、いかがですか。

### 竹内教育研究所長

まだその観点はちょっとここには入れてはいないですけど。

### 川端選定委員

最近よく言われるんでね。そういうのがこれから生きていく上で必要だろうというのがよく出てくるので。勉強ばかりというのもあるんだけど、勉強をして、これから生きていく力というのかな、どんなに言ったらいいんでしょうか。そういうのが大事なのかなと思うんですけども。

### 竹内教育研究所長

最近ウェルビーイングについても「こどもまんなか社会」などの関連でもよく言われているので。今回のところ文言的にはここにはちょっと書いていないですけど。

### 高幣選定委員長

様式等の文言としては記述がないですけども、その他の項目の一番最後にある現代的諸課題への対応、このなかに意味を含ませているという形で、事務局でまた調査員等への説明の際には、そういう説明を含めてお願いができればなど。今、いただいた御意見を踏まえて、こういう提案というのをこちらからお願いをしたいと思っております。

### 竹内教育研究所長

分かりました。今、委員がおっしゃっていただいたように、ウェルビーイングのようにいろんな現代的課題が数多くあると思いますので、その辺も踏まえて調査員に伝えたいと思います。

### 高幣選定委員長

そのような形で、川端委員よろしいでしょうか。

### 川端選定委員

はい。

### 柏野選定委員

そういった意味では、最近、防災ですかね、その辺というのめかなり現代的な諸課題ということになってくるのかな。安全教育にも含まれているといえはいえるんですけども、御説明するときに防災という言葉を出していただくと、すべての教科につながるとか影響があるとかということではないと思いますが、出していただければまたつながってくるのではないかと思います。もう1つ、質問なんですけど、この報告書のフォントなんですけど、MS 明朝体となっているんですけど、これは何か決まりがあるんでしょうか。最近明朝体よりももっと見やすいフォントなどあると思うんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

### 高幣選定委員長

事務局から説明願います。

### 竹内教育研究所長

最初の防災は、関心も高いと思いますし、それぞれの教科関係なく記載も多いと思いますので、そこは調査員に伝えさせていただきます。フォントについてなんですけれど、最近ユニバーサルフォントなど言われているんですけど、委員の方でまとめるのにいろんなフォントがあってということで、一番最も使われている MS 明朝体を採用させていただいているので。もし皆さんで、いや、これのほうが普段使っているのではというのであれば、それに統一するのは一向に構いません。

### 柏野選定委員

最近、明朝体の細いところが、ものすごく見にくくなってきている自分がある。自分も打つときはどちらかというとユニバーサルフォントをよく使っているので、明朝体というのは決まっているのかなというところがちょっと。でもそれは全然構わないんですけど、ちょっとお聞かせ願いたかっただけです。全然明朝体でも結構なんです。

### 高幣選定委員長

委員の皆さん、どうでしょうか。字の見やすさ等々を考えれば他のフォントのほうがという御意見もそれもそうだなという思いもありますし、明朝体は見慣れているというのは確かにそうなんですけども。

### 柏野選定委員

もう時間も取ってもらっているので明朝体で。

### 高幣選定委員長

特に御意見なく、原案どおりという形で今回は進めていきたいと思っております。原案どおりの MS 明朝体で。他にどうでしょうか。子供たちの教育に直接関わる学校代表者及び保護者の代表者の方々、このような案でよろしいでしょうか。今までの出た案を含めて、よろしいですか。特に新たな御意見等がないということをお断りいたしまして、ただいまいただいた御意見等を含めて協議した内容どおりということで、調査内容については教育委員会で決定したあと、調査員に指示することといたしますので、

よろしくお願ひいたします。では、本日の最終の議事に移ります。答申資料様式の検討を行います。別紙資料の3を御覧ください。答申及び答申資料の形式です。このことについて、事務局の説明があります。

#### **北林専門教育監補**

14名の教育に関する学識経験を有する選定委員の皆様には、諮問内容に沿った答申及び答申資料の作成をお願いしたいと考えております。答申資料には、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点からと、教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点からという2項目から記述することとなっています。御検討お願いします。

#### **高幣選定委員長**

ただいま事務局から説明がありました。大きな2項目からの記述ということで。この和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」というのは、この分厚いほうの36ページの中身、これでよろしいですか。

#### **竹内教育研究所長**

はい。34ページから始まる和歌山市学校教育指針になります。

#### **高幣選定委員長**

いかがでしょうか。答申及び答申資料の形式について、御意見等ございませんか。意見がないようですので、別紙資料3の形式で、答申及び答申資料を作成するということを議決します。それでは、本日の議事についてはこれで終了といたします。

## 第2回 選定委員会の会議の議事録

音楽、技術、英語、美術、書写 調査審議

## 1 日時

令和6年6月14日（金）

会議開始時刻 16:30 会議終了時刻 19:30

## 2 会場

教育文化センター 2階 会議室

## 3 出席者

### ○選定委員会

選定委員長	高幣 泰男				
選定委員（学識経験者）	柏野 貴之	川端 宏典	島津 俊之	庄禮 浩志	
	十河 秀彰	高木 康子	田野岡 教彦	寺川 剛央	
	富田 晃彦	西岡 真弓	西川 彰彦	三宅 秀夫	
	山本 茂子				
選定委員（学校代表）	溝口 恵司				
選定委員（保護者代表）	池田 貴章	南 理絵			

### ○教科用図書調査事務局

事務局長	奥山 由佳（教育局長）
事務局次長	前北 博文（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉（学校支援課長）
	竹内 圭（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹（教育研究所専門教育監補）
	岩崎 仁（教育研究所専門教育員）

## 4 議事

### 高幣選定委員長

お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。本日は現在、15名の委員の方々に出席をいただいております。過半数の出席でございますので、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により第2回和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を開催いたします。本日は、音楽（一般・器楽合奏）、技術、英語、美術、書写の順に5つの教科・種目について調査審議をしていただく予定となっております。その前に、この会の進め方と答申及び答申資料のまとめ方について協議をいたします。まず和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例10条第5項の規定により、各教科・種目の調査審議に先立ち、各教科・種目調査員に資料の提供と、その説明を求めたいと考えております。各教科・種目調査員の会場への出席について、承認いただけますか。ありがとうございます。それでは、御承認いただいたということで、各教科・種目調査員代表に調査結果の報告を求め、質疑応答を行うこととします。調査員退室後、選定委員の皆様で、教科書の内容について調査審議をお願いいたします。続いて、

答申及び答申資料のまとめ方についてですが、本日、教科・種目ごとの調査資料、調査について審議いただいた内容を選定委員会答申資料としてまとめ、第5回選定委員会において、そのまとめを確認・決議し、それをもって答申としたいと考えております。事務局から選定委員会答申資料作成について補足説明等はありませんか。

#### 北林専門教育監補

各教科・種目の学識経験者である14名の委員には、御自身で調査していただいた内容及び調査員の報告、さらに、このあとの選定委員会での調査審議結果についておまとめいただき、答申を添えて資料1にて御提出いただきます。なお、作成いただく委員には、メールにて様式の電子データを既にお送りしております。以上です。

#### 高幣選定委員長

以上、選定委員会の進め方と答申及び答申資料のまとめ方については、よろしいでしょうか。

#### 選定委員一同

はい。

#### 高幣選定委員長

御承認いただきましたので、各教科・種目の調査審議に移ります。当選定委員会では、先日、阿形教育長様からいただいた諮問を受けて、全ての教科書について調査研究の上、内容について審議することとなっております。ついては、当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な審議結果を答申として取りまとめ報告することです。また、今回調査研究する全ての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであることから、法令・学習指導要領の内容・趣旨には合致したものとなっております。従って、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを確認することを目的としないと認識しております。以上の点において、御理解・御協力をお願いいたします。それでは本日の開催要項のとおり、まず音楽の調査員に入室していただき、調査内容の報告をしていただきます。

—————音楽（一般・器楽合奏）—————

#### 高幣選定委員長

それでは、音楽（一般・器楽合奏）についての調査審議を行います。まず調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

#### 金場調査員

調査員の東和中学校、金場澄人です。よろしく申し上げます。音楽科について、調査結果を御報告いたします。音楽科は、教育出版と教育芸術社の2社となります。初めに、教育出版『音楽のおくりもの』からご報告いたします。全学年学習MAPにより、各分野や領域のつながりが図式化されています。また、学習目標を達成するための道筋が、How to Studyにより示されています。このように、教材相互

のつながりが一目で分かるように工夫されています。歌唱教材では、比べてみようというマークで、例として1年生であれば『夏の思い出』と『赤とんぼ』を比較するなどして学習を深めることができるようになっています。創作教材においては、言葉の抑揚を音のイメージに変換したり、言葉の反復や重ね方などを工夫したりするものがあり、他の分野・領域とつながりのある教材が各学年2つずつ掲載されています。鑑賞では、西洋音楽や日本音楽、その他のジャンルのものなどが幅広く紹介されていますが、全ての学年の鑑賞の最後には「音楽を形づくっている要素」のページが設けられており、生徒たちが音楽の音色やリズム、強弱などについて話し合う手掛かりとなっています。また、「Sing Sing」のように、説明の言葉に加えて絵や図を見ながらより良い歌を歌うための方法を理解できるようにしたものや、創作におけるワークシートでは、シンプルかつ段階的に活動できるものなど、学習支援の手だてが工夫されています。二次元コードでは、「見る・聴く・記録する」の3種類に分かれており、生徒の自主的な学習に効果的なものや、教科書に掲載されている資料のイメージをより豊かにするためのものなどがあります。25ページを例に動画を再生します。教育出版については以上です。

次に教育芸術社『中学生の音楽』について御説明いたします。全学年「学習内容」が、歌唱・創作・鑑賞の3つに分けられており、それぞれの領域における学習活動が、どの観点で評価されるかということが明記されています。また、教材には学習目標、考えたいポイント、音楽を形づくっている要素、活動文などが記されており、学習内容と学習方法について明確に示されています。歌唱や創作など、教材の多くの部分で生徒や先生のキャラクターの会話が挿入されており、これは考える観点や工夫することを例示しているもので、これらを参考にしながらグループ学習を通じて学習を深めるための工夫となっています。また、「学びのコンパス」でもキャラクターの吹き出しを参考にしながら、ワークシートを使用するなどして、学習の手順や注目すべき点などについて生徒自身で気づき、理解を深めることができるようになっています。二次元コードでは各教材のカラピアノが収録されていたり、鑑賞ではその教材に関するさまざまな資料が閲覧できたりするようになっています。これらは、生徒たちにとって教材をさらに興味深いものにする手助けになるとともに、自主的な学習でも役に立つと考えられます。創作ツールは、自分で選んだリズムが和音の進行に合わせて再生されるもので、楽譜を読むことが苦手でも、リズム譜を作成することができ、誰でも創作活動に楽しく取り組むことができるように工夫されています。一例をお見せいたします。その他の部分では、写真やイラストの多用、文字の視認性の良さなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮されたつくりになっています。教育芸術社『中学生の音楽』についての説明は以上です。

次に教育出版『中学器楽音楽のおくりもの』について御説明いたします。御覧のように、1つの題材が見開きで示されており、学習目標を達成するための道筋を分かりやすくするための工夫がなされています。また、教材ごとに1つの題材を達成すると、演奏の難易度が上がる構成になっており、演奏技能を段階的に培いながら、次にどのようなことを学ぶのか、学習の見通しを持ちやすい構成となっています。リコーダーの楽譜では、リズムの難易度が高いものが収録されていますが、指使いについては複雑なものが少なくなっています。そして「国際理解」や「伝統文化の尊重」など他教科とのつながりも意識された教材が掲載されています。「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の仕組みや演奏法、自分の着目点についてまとめ、意見交換し、思考力・判断力・表現力を培う活動も充実するよう配慮されています。次に、各題材の冒頭部分にある楽器の名手からのメッセージは、音楽的な見方や考え方、音楽の楽しさや美しさを生徒に伝えるものになっています。また、「音楽や楽器を通じて人と人とのつながりを

生み出す」取り組みの紹介など、社会とのつながりや、それらの果たす役割などを考えられるページが設けられています。二次元コードでは、「動画・音声・学習のための資料」があり、特に模範演奏の動画資料などは、生徒が自分自身で練習するときに非常に大きな手助けになると考えます。動画の一部を御覧ください。その他の特徴としては、楽器の演奏方法について、図や写真を使い分けることで、より分かりやすい解説ができるよう構成されています。教育出版『中学器楽音楽のおくりもの』については以上です。

次に教育芸術社『中学生の器楽』について御説明いたします。教科書は、楽器の奏法、アンサンブル、楽器で Melody、資料の4段構成になっています。そして、楽器の奏法や基本的な技能を確実に習得できるよう、段階を踏んで取り組み、合奏の学習活動を通じて学び合いの活動を行うことができるよう、学習目標、活動文、学びのコンパス等の学習目標を達成する手掛かりとなるものが見開きで示されています。また、音楽的な見方や考え方を意識した学習をさせるために、特に考えたいポイントが教材の冒頭部分に示されています。リコーダーに関してはレッスン1から4へと学習を進めていくと、指使いがやや複雑になっていきますが、曲のリズムは比較的優しく、また聴き馴染みのある曲が多く掲載されています。「学びのコンパス」ではキャラクターの吹き出しを参考にしながらワークシートを使用するなどして、主体的・対話的で深い学びをサポートする構成となっています。また基本的には器楽の表現活動を中心とする内容となっていますが、「My Melody」のような創作教材やリズムの即興演奏も掲載されています。そして、こちらでも二次元コードが多く添付されており、動画、音源、創作ツール、文章やワークシートなどをデジタル教材として使用することができます。そのなかでも練習曲などの伴奏の音源は、生徒たちの演奏技能の向上にとって非常に有効的です。このように、ほとんどの曲の伴奏が二次元コード内に収録されており、それぞれのリコーダーに合わせた伴奏があるので、自分自身の練習やグループの練習に使うことができます。その他の特徴としては、こちらの教科書も、楽器の演奏方法について、図や写真を使い分けることで、より分かりやすい解説ができるよう構成されています。教育芸術社『中学生の器楽』については以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員の皆様から質問はありませんか。

## 山本選定委員

お調べいただきありがとうございました。今年は大ぶん器楽の教科書も含まれるということで、4枚の調査資料が出来てきたかと思うんですけども、御丁寧な調査をありがたいと思っています。この調査報告書の内容から、質問させてください。1つ目は、いつも教科書を見ていて思うんですけども、教科書会社によって、教材の配置がまず違うということ。同じように1年生、2年生、3年生と学習していくなかで、教育出版では1年生のときに学んでいく教材を教育芸術社では2年生の教材として扱っているという点。その点は、調査員の方々に、何か議論されたことがあるかなということが1つ。それからもう1つは、教育芸術社の教科書の構成が、少し今までと違って、今まで2年生で学んでいたものが1年生の教材になっていまして、例えば混声合唱に1年生も入ります。小学校から同声の曲として扱う、同じ声で学習していたものが、混声へと変わっていくなかで、使われていた曲が変わってきていると思うんです。具体的に言うと1年生の『夢の世界』で、混声合唱に変わってくる。どちらの教科

書も、順を追って、小学校からの系統で4拍子、2拍子、3拍子、それから複合拍子の8分の6拍子となっているところが、1年生のところに『夢の世界』で、難しい拍子がきている。そういうことも含めて御議論されたのかなということが2つ目。3つ目は、他教科との関連で、道徳との関連とここに詳しく説明されているわけですがけれども、どういったことが道徳との関連になっているのか。例えばその教材で、こういう曲を扱ったときに、道徳ではどうだったのか。ちょっとその辺をたぶん歌唱教材も鑑賞教材も配置が違うということも含めて、表現領域、鑑賞領域で含めて教えていただけるとありがたいなと思います。

## 金場調査員

まず教材の配置ですがけれども、確かに、調査をしていく段階で、今まで2年生で教えていたものが、1年生に下りてきているというのは、私たちも気付いています。調査員同士、話をするなかで、そのことについて結論が出たとか、そういうわけではないですが、確かにその話のなかと、私個人的な思いとして、えっ、1年生にこの曲をもってきたのかというような思いもあり、個人的な感覚になりますけれども、これを1年生で指導するのは難しいのではないかなと感じたというのが正直なところなんです。ちょっと答えになっているかどうか微妙なところではありますが。それから2つ目の御質問ですが、おっしゃるとおり『夢の世界』が1年生に下りてきた、今まで2年生でやってきたものが1年生に下りてきた。しかもその8分の6拍子という少し難しい拍子であると。そのことについて、調査員同士特に議論というのはしていませんが、これも、先程申し上げたように、歌うだけは歌えると思うんですが、音楽の構成というか、リズムの要素とかそういったものを学習するとなると、8分の6拍子というのは、なかなか難しい。1、2、3、1、2、3、1、2、3と、いわゆる1拍を3等分するようなイメージで歌わなければ、歌うというか曲のノリを作らなければいけない、そういったことを教えていくというのは、少し難しいのではないかなと感じています。それよりは、やはり1年生の1番最初に教えるのは、やっぱり4拍子で、1、2、3、4と拍をとっていくのが、指導もしやすいし、歌いやすいのではないかなと感じます。それから、他教科との関連というのは、特に教育出版で、2・3下の本であったと思うんですが、より社会科との関連というつながりが、深くなってきているのかなと思います。『ブルタバ』は、これはチェコの国民楽派といわれる民族復興運動に深いつながりのある、そういう思いを込めて作曲したという。それに加えて、シベリウスも出てきているフィンランドの作曲家で、こういったものも社会科とのつながりが深くなって、より顕著に出ているかなと思います。それから、道徳との関連というのは、特に日本の楽器、日本固有の楽器、琴とか三味線とか、そういったものを学習するときに、ただ楽器を演奏するだけではなくて、礼儀であるとかそのときの立ち振る舞いとか佇まいであるとか、そういったものも、大切なんだよという文言が教科書に入っているという部分が、道徳の日本の伝統文化を重んじるという部分とつながってくるのかなと、調査員で話をしました。以上になります。

## 山本選定委員

ありがとうございます。

## 高幣選定委員長

ありがとうございます。他に、御質問ございませんか。他に質問がないようでしたら、調査員には、退出していただきます。ありがとうございました。

### 金場調査員

ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは、調査審議に移りたいと思います。お手元に、音楽の教科書がありますので、それを見ながらにはなると思うんですけども。皆様には教科書についての調査研究をお願いしているところです。ただ今の調査員の報告や各自でお調べいただいたことから、各社の特徴について等々、御意見等もございましたらまた伝えていこうと思います。山本委員に御質問なんですけれども、意見をいただきたいんですけど、先程教材の内容が2年生から1年生にということになりましたので、その指導の難しさであるとか、生徒の立場に立って、その難しさに対して、何か指導がいるとかという、専門的な意見等ありましたら委員の皆様にご説明いただきたいと思います。

### 山本選定委員

ありがとうございます。見せていただいたなかで、まず一番分かりやすいのが、鑑賞教材で、教育出版は、1年生はそんなに変わらない。2年生と3年生が、まず歌舞伎とか、お能とか、そういう扱いが違います。歌舞伎は3年生で学習することに教育出版ではなっていて、教育芸術社では、2年生に歌舞伎、それを西洋の音楽と、オペラと照らし合わせて学習するとか、逆に教育出版では、歌舞伎を3年生にもってきて、日本音楽を深めるという形で扱っています。歌唱においても、共通教材というのは必ず中学校で歌唱する、学んでいくという教材なんですけれども、それが教育出版では、1年生に、「夏の思い出」と「赤とんぼ」、教育芸術社は、「赤とんぼ」と「浜辺の歌」と、そういうふうに変ってくるんですね。どちらも指導しにくいとか、そういうことではなく、それなりに似通った点、共通点、相違点があるので、教育出版では、相違点というところ、比べてみようということで、ワークシートもできていますし、教育芸術社では、共通点、それから1曲を深めていきたいと思いますということで、載っていますし、どちらがどうのというのではないんです。ただそういうふうに各教科書会社の思いが、教科書によっては違ってくるので、その点を、どういうふうに御協議されたかということをお聞かせいただきかったので、違いを聞かせてもらったんです。ただ、道徳との関連性と載っているのも、教育芸術社の特に器楽の調査書内容のほうに。それってたぶん、すごく分かりにくいと思います。器楽のなかで、その曲の伝統音楽、それから西洋の音楽、知っている曲、歌詞が付いているものなら、たとえば、生命の尊重だったら、その歌詞のなかから読み取って、道徳との関連性ができたりとか、それから日本の伝統、器楽のほうでは、今、調査員がおっしゃってくださったように、礼儀を重んじるとか、そういうことでつながっていくんだと思うんですけども、その辺のことが、ちょっと調査資料に書かれていたので、質問させていただきました。

### 高幣選定委員長

教科書会社が意図するところというのは、当然今回みたいに大きく教科書内容が変わってくる、また

その表現の仕方が変わっているというような、二次元コードがあったりとか、演奏の映像の場面があったりというのは、これまでないようなのが、先程説明をしていただいたところになりますので、大きく変わるなかでも、これまでの指導のあり方がどうだったかと振り返りながら、そういうふうを考えていけたらと思っておりますので。他にはどうでしょうか。

### 高木選定委員

二次元コードのことを先程聞いたら、再生していただいたりして、本当に今の教科書って、素晴らしいなと感動したんですけども。私が見落としているかもしれないので、ちょっと教えていただけたらと思います。2社あるうちの1社は、教育芸術社ですかね、歌唱の教材のときは、メロディーが、主旋律とか、二次元コードを読み取ったら、音符が読めない子でも、どんな曲かなということが分かるし、ある程度、歌えるようになったら、カラピアノが付いていたかなと思うんですけども、教育出版のほうは、どうなのかなと思って、さっきから見ているんですけど、そこまで詳しく見られなかったので、カラピアノがあるのとなないのとでは、授業で扱ったりするときには、あるいは子供が家庭学習するときでは、どうなのかなと思いつつ、ちょっと見せていただきました。

### 山本選定委員

教育出版の二次元コードは、「見る」とか「聴く」とか、「記録する」が、即座に分かる記号が入っていると、調査資料に書いていて、確かに聴くのはありますよね。たぶん、後ろの合唱曲とか、曲によって付いているのと付いてないのがあるんです、教育出版は。教育芸術社はたぶん全部曲については、付いている。その点についても、たぶんデジタル教科書では、パート別とか、聴くとか見るとか、その辺は二次元コードが付いてない分でもいけると思うんです、教材として。

### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。他にございませんでしたら、ただいまの御審議いただいた内容を調査審議結果として、まとめるということよろしいでしょうか。それでは、審議の内容を、調査審議結果として、まとめると決意いたします。

—————技術・家庭（技術分野）—————

### 高幣選定委員長

それでは技術家庭（技術分野）について調査審議を行います。まず、調査員のほうから調査結果の報告をお願いいたします。

### 宮田調査員

技術家庭科（技術分野）調査員の楠見中学校宮田大成です。

### 岩本調査員

同じく西浜中学校の岩本貴裕です。

## 竹内調査員

河北中学校の竹内伸行です。

## 宮田調査員

それでは、東京書籍、教育図書、開隆堂の教科書について調査結果を御報告いたします。まず、東京書籍について、調査結果を御報告します。内容の取扱いについて、10、11ページでは、「SDGs と Technology」というページを設け、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割を2ページにわたり技術的な視点の具体的な例を示しながら、分かりやすく説明しています。続いて、28、29ページでは、学校の机を例に身近な題材を設定することで、技術が日常生活に多く関係していることを感じさせ、興味・関心が持てるように工夫されています。また、リンクマークを用いて、教科間の連携を図るよう工夫されています。またページ構成として、基本のページでは、左上に「目標」、それから「学習課題」、それから右下に「まとめの学習」など全見開きの同じ位置に配置されており、指導する側・学習する側ともに学習しやすいページ構成となっています。さらに、各ページ下部には「技術の工夫」として、学習内容の補助的にワンポイントとして説明がされていまして、また、右上には二次元コードを掲載しており、タブレット端末の活用も想定した紙面構成になっています。74、75ページでは、このページだけではありませんが、製作品の例においても、問題解決例を示し、生徒自身の問題発見のきっかけとなるようなテーマを掲げ、問題解決のプロセスを大切に紙面の構成となっております。134、135ページでは「すごろ技術」という各分野の匠の紹介ページとなっております、実際に関わっている方の生の声を紹介することで、よりリアリティのある興味・関心が持てる内容となっています。また、この「すごろ技術」は、各編の章末に掲載されており、どの編でも見ることができます。258、259ページでは、「これからの情報の技術」というところで、新しい情報・技術としてAIを図や資料を用いてたくさん扱っており、最新の情報に関する内容も充実しております。

続いて教育図書について調査結果を御報告いたします。ガイダンスでは技術分野の各編における学習内容の紹介で始まっています。具体的には4、5ページでどのような技術があるのかを図解入りで説明し、問題解決の考え方や安全に関する内容が記載されています。学習補助としては各単元で二次元コードが用いられ資料や動画、ワークシートの閲覧が可能であったり、別冊でスキルアシストといった補助教材も用意されています。書体には誰でも読みやすいようにユニバーサルデザイン書体が採用されており、重要語句も青文字が使用されています。また、特別支援学校での実習例を記載するなど特別支援教育にも配慮されております。16、17ページなどでは、各編の技術が自分たちの生活にどのように生かされているのかを取り上げるところから始まり、各章末では学んだことのまとめを設け、学習を振り返りながら理解度を深めていく工夫がなされています。特に167ページにある「スゴ技」では和歌山市の企業が取り上げられており、生徒たちに郷土企業の技術を紹介する良い機会になると考えます。「材料と加工の技術」では48、49ページにある製図の描き方は少し複雑な立体を例として取り上げており、授業を進めるに当たっての工夫が必要であると考えます。製作品例では一つの作品に対して6ページ用いるなど詳しい内容となっていました。「情報の技術」では204ページにあるようにアクティビティ図を用いてプログラムの流れを生徒が理解しやすいように解説するとともに、双方向性や計測・制御についての内容が豊富に取り扱われていました。

続いて開隆堂について、調査結果を御報告します。この教科書では、見方・考え方を働かせるための

工夫として、12、13ページでは、まず、ガイダンスで身近な具体例を挙げながら技術の見方・考え方のイメージが示されています。それと同じ形で各内容でも製品を例に見方・考え方が解説されています。さらに、振り返ることもできるようになっているため、生徒自身が活用できるように工夫されています。14、15ページでは、問題解決的な学習を促すために、まず、問題解決の流れが巻頭に漫画形式で例示されています。また、学習で行う問題解決の流れが共通化されているため、生徒が理解しやすく、問題解決能力が高まるよう工夫されています。28、29ページでは、基本ページのページ構成について、学習目標を達成できるよう、各小項目は冒頭に「学習の目標」が設けられていて、「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっています。実習を含め見通しの立った授業展開を行えるよう工夫されています。見開きページの右上には、自主学習や自主的な家庭学習を促せる工夫として二次元コードから読み取る学習コンテンツが配置されています。また、各編の冒頭に小学校や他教科とのつながりを一覧で記載している他、29ページにあるように、随所にそれぞれのマークを用いることで分かりやすくなっています。34ページでは、実習についての基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにするため、「切断のしくみ」「あさり」のしくみのように、科学的な根拠をもとに技術を理解・習得できるようにしています。276、277ページでは、言語活動の充実を図るために、製作品を図や表を用いて分かりやすく表現されています。成果の発表や自己評価、相互評価を行えるなどの言語活動を充実させ、言語能力を養えるように工夫されています。以上です。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員の皆様から質問はございませんか。

#### 庄禮選定委員

技術を長く教えてきた者として、限られた時間のなかで3社の教科書を調べていただきまして、ありがとうございます。私が教師をしているときは開隆堂と東京書籍の2社が主だったんですけども、今回、前回は3社があって、教育図書につきましてはスキルアシストという別冊のものが付いて、これ自分で何か物を作ったり、修理をしたり、また栽培をしたりというときに、その実習のエッセンスというかな、そういうところが述べられていると思うんですが、授業される先生方からすれば、こういった別冊が付いているのいいのか、それとも1冊になっているほうがいいのかというところをちょっとお聞かせ願いたいと思うんですけども。

#### 竹内調査員

スキルアシストですけども、補助の教材としているんですけども、東京書籍にしても開隆堂にしてもこの内容については、教科書のなかに書いていることをまた別枠で書いている、それを詳しく書いているということであって、先生にもよると思うんですけども、教科書を教えていく流れのなかで、分かりやすいところと言ったら、両刃ノコギリの切断のページがあるんですけども、たとえば4ページであつたら、両刃ノコギリはあさりがあるから摩擦があつてもスムーズに切れるんだよというようなことを科学的にここで説明しているんです。ただ、他の教科書に関しては、そのことも、もう既に教科書のなかに載っている。だから、教科書のなかで完結をするのか、それともまた別枠でそのところを説明するために、スキルアシスト出してと言つて説明するのは、その先生の好みかなと思います。

### 庄禮選定委員

子供たちにとってもどっちが使いやすいかということを中心に考えていかないとと思いますが、先生方が調査されて率直な意見としては、1冊の教科書のなかで完結されているほうが、子供たちも授業するほうにとっても学習していきやすいのか、スキルアシストがあることによる何か利点があるのかというところが。

### 宮田調査員

個人的には、子供たちの教科書の管理等を含めると、載っている内容は先程も言っていただいたように、各社同じような内容が載っていますので、それが分かれているか一緒になっているかの違いだと思いますので、個人的には、分かれているほうがなくすとかそういう心配は正直あるので、1冊のなかで完結しているほうが使いやすいかなとは思っています。

### 岩本調査員

私も同様で、生徒が管理をするとなったときに、2冊に分かれていたら、紛失ということが考えられますので、同じ内容なら1冊にまとまっていたほうがいいのかとは個人的には思います。

### 竹内調査員

私は、見てみたらすっきりと収まるようにはなっているので、ほんとうにこんな感じですっきり収まるようにはなっていますので、なくすというのも心配されるにはされるんですけども、本当にノコギリの構造面のところを説明するのに、それはスキルアシスト、製作工程に関してはこの教科書とか、そういう切り替えはできるという利点があるというのと、あと先生方がおっしゃっているように、確かに別々にしてしまっ、どこかにいってしまうという可能性は確かにあります。ただ、すっきりとは収まっているとは思っています。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。御質問等ございませんか。

### 庄禮選定委員

教科書選定とは関係ないかも分からないですけども、最近は複数校を1人の先生が回っていただいているという話を聞きますけども、経験の浅い先生が教えるとなったときに、3つの教科書の利点があれば教えていただきたいと思います。

### 宮田調査員

まず、東京書籍は説明もさせていただきましたが、2ページのなかで目標であったり学習課題であったり、それからまとめてみようであったり、本当に教科書に書いてあることを授業でやっていただければ、押さえるべきところを押さえられる授業ができるんじゃないかなと思われる構成にはなっていると思います。

## 岩本調査員

続いて、開隆堂ですけれども、開隆堂も授業の流れというのが学習の目標から課題、最後のまとめ、振り返り、チェックとどのページもなっていますので、非常にやりやすいのかなと思います。各ページ、見開きのページに二次元コードも付いていますので、もし実際に実物を用意できない場合でも、二次元コードを使って見ることもできますので、この教科書の流れに沿ってやれば大丈夫かなとは思いますが。

## 竹内調査員

教育図書も同じような感じで、4分野とも同じような流れで、技術を見つめよう、技術を生かそう、未来を作ろうと、知識技能であったり、思考判断であったり、主体的に学ぶ力であったりというところを各章でまとめています。それを見ていくと、この教科書の流れに、どの教科書もそうなんですけれども、流れに沿って、学習していけば経験の浅い先生も無難には授業をできるかなと思います。だけど、それは東京書籍であっても開隆堂であっても同じで、それに教育図書が特化しているわけではないんですけれども。ただ、教育図書については結構プログラミングのところとか計測制御のところを結構ページをとって説明しているのが、分かりやすいかなと思います。

## 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。

## 富田選定委員

専門は理科なんですけれども、教科書を読んでいますと、現代的な若い先生が読みやすいかどうかというところが、少し差が出ているところがあったんです。今、質問なさった質問によく似た質問を実は持っていたので、質問しようと思っていたんですが、技術の免許をお持ちの先生であっても、技術は確か4領域あってすごく内容がバラエティにありますよね。たとえば、プログラミングに強い先生はいらっしやると思いますけれども、栽培については実はお手上げだといったことがあると思います。理科もそうです。たとえば栽培は非常に得意だけど栽培ばかりするわけにはいかない。そういったときに、栽培で鍛えた先生が、たとえばプログラミングのところは読みやすいのか、技術の免許をお持ちだけど、それでもたぶん4分野のうちのどれか1つぐらいを重点的にやってこられた方が多いと思うので、その点からも過不足がなさそうなんですか。私も技術の教科書をカラフルで楽しいなと思って見たので、何も手元にメモはないんですけども、改めてここまでの幅広い範囲といいますか、私は技術の教員ではありませんけれども、4つのうち1つやるのが精一杯かなというぐらいの広さですから、その点で若い先生が教科書を見て勉強していけるような教科書となると、どれかという、そんなものがありましたか。

## 宮田調査員

紙面の構成的には、専門性などを問わず、本当に紙面に書いている内容を上から順番にやっていただければできるような紙面構成にはなっているとは思いますが。ですが、技術の教科性のなかで実習を伴う分野でいうと、載っている内容じゃないような実習内容をする場合もありますので、そういったところ

では専門性がやっぱり必要になってくるところはあると思いますし、逆に言うと、経験が浅い方でも実習例を見ていただいて、そのとおりにやっていただくことは可能だとは思いますが、それは3社とも豊富な実習例が載っていますので、そのとおりにやっていただくということで実習もカバーできるようにはなっているとは思いますが。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。他に質問がないようですので、調査員には退出していただきます。ありがとうございました。

#### 調査員一同

ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究等をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や各自でお調べいただいたことから各社の特徴についての御意見等々ございましたらお願いしたいと思います。幅広い領域でありますし、実技や実習を伴うところもありますし、この場ですべてのことを網羅した意見を述べ合うというのは難しさがございますが、専門的な立場から今の報告を聞いて何か御意見等ございましたらお願いします。

#### 庄禮選定委員

非常によくできている教科書で、3社とも比較は大変難しいと思います。スキルアシストについてもあるのがよいのか、やっぱりメリットもあればデメリットもあるということ、でも2人の調査員が言われたように、やっぱり子供たちにとっては2つあると紛失したり忘れてきたりということもあるのかなというのが。でも目新しいエッセンス的なことは、こちらに実習のエッセンス的なことは載っているので、たぶんメリットもあるんです、これに。そこなんかが本当に難しいなと思います。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございます。別冊であると紛失しやすさということについて保護者の立場から何か。

#### 南選定委員

教科書をたくさん持っていくのがすごく大きいし、小さくはならないし、かなり鞆に詰めて、クラブのも背負って持っていくわけですけども、やっぱり中学校とか、小学校もそうですけども、教科書を小さく少なくて、二次元コードでできるような教科書を作ってもらえたほうが、子供にとってもいいと思いますし、親も探すのも、あれないねんと言われて、うわあと2階に上がって探すのも、朝から一苦労なんで、そういう手間もないほうがいいかなと思います。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございます。教科書の大型化というのが傾向的には進みつつあるんですけども、今回の教

科書では若干大型化になりつつも、内容が絞れるようなところは絞りながらも二次元コードを使いながら、そこでまたボリュームを持ってきているというような、それが各社どの教科も、またこの技術も同じようなことになっているのかなというような感想でございます。どうでしょうか。他に何かございませんか。今まで言っていたいただいた御意見でまとめさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。それでは、審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。次の教科に移っていきたいと思っております。それでは英語の調査員に入室をお願いいたします。

---

英語

### 高幣選定委員長

では、英語についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

### 戸川調査員

英語科調査員、河北中学校の戸川定昭です。よろしくお願いいたします。

### 橋調査員

同じく紀伊中学校、橋市郎です。よろしくお願いいたします。

### 橋調査員

東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の教科書について、調査結果を御報告いたします。報告の流れは御覧のとおりです。よろしくお願いいたします。初めに、教科書の内容や構成で各社共通して工夫されている5点を紹介させていただきます。1点目は、小中の接続が意識されていることです。1年生の教科書の最初は、小学校での学習の流れを生かしつつ、スムーズに中学校における学習へ移行できるような内容になっています。2点目は、国際的な視野を養えることです。自国の文化とともに他国の文化に触れることができます。また多様な国や地域、人種・民族が登場しており、国際理解・異文化理解が深められるようになっています。3点目は、デジタル教材が充実しています。音声や動画などのデジタル教材を使った学習が有効な箇所には、二次元コードが明示されているため、1人1台端末を生かした家庭学習や個別最適な学びをサポートしてくれます。4点目は、ユニバーサルデザインです。見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントが使用されています。また、色覚の個人差を問わず、より多くの生徒が見やすくなるようカラーユニバーサルデザインにも配慮されています。5点目は、達成目標（Can-Do List）の明示です。各社、巻末にCan-Do Listが掲載されており、4技能（5領域）別に学習到達目標が示されています。学習の見通しを立てることや学習を振り返ることに役立てることができます。続いて、各社の教科書の特色を紹介させていただきます。中学校学習指導要領では、外国語の目標に「聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」と示されています。今回の報告では各社の教科書でどのような言語活動が取り入れられているのかを中心に、特色を紹介させていただきます。

初めに、東京書籍『NEW HORIZON English Course』です。画面が見づらければ、お手元の教科書、3年生の9ページを御覧ください。各単元の最初にUnit Questionで単元を貫く問いに触れます。その

後、それらの単元で何が英語でできるようになるか、GOALを確認します。さらに、Previewで、デジタルコンテンツの音声や画像で、本文につながる情報に触れることにより、見通しをもって学習ができるように工夫されています。続いて、10、11ページを御覧ください。Unit前半のPart1、Part2で、新出文法を含んだやや短い英文で情報を取り入れます。次にRead and Thinkで、思考をさらに深めるために、やや長い英文を読んだり、聞いたりする学習活動を行い、ユニットの最後には、Unit Activityで、目的・場面・状況を意識したアウトプット活動で、知識・技能を活用する機会が設定されています。これらの活動により、思考力・判断力・表現力の定着を図るとともに、最初の単元を貫く問いを振り返り、自ら身に付けた能力を自己評価することができる構成となっています。デジタルコンテンツも、画像や動画が豊富にあり、充実しています。

続いて、開隆堂『Sunshine English Course』です。3年生の34、35ページを御覧ください。本文の読解に当たってタイトルの下にあるように読み取るポイントが示されています。生徒は何を意識して読めばよいか、目的を持ってリーディング活動に取り組むことができます。New Wordsの下部には、生徒の読み取りの理解を助けるために背景知識を活性化させる工夫がなされています。「音読 Check」の欄があり、即興で話す力を付けるための音読を促すように考えられています。ページ下部の「Today's Expression」で目標言語材料を学習したあと、それらを自然な場面で使えるように「Small Talk」が各課で3回程度取り入れられており、生徒のスピーキング力を高めることに重点が置かれています。本文の内容を読んだ後「Retell」の活動が設定されていて、学んだ題材の内容を深め、思考力・判断力・表現力の定着も図ることができる構成となっています。各課の最後には「Action」という問題解決学習があり、読み取った内容を自分事として表現できるような活動を行うことができます。

続いて三省堂『NEW CROWN English Series』です。2年生の7ページを御覧ください。各課の最初のページには、あらかじめ「Activity」の活動内容が示されています。単元の目標を最初に確認することで、生徒に学ぶ目的やこの単元を通して身に付けてもらいたいことを考えさせ、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されています。続いて、8、9ページを御覧ください。基本的に見開き構成となっており、その時間に学習する内容が一目で分かりやすくなっています。見開きの教材の配列が、左上から、ペアで「Small Talk」を行い、次に音声・動画の視聴を通して、場面や状況を把握します。続いて基本文で新出文法を確認し、エクササイズで練習問題に取り組みます。右のページには本文があり、その下には、内容理解についての問題があります。最後に「Think about Yourself」で発信を行います。各課においてパターン化されており、学習の流れが分かりやすくなっています。

続いて教育出版『ONE WORLD English Course』です。各課の初めにGoalが設定されています。また、各課は3つのPartに分かれており、各Part4で技能を用いて、学習ができるようになっています。最後にTaskというページがあり、複数技能を用いて行うGoalに沿った課題が掲載されています。3年生の73ページを御覧ください。Tips for Listeningでは、こちらの緊急避難時の他にも空港やコンサートでの案内など、海外で必要な場面を設定しています。Tipsでは生徒たちに聞き取るコツを示しています。続いて、同じく3年生62ページを御覧ください。Tips for Writingでは、文章の書き方、アイデアの出し方のコツを説明しています。このように、Tips for～では4技能におけるコツが示されています。また、デジタルコンテンツでは「まなびリンク」を設け、音声、動画、ワークシートなど学校での学習だけでなく、家庭学習でも活用できるようになっています。さらに3年生の教科書には英語学習法が掲載されており、自習学習の幅を広げることができます。

続いて、光村図書『Here We Go! ENGLISH COURSE』です。3年生の9ページを御覧ください。各単元の最初に「Goal」で、聞く、読む、話す、書くの技能で、具体的に、英語で何ができるようになるのか認識します。その後、「About You」で、単元のトピックと関連した問いを学習者に与え、学習者がその問いに英語で解答することによって、学習の見通しを持てるように構成されています。10、11ページを御覧ください。ページの左側の英文でインプットし、右側のページで英文と関連した言語活動を行うことにより、言語の使用場面と、言語の働きを意識したアウトプット活動につなげることができます。これらの学習活動を繰り返すことで、知識・技能が定着され、最後に「Goal」で、目的・場面・状況を意識した、さらに高度なアウトプット活動で、思考力・判断力・表現力を向上させます。最後のGoalに取り組んでいる生徒を観察することで「主体的に学習に取り組む態度」の評価も比較的容易に行うことができます。

最後に、啓林館『BLUE SKY English Course』です。各課の最初には、インプットとアウトプットの目標が示されています。3年生の8、9ページを御覧ください。知識・技能を確実に習得できるよう、スモールステップによる学習場面が設定されています。本文は、初めにリスニングから入ります。聞くポイント（問い）を読んでから本文を聞きます。「Enjoy Chatting」では即興的なやりとりができるようになるための活動が示されています。「Target」では学習する目標文と文法の解説を示しています。9ページには、Listen/Speak/Write が設定され、知識・技能の定着を図ることができます。Express Yourself では、目的や場面、状況に沿って、Listen や Speak で身に付けた技能を使い自己表現をします。続いて、15ページを御覧ください。各課の最後には、御覧の Output 活動、(Think&Speak/Write) が設置されています。思考力・判断力・表現力の定着を図ることができます。また、Check では自分の目標達成度を振り返り自己評価をすることができます。指導と評価の一体化を体現した教科書となっています。また、デジタル教材も充実しており、主体的な学びや個別最適な学びをサポートしてくれます。以上で、報告を終わります。ありがとうございました。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員から質問等はございませんか。

## 十河選定委員

本当に簡潔に分かりやすくまとめていただきありがとうございました。質問2点お願いしたいと思います。1点は、各社共通の工夫があったという点で、小中連携がありますが、その部分をもう少し具体的な例を挙げて教えてくれたらうれしいなと思います。簡潔で結構です。もう1点ですけど、各社工夫はされていると思うんですけど、リスニングの課題のボリュームという点ではどうなのかなと思っています。

リスニングのタスクがあるじゃないですか。課題があって、たとえば頻度だとか聞かせるボリュームだとかいうのはどうなのかなという点について、お調べになっていたら教えてほしいんですけど。ただ、大学入試の共通テストで、共通テストに変わって5年目になるんですけど、リーディングで100点、リスニングで100点というセンター試験のときに比べると75：25の割合から100：100になって、これかなりボリュームがあって、リスニングテストだけで60分、解答時間30分と今そんな中身になっているんですね。ですので、中学校のこの段階、中3の子からしたらあと3年後には共通テス

トを受ける子供たちが半分ぐらいいると考えたときに、この教科書のリスニングの課題のボリュームだとか、出てくる頻度とかどうなのかなと少し気になったので、もしお調べになっているんだったら教えていただきたいと思います。以上2点です。

#### 橋調査員

では、1点目の小中接続のところなんですけど、急に文字に入るのではなく、まず音声から入って、小学校で触れたような文法を基に、そこから徐々に文字を書く活動に移していくといった特色が各社で見られました。2点目のリスニングのボリュームなんですけれど、各教科とも言語活動のなかで、やっぱり聞くことをまず重点に置かれているなというのはすごく感じて、同じ本文を取り扱っていても、まずリスニングの視点であったりとか、デジタル教材も充実していますので、二次元コードで個人で聞くこともできますし、繰り返して聞くこともできますし、速度調整ができることとかもあり、かなり充実はしていると感じました。

#### 十河選定委員

ありがとうございます。

#### 戸川調査員

補足で言うと、言語の習得はまず聞くことから入るので、多くの教科書はまずリスニングから入っていくことがすごく多いです。ただ、リスニングとリーディングというセンター試験から変わった共通テストでいうと、受動の形しかないので、リーディングとリスニングで50パーセント50パーセントになっていると思うんですが、教科書の学習というのは話す、書くもありますので、リスニングのところだけポンとすごく多いということではなくて、4つの技能をバランスよくということで、ボリューム的にはそういったことになるかと思います。以上です。

#### 十河選定委員

ありがとうございます。

#### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。

#### 十河選定委員

もう1点デジタルのことを出していただきましたので、英語という教科、全国一律小学5年生から中学3年生まで、児童生徒用のデジタル教科書が導入されるということで、そのなかでの使い勝手みたいなことを、こんな使い方ができるという例があったら教えていただきたい。

#### 橋調査員

生徒用のデジタル教科書まで見る時間がなかったなので、そこは見れていないですけど、教科書に付いている二次元コードを読み取った際に、今までだとリスニングが中心だったんですけど、かなり動画が

増えたなという印象があって、われわれが授業で使うようなものが、そのまま教科書の二次元コードを読み込むことで見ることができ、視覚的にもかなり得る情報は多くなっているなという印象は感じました。

#### 十河選定委員

ありがとうございます。以上です。

#### 高幣選定委員長

他にございませんか。特にないようでしたら、今まで出た意見等々参考にさせていただきながらまとめていきたいと考えておりますが、質問ございませんか。それでは他に質問がないようですので、調査員の方には退出をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

#### 調査員一同

ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところですが、今の調査員の報告や各自でお調べいただいたことから各社の特徴についての御意見をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

#### 富田選定委員

英語専門の十河委員、もしご存じでしたら、先程聞けば良かったんですけど、大学入試を意識されているとお話でピンときたんですけど、中1、中2、中3の教科書を見ていくと、中1の話題と2、3年の話題はずいぶん違うと。にもかかわらず、会社によって中2、中3のときの話題の広げ方にずいぶん差があるように思います。ずっと日常の経験を基にして書いてあるのに、比較的書いてあるのと、社会問題やいろんな自然現象に広く触れている、だから英語を入口にしていろんな人間の文化を見ていくのに比較的重きを置いているのと、とにかく自分たちの生活の周りをちゃんと表現できるようにというので、少し性格が出ているかなという気はします。好みの問題かもしれないんですけど、英語を専門にされる方たちには気になるところですか。私は英語専門じゃないんですけど、ざっと見て気になったので、日常生活だけで終わる会社と、広く世界に行く会社とずいぶん差があるなと思いました。感想ですけどいかがでしょうか。

#### 十河選定委員

切り口が日常からスタートしていますけれど、3年生まで会話中心でやりながら、でも国際社会に目を向けてとか、人権、社会問題に目を向けているところまではいけているとは思っています。ただ、そういうことをこの1冊に詰め込むとかなり重い教科書になってしまうと思っていて、それこそ教科書に出てくる中学生がスーパーマンのような、これも出来て、あれも出来て、こんなことも出来てみたいな、ちょっと現実的ではないなという、実際感じるようなストーリーとかもありますので、そこは指導者の

好みにもよるとは思いますけれど、バラエティに富んでいていいのかなと思っています。

#### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。特に英語科についてはデジタル教科書ですかね、児童生徒用というのが今年度入っているのかなと思いますので、紙の教科書とデジタル教科書の上手な使い方というのは、御質問もいただいたんですけども、もう少し機会があれば参考になるようなもの聞かせていただけたらなと思います。

#### 十河選定委員

基本的に教科書に示されている二次元コードしかデジタル教科書での再生ができないというようになっています。教科書会社によっては、それプラス1人何百円かを払えば、先生が使っているような機能まで付けられることが出来ますよという会社もございますけれども。基本この二次元コードで読み取ったのと同じものがここに現れてくるというふうに。ただ、読み取る必要がないので、ボタンを押せばそこで何回も繰り返して聞けたりとか、動画が見られたりとか、そこでテーマになっている外国の情報が外へ飛んで、拾えたりとかそんな工夫ができるようになっています。

#### 高幣選定委員長

教科書のデジタル化も先行して英語科で小学校、中学校のほうも進んでいっていると思いますので、そういうのも参考にしながらまた考えていったらなと思っております。他に御意見等はでしょうか。ございませんか。なければ、ただいまの審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということでもよろしいでしょうか。それでは、審議いただいた内容を調査結果としてまとめることとして決議いたします。

#### 高幣選定委員長

それでは次、美術の調査員に入室していただきたいと思います。また机上の美術の教科書等をご用意していただいていると思います。お願いします。

——美術——

#### 高幣選定委員長

それでは、美術について調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いします。

#### 橋爪調査員

美術科調査員の小倉小学校橋爪順子です。

#### 垣内調査員

同じく美術科の楠見中学校の垣内です。

## 岡田調査員

同じく美術科の東和中学校の岡田です。

## 橋爪調査員

開隆堂、光村図書、日本文教出版の教科書について、調査結果を報告いたします。それでは始めさせていただきます。

開隆堂です。まず、この教科書の表紙を見ていただくと、バーコ印刷という、浮彫りのような質感になる特殊加工を施しています。触ったときに質感の面白さなどを感じることができ、教科書に興味を引くような工夫が凝らされています。1単元につき4ページ以上使っているものが多く、1つの単元を深く絞り込んで作っています。この単元では、左のページには現代の日本で描かれた作品、右のページには1900年代中期に西洋で描かれた作品が掲載されています。さらに次のページをめくっていただくと、生徒作品を数多く掲載しており、「鑑賞」、「発想・構想」「知識・技能」に内容を分け、異なる年代や国、生徒作品などを多く掲載し、さまざまな見方・考え方ができるように工夫されています。各単元の左上の二次元コードを読み込むと、映像教材や生徒作品、ワークシートなどが掲載されています。続いて、このページでは、インクルーシブデザインに関する内容が掲載されています。デザインがどのような役割や可能性を担っているのか、考えさせる内容になっています。他にもユニバーサルデザイン、SDGsなど、現代社会に配慮した内容が多く掲載されています。最後に、教科書全体としては、見やすさ、分かりやすさというところに重点を置いており、見出しや要点、文章などは端的にまとめられ、長い文などはあまりなく、視覚的に理解しやすい内容構成になっていると言えます。

次は、光村図書です。光村図書の教科書は、美術1と美術2、3、知識・技能をまとめた美術1資料の3冊です。本教科書の一番の特徴は、二次元コードの効果的な活用です。鑑賞の分野の二次元コードでは、書き込みツールや高精細画像、分かりやすい動画、鑑賞を広げる言葉集などが活用できるように設定されています。また「みんなの工夫」というページの二次元コードでは、インタビューを載せるなど、作者の思いがより伝わりやすく工夫されています。その他にも、題材ごとに二次元コードで全国の生徒作品を見ることができます。学習内容も、写真や動画編集などタブレットを活用したものが取り入れられています。教材に合わせ、複数人で話し合う様子やグループでの制作活動など、多様な学びの方法を示しています。また「みんなの工夫」のページをはじめ、全体的に作品の制作過程が多く掲載されており、発想・構想の手助けになっています。美術2・3の巻末には、学習を支える資料一覧が載っており、思考ツールも印刷して活用できるようになっています。御覧のページでは、本物に近い材質の紙に印刷されていて、興味・関心を引きやすくなっています。特に和歌山県の「虎」が掲載されており、ふるさと教育にも活用できます。

次に日本文教出版です。このページでは、これからの社会や生活に関連させ、他教科にも関連させています。また発想や構想、鑑賞などさまざまな場面でコミュニケーションを取りながら造形活動を行う項目も取り上げられています。また、この教科書では「作者の言葉」を紹介しており、見方・考え方を働かせるための工夫がなされています。次に、こちらのページを見ていただきます。ここでは、東日本大震災に関連した作品やピカソの『ゲルニカ』を見開きで載せており、社会における美術の役割など関連付けた内容になっています。各ページに二次元コードがあり、作品の詳しい表現や制作方法が分かりやすく動画で説明しています。図表や写真は、大きく見やすくなっており、見開きのページではインパ

クトが大きくなるよう掲載されています。特に『グランド・ジャット島の日曜日の午後』や『火焰型土器』など原寸大の写真が多く掲載、紹介されていて、鑑賞しやすくなっています。また日本の伝統文化を多く紹介し、伝統工芸、伝統色、美意識を取り上げています。最後に、表紙と裏表紙で1つの作品が鑑賞できるようになっています。以上です。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員の皆様から質問はございませんか。

#### 寺川選定委員

調査御苦労様でした。ありがとうございます。細かいところからちょっと質問させていただきたいんですが、まず開隆堂です。これの内容の取り扱いというか調査の報告書のなかで、真ん中のポツ、SDGsに関連する取り組みというのがありますが、具体的にどの辺になりますか。この61ページは著名な作品の制作工程というのはあるんですが、SDGsについてというのはどのあたりを指しますか。

#### 垣内調査員

SDGsに関連する内容を、ちょっと拡大させていただきます。このマーク、各ページに載っていないページもあるんですが、こういったマークが付いているところがありまして、そこでSDGsに関する取り組みというのが紹介されています。たとえば、今ちょっとランダムに出てきたのが、静岡市プラモデル化計画。ちょっと見切れていますね。各ページの最後のところに、このようにSDGsに関連する項目が、だいたい2単元に1つくらい載っています。こんなふう到最后のほうに載っているという形になります。

#### 寺川選定委員

ありがとうございます。これについては、他社はどういうふうに取り扱っていますか。同じように取り扱っているのか、開隆堂だけでしょうか。

#### 橋爪調査員

日本文教出版の教科書には小さくですけれども、関連する單元にはSDGsのマークが入っていて、学習できるようにはなっております。

#### 岡田調査員

同じく光村図書に関しては、左端に道徳科に関して関連付けがよく載っているんですけども、幾つかのページにはSDGsにも関連しているような、たとえば、美術1、32ページの左端には、SDGs12番というふうには載っていますが。

#### 垣内調査員

これですかね。

#### 岡田調査員

それです。開隆堂よりは、そこまで載っていない状態です。

#### 寺川選定委員

ありがとうございます。3社とも一応取り扱ってはいるということですね。

#### 岡田調査員

はい。

#### 寺川選定委員

続いて光村図書なんですけど、ここだけ別冊で資料が付いています。この資料は、本体のほうの最後にも資料が付いていたと思いますけれども、この別冊の資料と、それと本体の資料との内容というのは、何か違いがありますか。基本的に同じものなのか、そのあたり調査されていたらお聞かせ願いたいです。

#### 垣内調査員

光村図書は別の資料みたいになっているんですけど、他の教科書だと3つに分かれていて、たとえば開隆堂であれば、「絵や彫刻など」という項目と「デザインや工芸など」という項目と「学びの資料」という項目に分かれているんですけど、この「学びの資料」の部分が、この光村図書の分離している資料と同じような項目が載っています。

#### 寺川選定委員

光村図書にはそういうふうに、本体には資料はなかったかな。ちょっとだけ見えていたような気がするんですけども。こちらですね。これと、別冊になっているものの内容が同じということですかね。ちょっと違うものがありますか。

#### 垣内調査員

光村図書の話ですか。

#### 寺川選定委員

はい。

#### 岡田調査員

こちらの教科書の後ろにも、二次元コードで動画等見られるようにはなっているんですけど、こちらよりはかなり詳しく載っているのがこちらの別冊資料になっていますね。

#### 寺川選定委員

ありがとうございます。続きまして最後、日本文教出版なんですけども、外形的に見ると、ここだけ3分冊になっているんです。他社は2分冊なんですけども、この3分冊になっているというところは、

実際に授業で使われるときに、それがどういう特徴があるかというのは、何かありましたらお聞かせいただければと思います。感想でいいです。

#### 橋爪調査員

感想で。1のほうは1年生で使うという感じで、この2・3上は主には2年生になると思うんですけど、主に日本の文化とかそういうものに触れる項目が多くて、2・3下のほうは、社会に発信するような内容が多くなっていますので、成長段階に合わせた教科書になっているのかなとは思いますが。

#### 垣内調査員

どちらも2・3の内容ですけど、上のほうがよりまだ2年生の比重が大きく、2・3下のほうが3年の比重が大きいというような感じです。

#### 岡田調査員

現在同じ出版のものを教科書で使っていますが、2年生にも2冊持ってこさせて、3年生にも2冊持ってこさせているというような現状です。

#### 寺川選定委員

分かりました。ありがとうございます。ちょっと細かいところですけど、今の日本文教出版のほうの、この調査の資料でいうところの、真ん中の構成、配列、分量の欄の真ん中。「美術館へ行こう」という項目があり、と書いていますが、どこになりますかね。

#### 垣内調査員

これです。

#### 岡田調査員

一番最後のページを開くと。

#### 寺川選定委員

そうか、これか。見開きになっている。分かりました。ありがとうございます。最後です。それでさっきの分冊の話でちょっと関連するんですが。前回の教科書の選定の際に見たときは、光村図書だけちょっと幅が小さかったんです。開隆堂と日本文教出版が幅の広い教科書であったと。今回光村図書は同じ、そろえてきているんですね。前回、光村図書の教科書は、他社、2社に対して少し内容的にちょっと特色が出ていた。具体的に言うと、ちょっと落ち着いていた感じなんですよ。今回幅も合わせてきたし、内容を見ても、ある意味、光村図書の特色は少しちょっと後ろへ下がっている感じが印象としてある。外形的に見ると、開隆堂、光村図書は2分冊。ただし光村図書は別冊が付いている。で、日本文教出版は3分冊。外形的に見ると違いがあるんですね。その違いプラス3社の、一言で言うとこんな違いがちょっとずつありますよという、これは違いの話です。特徴がもしあれば、ちょっとお聞かせ願いたい。

## 岡田調査員

光村図書なんですけども、やはり二次元コードの活用の仕方が、他の他社に比べてかなり幅が広い。中身の、先ほどちょっと見せた動画は再生できなかつたんですけど、動画再生していただくとすごく分かりやすい解説が載っている。教科書のなかに生徒作品が、他の教科書も載っていますが、光村図書の二次元コードには本当に幅広い作品が載っているのと、その作った生徒のインタビューが載っているということは、その子の考えというのが理解できやすいのかなと思うので。作品だけではなく、作品の過程まで分かるように工夫されているのかなというのが印象です。また、この資料1冊だけちょっとはみ出ているんですが、3年間使って教えるというか学び続けることができるようなものを1冊にまとめてくれているので、3年間ずっと持って確認して、ああ、こんなのもやったよとか、見ながらやりやすいかなという印象になっています。

## 垣内調査員

開隆堂は、単元の内容がちょっと特徴的かなと思うんですけど。内容というか分量ですかね。1つの単元が2ページのものというのがなくて、最低でも4ページ以上使って、その分単元数が少なくなっているんです。その代わり、たくさん絵を載せていたり参考作品を載せていたりとか、内容が濃くなっているという特徴があります。あとは、2冊でシンプルにまとめられているので。あと結構頑丈そうな感じのつくりです。

## 橋爪調査員

日本文教出版は、見開きで単元というか項目を終わらせているような感じですかね。見やすく出来てますし、学びの目標というのが1ページずつに書かれていますので、先生方もこの目標に向かえるし、子供たちもどんな目標がある、今日はどれに向かって勉強していくのかということが分かりやすくなっていると思います。必ずこの左のページの写真が大きくなっていて、右のページはちょっと細かく生徒作品とかが載せられているという、そういうつくりになっています。

## 寺川選定委員

ありがとうございました。以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。他にどうでしょうか。

## 西岡選定委員

内容のことではないんですけども、開隆堂の表紙がバーコード印刷ですかね、特殊な印刷になっている。そのためかも分からないんですけど、家で見たときにすごくちょっと化学的なにおいがとても気になったんですけども、調査員の先生方のなかで、そういうことで教室で生徒が見て広げたときに、そういう化学的なにおいに敏感な生徒に心配だとか、そんなことは話題には出なかったですか。

## 垣内調査員

すみません、ちょっと自分の意見になってしまうかもしれないんですが、恐らくこのにおいはバーコ印刷のにおいじゃないかな。中からのにおいですね。中の紙が、これマット紙というんですかね。他の紙が光沢のある紙を使っている。光沢のある紙に比べてマット紙というのは反射が少ないから、蛍光灯とかの光が直接当たってもあまり、今ちょっと反射していますけど、まだましなんですよ。なので、こうして分からないところを映したときに見やすいというのがあって。そのマット紙のにおいかなと思う。新品の本だとそういうにおいが結構するので、使い慣れてくると気にならないのかなとか、においがなくなっていくのかなと私は思ったんです。これは新品の本だから、結構においがするのかなと思ったので。

## 高幣選定委員長

確かににおいはする。御質問があったように、確かに何かにおうような気がします、紙質が。他にどうでしょうか。

## 池田選定委員

1ついいですか、すみません。

## 池田選定委員

何冊かあるんですけど、美術って、見て、感じてとかがメインになってくるかなと思うんですけど、これは昔のとか、こういう原寸のとかあるなかで、こういう直に見て感じるというのが大事だと思うんですけど、さっきも流れているの見たら、結構2ページにまたいであって、このつなぎ目がめちゃくちゃ見にくい。こういうところって、すごく気になるんです。これ、見て、感じてと言っている割に、ちゃんと感じさせてないやんというのがちょっと。見開きとか開いてやるという、こういうアイデアは良いかなと思うんですけど、なかにこういうのとかがあったら、ページまたいでいるんで。これ、何とも思わないのかなと。ごめんなさい、これ二次元コードとかに載っているんだっいたらいいですけど。

## 垣内調査員

各教科書に見開きの部分というのがあるんです。見開きの数とかも、教科書で違います。たとえば日本文教出版とかだったら、結構この重要な作品、『ゲルニカ』とか『神奈川沖浪裏』とかはこうやって見開きになっていますが、ただ見開きのページが多いと、私が授業をした経験ですけど、破れたりする子供が多かった。ぐしゃぐしゃになったりする。見開きばかりだったら、それはそれで困る。要領を得たら見開きが一切ないほうが使いやすいと思います。ただ、作品を見るときに見開きが多少あったほうがいいと思うので、この作品を重要視している、会社によってそこが違うのかなと思います。この『神奈川沖浪裏』が、この会社だとここに線を入れたくなかったんだと思います。たとえば今見ていらっしゃる壁。

## 橋爪調査員

ラスコーの壁画ですね。

#### 垣内調査員

ラスコーの壁画だったら、全部見えなくてもいけるのかなと判断したと思うんですけど。

#### 池田選定委員

これパッと見たときに、ちょうどこのページのこの切れ目に、こいつ何の生き物なのと思ってしまうから。ちょうど割れ目。それを伝えたいんじゃない。またさっきの表紙とかもこうやって触って、いいようにしているのに、これはなかに関してちょっと逆におろそかになっているところがあるのかなと思ってしまう。これ、日本文教出版。

#### 垣内調査員

たぶんどの教科書にもそういうのがあるのかな。

#### 橋爪調査員

あるんですけどね。

#### 池田選定委員

だから、たとえばこの二次元コードとか見たときに、これがちゃんと画面にバツと出てくるんだったら問題はないかなと思うんですけど。

#### 岡田調査員

光村図書の場合、必ず載っていると思います。これを読み込んでいただくと、原寸大のもの、高精密画像みたいなのが載っています。

#### 池田選定委員

載っているんだったらいいです。

#### 岡田調査員

ただ、載っている、こっちは。

#### 橋爪調査員

比較的、日本文教出版のほうが見開き、間にはまらないように工夫はしてくださっていますね。

#### 池田選定委員

ありがとうございます。

#### 高幣選定委員長

教科書間での特徴らしいものがまた見えてきたかと思いますので。他にどうでしょうか、御意見ござ

いませんか。他にございませんでしたら、ただ今審議いただいた内容を審査結果として考えていきたいと思えます。他に意見がありませんので、調査員の方には退出していただきたいと思えます。どうもありがとうございました。

#### 調査員一同

ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは、調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただ今の調査員の報告や、各自でお調べいただいたことから、各社の特徴についての御意見をいただきたいと思えます。

#### 高幣選定委員長

寺川委員、どうぞ。お願いします。

#### 寺川選定委員

先程のなかでも申し上げさせていただいたんですけども、3社の結局、特徴、この場で挙げていくという作業だと考えているんです。そうして見たときに、見かけの話はさっき申し上げたとおりなんです。これが使いやすいかどうかという話が出ていて。1個中身の話で言うと、見開きで収まっているところと、4ページかけているところがありますとか、あと二次元コードに力を入れているところありますとか、少し違いは見えてきているんです。それが実際に授業のなかで使うときにどうなのかなというあたりを最後にちょっと聞いたところなんです。それはちょっとお話のなかでは出てきたということだと思えます。今回、光村図書が大きく変えてきているなという感じはしました。従来、光村図書というのは、どちらかいうとおとなしい感じの紙面だったんです。一方、開隆堂と日本文教出版は、割と似たような感じで競っているんです。ちょっと派手めなんです。そこに光村図書が近づけてきたなという感じがして、いよいよ差がなかなか見て取りにくいなと、ちょっと今回私見てきた点なんです。ただ、二次元コードということで、少し特徴は光村図書は出ていると。二次元コードは、こういう美術の教科書で取り入れてきたというのは、1つは技法なんかはすごく分かりやすいんです。実際その動画で、やっている技法、たとえば私の専門の陶芸であれば、陶芸の作り方なんてやっぱり動画で見るほうが格段に情報量も多いし、これはもう非常に効果があるんです、活用の仕方。もう1点は、先程ちょっとお話が出ていた、開いたときにここが気になるというお話。まさにこれが冊子体の限界なんですよね。二次元コードで見ると、タブレットとかパソコンのモニターの大きさにはなるんですけども、これで全体は見られると。見ることができる。さらに大事なものは、拡大できるんです。拡大すると、池田学の東日本大震災の細かい絵があるんですけど、その細かいところまで見ることができるというのは、二次元コードの活用の特徴だと思います。それから、そこにちょっと焦点を若干強く持ってきたのが光村図書なのかなと見ているところです。ただ、開隆堂にしても日本文教出版にしても、これまでの積み重ねの上で編修されているので、そこをどう違いとして捉えていくか難しいなと。結局それはどれがいいかという話になかなかいかないんですけども、特にこの場では、特徴としては今、私が見ているところそのぐらいか

なというところで、もし、他御意見あったらお聞かせ願えればなと思うところです。

### 高幣選定委員長

今御意見いただいたところによると、二次元コードは各社入ってきているというのが、他教科も同じような中身でしたけれども、見やすさでありますとか、そういう繊細な部分を感じとるところまでに、やっぱり美術的なところの価値観がどうしても高まってくるということが御意見としていただいたと思うんですけれども。教科書を見て、また二次元コードを見てどうでしょうか。特になければ、これまでの協議いただいたことを踏まえまして、いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということでもよろしいでしょうか。それでは、審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。続いて、書写に移っていききたいと思います。

——書写——

---

### 高幣選定委員長

よろしいですか。それでは、書写について調査審議を行います。まずは、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

### 北口調査員

書写調査員をさせていただきました河北中学校の北口沙季です。

### 奥田調査員

城東中学校奥田瞳です。お願いします。

### 坂口調査員

有功中学校の坂口と言います。よろしくお願いします。

### 北口調査員

よろしく申し上げます。今回、教育出版、光村図書、東京書籍、三省堂の4社について調査結果を御報告いたします。まず全社に共通していることとして、二次元コードがどの教材にも適宜掲載されております。動画教材を教科書と併用することが可能となっています。今回は、まずその動画教材について中学1年の行書学習が始まる際の単元での動画について口頭で紹介します。教育出版では、アニメーションで楷書と行書の説明をする動画や、毛筆の手本、硬筆（楷書バージョン・行書バージョン）の手本といった3種類の、さらに実際に書いている際の手本動画を見ることができます。続いて光村図書では、教科書にもある「行書スイッチ」のアニメーションを用いて、楷書から行書への変化が一見して分かるように紹介されています。東京書籍では、楷書と行書の手本を並べて提示したり、筆の運びを見せたりすることで、楷書と行書の特徴が分かりやすく示されています。また東京書籍の動画では、ナレーションが付いており、聴覚でも情報を収集することができるようになっていました。三省堂では、ポイントと実際の書く様子を並べて見せており、書く際のポイントを意識して見ることができます。各社、手本を動画にしたものや解説動画などを掲載しているため、指導者は、教科書と動画教材とを適宜必要

に応じて使用することができます。続いて各社の教科書の特徴について話をします。

まずは、教育出版です。46、47ページを御覧ください。1つの題材を見開きで扱い、「目標」、試し書きのワークから始まります。「考えよう」では穂先の動きが分かりやすいように、2色使いによる解説図版が、「生かそう」では他の文字への応用へと続きます。最後にはまとめ書きのワークがあり、○△による生徒たちの「振り返り」で締めくくられています。また話し合いや取り組みの手順が非常に細かく書かれており、言語活動の充実が図れる工夫が多く取られており、1時間の見通しが持ちやすくなっています。また国語科の資料集的役割も果たすため、多様な場面で用いることができます。コラムでは「文字の変遷」に始まり、伝統文化に触れられるような内容や著名人の文字の紹介、最後には「芸術としての書道」と高等学校の書道に結び付く発展的な内容も取り上げられています。

続いて、光村図書です。54、55ページを御覧ください。「考えよう」では本時の課題に関連する気付きを促す問いが、「確かめよう」では穂先の動きが分かりやすいよう2色使いによる解説図版が載っています。続けて「生かそう」(学習したことを生かして、硬筆で書こう)というコーナーがあり、最後に大きな毛筆手本があるという順に進められ、それらが見開き1、2ページ程度でまとめられています。また1つの学習内容につき、1つの「学びのカギ」が示されており、説明が簡潔にまとめられています。それによって、活動と説明が明確に分かれており、見やすさへの工夫が見られます。また書くことに特化した書写ブックというものが取り外し可能な付録としてあり、教科書と併用することができるようになっています。また、98、99ページのように、単元や学年の変わり目にはコラムや、書写で学んだ内容の他教科での活用例が多く上がっており、実際の学校生活ともリンクしやすくなっています。またその内容も、学習の進め方が分かりやすく順を追って明記されています。

続いて、東京書籍です。28、29ページを御覧ください。「1見つけよう」では、硬筆手本や毛筆手本をなぞったりしながら、本時の課題に関連する気付きを促す問いがあります。「2確かめよう」では毛筆見本が載っており、「書写のかぎ」へと続きます。最後は「3生かそう」(「書写のかぎ」を生かして書こう)の流れになっています。「書写のかぎ」には書き方の工夫や説明など内容に合わせたポイントが示されています。本書では「コラム」としての紹介はありませんが、「文字といっしょに」や「生活に広げよう」などの単元があり、39ページの「職場訪問をしよう」や本のポップを書く活動紹介のように、生活体験や学習と関連させる工夫が見られます。

最後に、三省堂です。34、35ページを御覧ください。目標があり、説明、そして本時の課題に関連する気付きを促す問い、「・・・を見つけよう」へと続きます。その後手本があり、振り返りを促す質問で締めくくられます。実際に生徒が書く練習は各ページにはなく、40、41ページのように各単元の最後に「書いて身につけよう」としてまとめて掲載されている形となっています。各学年に1度設定されている「やってみよう」という単元では、今まで学習してきたことを生かして新聞や名言集を書く言語活動が紹介されており、書写で学んだ内容の他教科における活用例が多く挙げられているため、実際の学校生活ともリンクしやすくなっています。またコラムとしての紹介は本書ではありませんが、単元の初めに特集を組み、文字の変遷や文字文化について学習できる内容も取り上げられています。以上で調査報告を終了させていただきます。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員の方々から質問はございませんか。

### 三宅選定委員

幾つか教えていただきたいんですが、教科書がコンパクトで小学校の教科書と比べてもかなり小さいんですけど、これはもう今もこんな感じですか。

### 北口調査員

はい。書写については現行のものもそのような形になっています。

### 三宅選定委員

実際半紙で書くとき、大きさが違うんですが、書きづらさも実際にあるのかなと。小・中の間は、書写なので、丁寧に点画とかきれいに整えて書くというのがあれなんで。大きくなってきたら発達段階できちんとそれを見極めながら書き写すということはまた出来るんだと思うんですが、中学生であれば。その辺をちょっと確かめたかったのと。あと、中学校に行けば、楷書からまた行書という文字のまた違った良さを学んでいくと思うんですが、その辺の工夫されている部分であるとか。小学校では、1年生に水書というのが前の教科書から入ってきているんですけど、中学校では、そんな教具の工夫とか、こういうふうに書いたら割と書きやすい、学びが楽しくできるという工夫されているものがあるのかなのかと、生活とのつながりというのも、ものすごく大事にされている部分があるのかなと思うんですけども。これだったらやってみたいなとか、こんなところにもこういう字が生かされているんだなという、そういう特色、教科書によって違うのか、どれも同じようなものなのか、ちょっと教えていただけたらと思います。

### 奥田調査員

まず私たちは、生活とのつながりのコラムであるとか記事に着目しています。というのも、現在やはりパソコンであるとか、生徒たち、中学生の世代だとスマートフォンであるとか、デジタル化している部分も多くあり、手書きへの意識というか、そういうものが薄れていっているように感じています。各社の教科書を見てみると、やはりいろんな場面で手書きの良さをアピールするような、分かってもらえるような記事が多く出ていますので、私たちも、授業のなかでというか、この教科書を見ることで、まず手書きで文字を他人に対して見やすく書くというところを意識してもらえたらと思っています。

### 三宅選定委員

その手書きの良さ、もう少しちょっとこういうふうな、それぞれの教科書で表れているというのを教えていただけたらと思うんですが。

### 北口調査員

紹介させていただきます。教科書の一番初め、見開きの導入の部分で、工夫がなされている教科書が幾つかあるなと感じました。たとえば、教育出版の見開き、一番初めを開いてみると「目的に合わせて書こう」という書き出しから始まり、実生活でこんな場面で手書きをするよねという紹介が幾つも載せられています。たとえば、体育大会のクラス旗であったりだとか、メッセージカードであったりだとか、

そういった場面で手書きの良さというのが考えられるんじゃないかなという提案が挙げられています。同じように東京書籍でも『文字を「書く」ってなんだろう』という始まりが、最初、見開きに載せられており、実際書く場面で、ノートをもっと速く取れるといいんだけどなど、宛名を書くのは、最初は難しかったよねみたいな場면을提示して紹介されている部分に工夫を感じたところでもあります。以上です。

### 三宅選定委員

他の教科書はどうですか。

### 北口調査員

残りの2社については、光村図書は、格言のようなものが載っておりまして、「ペンから、文字が生まれる。その一つ一つが、きみの呼吸を映し出す。文字と文字が手をつないできみの心をきっと伝える。」という、格言のような言葉が載っております。三省堂には、手書きの詩「朝のリレー」という詩が紹介されており、谷川俊太郎さんの詩が載せられているということで、どれも視点は違うんですけども、手書きの良さというのを最初にぐっと引きつけるような導入は工夫されていると思います。

### 三宅選定委員

ありがとうございます。楷書から行書への、そういう流れ的なものはどうですか。

### 北口調査員

各社とも取り上げ方はそれぞれですけども、コラムを組んでいる教科書会社もあれば、行書に入る導入の部分で紹介している教科書もあるんですけども、どの教科書も、文字の変遷というコーナーを組んでおります。文字がどんなふうに変化してきたのか、そのなかで草書、行書、楷書というものがあるよというようなものが、写真が付いていたり、昔の、たとえば青銅器にこんな文字が書かれているよみたいな形で、1年生が行書を初めて学ぶ際に、そのような紹介があるのが工夫かなと考えています。

### 三宅選定委員

ありがとうございます。大体、朱筆で文字、あれほどの教科書も一緒ですよ。これ、現場でこの教科書をぱっと開いて書くじゃないですか、使いやすいですか。

### 奥田調査員

そうですね。やっぱり大きさというのも、机の上に、毛筆の場合であると習字道具を置いて真ん中に下敷きを置いて、その残ったスペースに教科書を置くという形になりますので、毛筆の場合はこのサイズが適当かなと感じています。また、硬筆の際にも、普段の他教科の教科書と大体同じようなサイズで作られていますので、やはりこれぐらいのサイズがちょうどいいのかなと思います。書くスペースや、実際のこのマス目ですとか、そのあたりも適切な大きさにはなっています。

### 三宅選定委員

ありがとうございます。

### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査員の方には退室をしていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

### 調査員一同

ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしているところです。ただ今の調査員の報告や、それぞれがお調べになっていただいたことを踏まえまして、各社の特徴についての御意見をいただきたいと思います。先程からの調査員の説明など三宅委員の質問等に対してもまた、回答であるということで、その特徴的なことであるとか、二次元コードを使いながらの補足的な部分というのを、教科書だけで多々あるというような説明があったと思いますけど。どうでしょうか。これまでの話の中身で、審議をした内容と取りまとめということよろしいでしょうか。それでは、これまでいただいた意見等を踏まえまして、調査審議結果としてまとめるということいきたいと思います。それではこの審議した内容を調査審議結果としてまとめるということに決議いたしました。

### 高幣選定委員長

長時間にわたり本当に調査審議、手厚くしていただきました。本当にありがとうございました。

これをもちまして、第2回和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を終了いたします。お疲れ様でした。お気を付けてお帰りください。

## 第3回 選定委員会の会議の議事録

歴史、国語、家庭、公民、道徳、理科 調査審議

## 1 日時

令和6年6月17日(月)

会議開始時刻 16:30 会議終了時刻 20:30

## 2 会場

教育文化センター 2階 会議室

## 3 出席者

### ○選定委員会

選定委員長	高幣 泰男				
選定委員(学識経験者)	柏野 貴之	川端 宏典	島津 俊之	庄禮 浩志	
	十河 秀彰	高木 康子	田野岡 教彦	寺川 剛央	
	富田 晃彦	西岡 真弓	西川 彰彦	三宅 秀夫	
	山本 茂子				
選定委員(学校代表)	溝口 恵司				
選定委員(保護者代表)	池田 貴章	南 理絵			

### ○教科用図書調査事務局

事務局長	奥山 由佳(教育局長)
事務局次長	前北 博文(学校教育部長)
事務担当課長	岩本 信哉(学校支援課長)
	竹内 圭(教育研究所長)
事務局員	北林 直樹(教育研究所専門教育監補)
	岩崎 仁(教育研究所専門教育員)

## 4 議事

- 事務局説明
- 歴史 調査審議
- 国語 調査審議
- 家庭 調査審議
- 公民 調査審議
- 道徳 調査審議
- 理科 調査審議
- 事務連絡

## 高幣選定委員長

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本日は、現在15名の委員の皆様方に出席をいただいております。過半数の出席でございますので、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例10条第3項の規定により、第3回和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を開催いたします。本日は、歴史、国語、家庭、公民、道徳、理科の順に6つの教科・種目について、調査審議をしていただく予定となっております。また本日の会では、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第5項の規定により、各教科・種目の調査員に調査資料の提供とその説明を求め、質疑応答を行うこととしています。調査員退室後、選定委員の皆様で教科書の内容について調査審議をお願いいたします。調査審議に入る前に、確認をいたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫について、専門的・具体的な審議結果を答申として、とりまとめ報告することです。今回調査研究する全ての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを確認することを目的としないと、再度確認をしたいと思っております。御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。それでは開催要項どおり、まず、歴史の調査員に入室していただき、調査内容の報告を行いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

---

## ——歴史——

### 高幣選定委員長

それでは、歴史について、調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

### 竹本調査員

社会科歴史調査員紀伊中学校の竹本俊一です。

### 弥勒調査員

城東中学校の弥勒洋介です。

### 赤松調査員

明和中学校の赤松薫です。

### 竹本調査員

それでは、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、令和書籍の8社の教科書について、調査結果を報告させていただきます。

まず、東京書籍からお話させていただきます。教科書名は「新編新しい社会歴史」となっており、ワイド判で287ページとなります。ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、再生紙・植物油インキを使用することで、環境に配慮しつつも、読みやすく、耐久性を高めるつくりとなっております。

ます。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビを振っています。巻頭、各章、各節ごとに二次元コードが用意されており、デジタルコンテンツも「知識の確認」「解説動画」資料を拡大する「D-ZOOM」「思考ツール」「白地図」「リンク集」「用語マスター」など、さまざまな専用コンテンツが用意されており、家庭学習においても、デジタルデバイス等で確認しやすいサイト構成となっています。また、目次のなかで、火山の噴火や地震・津波などの災害の写真を扱っていることに関して、担当の先生、保護者の方に配慮をお願いしている文言も見られます。内容の取り扱いについては、各章の初めに導入活動として、資料が掲載されており「小学校で習ったことば」「資料の読み取り」「みんなでチャレンジ」という問いが設定されています。また「探究課題」という形で章を貫く問い、「探究のステップ」という形で各節の課題が示されており、学習に見通しを持つことができるようになっています。章末のまとめでは、導入で示された「節の問い」に対して、「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の流れで構成し、本市のめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

次に教育出版についてです。教科書名は「中学社会歴史未来をひらく」となっており、ワイド判で298ページとなります。UD フォント・ユニバーサルデザインとなっており、再生紙を使用、植物油インキで印刷されています。ルビは平易な漢字にも振っています。また、漢字文化圏の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビを振っています。二次元コードを23カ所に掲載し「まなびリンク」として、各章の初めに「役立つリンク集」や「歴史クイズ」「歴史の技」「資料や地図の読み取り方」などがデジタルコンテンツとして用意されています。内容の取り扱いについては、各章の初めに章を代表する資料が掲載され、導入資料を読み解く問いが示されており、これから学習する時代の簡易な年表や地図が示され、見通しを持ちやすくする工夫がなされています。また、他社には見られないユニークなタイトルが付けられており、たとえば「第一次世界大戦」の単元のタイトルが「クリスマスまでには帰れるさ」となっており、生徒に興味・関心を持たせる工夫がなされています。「HOP」「STEP」「JUMP」の段階を経て、思考力・表現力・判断力を高める活動が設定されており、「各章の構成と学習の流れ」で教科書の基本構成、学習の流れを、「本文ページの見方・使い方」で本文ページの資料や学習方法などが紹介され、本市の「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」というめざす子供像につながる内容になっています。

次に帝国書院についてです。教科書名は「社会科中学生の歴史日本の歩みと世界の動き」となっており、ワイド判で314ページとなります。特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいになっており、読み間違いにくいユニバーサルフォントを使用しています。また、軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、ライスインキで印刷されています。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国の人名・地名には、上に日本語読みと下に母国語読み（カタカナ）の2種類のルビを振っています。さらに、国名を略称で表すこと、中国・朝鮮半島・地名のうち、現在使われている地名は、現地語読みを優先していること、国名・人名は日本語読みを優先していることを巻頭7で説明しています。各章の導入と章末には二次元コードを付しており、関連する動画を見ることができるだけでなく、ワークシートや確認クイズを活用した学習をすることができるようになっています。内容の取り扱いについては、各章の初めに「タイムトラベル」として、ページいっぱいにイラストが掲載されており、時代のイメージを視覚的に捉えることができます。さらに「章の問い」を設け、学習に見通し

を持つことができ、原則見開きの2ページが1単位時間の内容となっています。「学習課題」、本文、「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成し、章末には、「学習を振り返ろう」を設けており、本市のめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

次に山川出版社についてです。教科書名は「中学歴史日本と世界改訂版」となっており、ワイド判で288ページとなります。SDGsへの配慮という観点から、「質の高い教育をみんなに」をめざし、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。また、「つくる責任、つかう責任」という観点から、資源に配慮するという目的でページ数を抑えたり、「緑の豊かさを守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用しています。他社との明確な特徴の違いとして、本文の語尾が常体になっていたり、登場する人物が多かったりと、高等学校における学習にスムーズに移行できるように工夫されています。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビを振っています。二次元コード等を用いて、関連する資料を拡大して見ることができたり、約1、2分の動画を見て、理解をより深めるねらいがあります。内容の取り扱いについては、各章の初めに導入資料として年表やその年代の要約、写真等で章全体のイメージをつかみ、原則見開きの2ページが1単位時間の内容で、1単位ごとに学習課題とステップアップの課題が示され、章末の「まとめ」で振り返りを行い、各時代の流れや特徴を確認するという学習の流れとなっており、本市がめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

次に日本文教出版についてです。教科書名は「中学社会歴史的分野」となっており、ワイド判で307ページとなります。カラーユニバーサルデザインに配慮しており、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。また、植物油インキと再生紙を使用しています。「先人に学ぶ」「各時代の女性」「地域に学ぶ」のコラムを設け、そのなかでSDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークが付けられています。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国の人名・地名には、日本語読みと母国語読みの2種類のルビを振っています。さらに、外国の漢字表記の仕方について、「教科書の構成と学び方」で説明しています。各編・各節に二次元コードが付いており、各編・各節の問いを紹介する動画やワークシート、関連資料、関連HPが確認できます。内容の取り扱いについては、各編の初めに、その時代を概観できる資料が並べられ、さらに、年表と地図から日本と世界の結び付きを意識できる構成になっています。また、編を貫く問いと各節の問いが紹介されており、学習の見通しを持つことができる内容となっています。原則見開きの2ページが1単位時間の内容で「学習課題」、鍵となる「見方・考え方」、本文、「確認」「表現」の流れで構成し、「表現」や資料を活用して学び合える問いには「学び合い」マークが付いており、言語活動の充実を図る工夫がなされています。編末には「まとめと振り返り」を設けており、本市のめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

次に自由社についてです。教科書名は「新しい歴史教科書」となっており、ワイド判で303ページとなります。ユニバーサルデザインフォントの使用についての表記はなく、二次元コードも付いておりません。ルビは平易な漢字にも振っていますが、漢字文化圏の国の母国語でのルビはありません。巻末に世界各国・王朝の興亡一覧、初代神武天皇から今上天皇に至る歴代天皇の系図が掲載されており、元号→西暦早見表があります。内容の取り扱いについては、各章の初めに1つの資料を取り上げて問いを

投げ掛けています。見開きの2ページのなかの「チャレンジ」や章末のまとめのなかで、見方・考え方、多面的、多角的に見る力を育む工夫がなされています。章末には「調べ学習のページ」により、生徒の探求を促し、「復習問題のページ」では基礎的な用語・知識の定着を図り、「時代の特徴を考えるページ」では、課題学習を設けて、学んだことを自分で構造化し、表現する場を、「対話とまとめ図のページ」ではキャラクターによる時代の鳥瞰・大観のための対話篇を設けており、本市のめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

次に育鵬社についてです。教科書名は「新しい日本の歴史」となっており、ワイド判で302ページとなります。環境に配慮し、植物インキで印刷しており、本文用紙の一部には再生紙を使用しています。また、色覚特性を踏まえ、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行っています。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国の人名・地名には、おおむね、日本語読み・母国語読みの2種類のルビを振っています。二次元コードが付けられており、二次元コードを読み取り、情報を読み取ることができます。内容の取り扱いについては、各章の初めにその時代の見方・考え方を示したり、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、中学生がスムーズに学習できるように工夫されています。導入ページでは、「日本の歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、資料を用いて「鳥の目」「虫の目」で時代を見るような設定がなされています。本文ページでは、見開きの2ページを1単位時間とし、学習課題が示され、右下に学習のまとめとなる課題を示しています。章末には、「学習のまとめ」を設けており、このような流れの学習は、本市のめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。

最後に令和書籍についてです。教科書名は「国史教科書第7版」となっており、A5判で463ページ、縦書きで白黒印刷であり、巻末に28ページのカラー資料が付いている、という形となっています。ユニバーサルデザインフォントの使用についての表記はなく、二次元コードは、461ページに1カ所だけあります。ルビは平易な漢字にも振っており、漢字文化圏の国の人名・地名には、日本語読みの1種類のルビを振っています。初めて使われる言葉にはルビが振られていますが、二度目のときにはルビがありません。内容の取り扱いについては、各章の導入では、政治・外交・文化・産業の4つの章を貫く問いが紹介され、簡単な年表で概観できるようになっており、章末には単元を振り返る活動や単元をまとめる活動、年表が付いています。本文ページでは、節ごとの課題がまず示され、解説文があり、写真や図、文献資料などが掲載されています。394ページの「歴史について議論しよう」、404ページの「ディベートをしてみよう（近代）」などの章末の取り組みで、言語活動に取り組むことができ、近世のまとめにみられる「展覧会にいこう」で、身近な地域で行われている展覧会でレポートを作成するという体験活動を通して学習できる内容になっています。基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成することを意識していることから、本市のめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる内容になっています。以上、8社につきまして御報告させていただきます。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。各委員から質問はありますか。

#### 田野岡選定委員

令和書籍のだけA5判になっているんですけども、調査員はそのことで、こういった配置とか見やすいとか、ご意見ありますか。

### 竹本調査員

他の7社につきましては、今、手元に教科書があると思うんですけども、だいたいつくりが同じような形で、昔からあるような横書きの、写真が付いている教科書になっております。それに対して、令和書籍につきましては、本の大きさも違う、厚さも違う。本文が縦書きであるということと、白黒印刷をベースにしている、あと他社では基本的に、ぱっとページを開いたら、2ページで1単位となっているんですけども、令和書籍の場合は、2ページを1単位にせずに、章であれば、まとまりごとに書いてある、読書をするような感じで、表現が良いかどうか分からないんですけども、国語の教科書のような感じの印象はあります。ちょっと意見的なものが入るかもしれないんですけども、これまで社会科の教員は、この横書きの教科書で授業しているので、この今までと形が違うということで、ひょっとしたら導入、その教科書を使って授業をする最初の段階では、恐らく今までと様式が違うので、その分教材研究に時間を要するのではないかなというのが、懸念としてはあるかなと思います。

### 田野岡選定委員

ありがとうございます。そうですね、大体私もそう思っていました。なかなか細かいところまで記述というのはあるんですけども、より深いので、歴史的なことにもものすごく興味を持つ子には、ぱっと入っていきやすいかなというところは、特徴的にはあるかなと思うんですけども、なかなか関心が少ないと言うのはおかしいんですけども、視覚的な関心にとらわれて、スッと入っていく子には、かなり工夫を要するかなと思うんですけども、やっぱりそういった感じですね。ありがとうございます。以上です。

### 高幣選定委員長

この別紙資料のこの縦の大きい判のは、これはどのようなポイントで見ればいいですか、項目ごとに丁寧に書き添えていただいているんですけども、これを作成した意図するところ等お聞かせ願えたら大変ありがたいです。

### 赤松調査員

歴史の教科書は、とてもデリケートな部分がたくさんあるかなと思っているんですけども、なのでこの1社2分というなかでは、説明できにくい部分というのがありますし。かといって、必ず触れておかなければいけない部分というの、たくさんあるかなと思いましたので、こういう比較表をすることで、比較しやすいのかなというところで、説明できない部分をしっかり説明したいというので作らせていただきました。

### 高幣選定委員長

なるほど、ありがとうございます。かなり御苦労されたかと思いますが、ありがとうございました。

### 柏野選定委員

かなり時間を費やして、丁寧に作っていただいて、これすごく参考になる資料になっていると思うわけですが、空欄のところがあるんですが、この空欄のところというのは、扱っていないと見たらよろしいのでしょうか。

### 竹本調査員

空欄だから記載がないということではなくて、記載はあるんですけども、記入漏れがあったということで、捉えていただけたらと思います。

### 柏野選定委員

ここ絶対ないということはないですよ。

### 竹本調査員

はい。

### 富田選定委員

私は社会科の専門ではないので、調査員の方がいらっしゃるのですが、少し教えていただきたいこともありまして、質問いたします。教科書の名前が、会社によっていろいろというのは、興味深いところですね。私の専門は理科なんですけれども、理科も本当に会社によって、いろんな名前が付くんです。たとえば、日本と世界というキーワードが出てくるのは、帝国書院と山川出版社が非常に特徴的に見えます。やっぱりこういうタイトルに日本と世界と入った場合は、なかの記載に、日本史と世界史の関連はすごく意識された記載が多いから、こういうふうに出てくるのでしょうか。あまり関係ないのでしょうか。ちょっと興味があったので、教えていただこうと思って質問いたしました。

### 竹本調査員

基本そのタイトルに出てくるかどうかというのは、それぞれの教科書会社によって特徴があるかと思うんですけども、基本的に中学校の社会の歴史では、世界との歴史の関連で日本がどのように位置付けられているのかというつくりになっておりますので、すべての教科書会社は、それをクリアしているかなと思います。ただその世界とのつながりの関連の度合いが、各教科書会社によって違うというのがあるので、それがタイトルに表れているのじゃないかなということが、調査したときに、感じた内容でもあります。

### 高幣選定委員長

他にはどうでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査員には退出していただきたいと思います。ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしたところです。ただ今の調査員の報告や、各自のお調べいただいたことから、各社の特徴等について、御意見をいただきたいと思います。

#### **高幣選定委員長**

他にございませんか。他にございませんでしたら、これまでの審議いただいた内容について、また御意見いただいたことについて、それもこれまでの内容を調査審議結果として、まとめるということでしょうか。では、審議した内容を調査審議結果として、まとめることと決議いたします。

---

#### **国語**

#### **高幣選定委員長**

次、国語に移りますので、お手元の資料並びに教科書の御準備をお願いします。それでは、国語について調査審議を行います。まず、調査員の方から調査結果の報告をお願いします。

#### **川嶋調査員**

国語科調査員の西和中学校、川嶋です。

#### **坂田調査員**

明和中学校、坂田です。

#### **酒井調査員**

河西中学校、酒井です。

#### **安居調査員**

楠見中学校の安居です。

#### **川嶋調査員**

それでは調査結果の内容についてお話させていただきます。国語科は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書 の 4 社の教科書について調査いたしました。お手元の資料、1 段目の「内容の取り扱い」につきましては、学習指導要領に示されている「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」を身に付けるため、どのような内容を取り上げ、学習活動を進めるためにどのような工夫がなされているかをまとめております。2 段目につきましては、単元数や取り上げている文章の種類、補充学習のための工夫などをまとめています。3 段目につきましては、「図表、写真、資料や国語科の特性による観点」ということで、取り上げられている図表等について、それぞれおおむね横並びで対応する内容をまとめさせていただきます。調査結果といたしましては、どの教科書も、国語科で求められる力の全ての項目が各学年の学習活動として取り扱われており、各領域の分量や取り上げられている教材、小説や説明

文、韻文、古典等バランスよく配置された構成になっております。これより、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の順に、特徴的な部分を中心に内容の報告をさせていただきます。

まず、東京書籍です。東京書籍の教科書は、全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し、現代的諸課題を取り上げて、各教材の学習を通して考えが深められるような内容になっております。冒頭には「領域別教材一覧」を提示して1年間の見通しを持たせるとともに、身に付けたい言語能力のポイントを「言葉の力」として示しています。各学年末には、未来を考えるための教材「未来への扉」が設定されており、これまでに身に付けた「言葉の力」を使って考えを深め、1年間の総まとめができるようになっていきます。また、デジタルコンテンツが豊富で、学習の導入に効果的なアニメーション動画やゲーム形式のものなど、生徒の実態に応じた内容になっています。構成面では「話すこと書くこと」の言語活動は、各学年3カ所の扱いですが、「読むこと」の教材のあとなどに話し合いの活動が多く設定されており、協働的な学びを重視した構成になっています。学習内容の理解を助けるため、挿絵や図表が用いられており、古典作品では歴史的な資料の写真がたくさん紹介されています。教科書のなかに、挿絵で独自のキャラクターと4人の中学生が登場し、それぞれが疑問を抱き、ヒントをくれることで、生徒もともに学習しながら成長していくというストーリー性が見られます。また、生徒の身体的負担を軽減するため、学習の参考や深化・拡充のための資料は、デジタルコンテンツとして準備し、教科書のページ数を削減しています。

続いて、三省堂です。この教科書では、冒頭に「領域別教材一覧」を提示し、それぞれに「つけたい力」が示されています。また、教材ごとに、「学びの道しるべ」が示されており、「目標の確認」や「振り返り」など、見通しを持って生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。個別最適な学びとして、主体的かつ深く学ぶために「思考」することが重視されており、言葉を使って、ものの見方や考え方の力を付けるために、巻頭に9種類の『「思考の方法」一覧』を掲げ、チャートとともに使い方が例示されています。この「思考の方法」は、各教材でも学習活動や内容に沿った形で図解されています。協働的な学びとして、対話的な活動「話し合いのこつ」を系統的に学べるように、各学年の第一単元に「グループディスカッション」が設けられており、対話や交流、共有によって学習を進めていくことを重視しています。全学年に英語や音楽と関連して、言葉について考える教材が取り上げられている点が特徴的で、音楽では生徒に人気があるミュージシャンの楽曲が取り上げられています。「情報を関係づける」の単元を各学年に設定し、漫画スタイルの情報に関する解説を取り入れ、資料のなかに「図表」を取り上げて、図表の内容と文章を関連付けて考え、内容を読み取る学習活動が設けられています。

次は教育出版です。他の教科書と同様に、冒頭に「言葉の地図」というページを設けて、該当学年での学ぶ内容と身に付けたい言葉の力を示し、「学びナビ」「学習活動の流れ」によって学ぶ際の視点等を示して主体的な学習を引き出す工夫がなされています。同じページに、SDGsとの関連が示されています。SDGsについては、全学年で持続可能な社会に向けて自分の考えを深めることができる教材「持続可能な未来をつくるために」が設けられています。写真や広告、SNSや映像作品などを教材に「情報・メディアと表現」が設けられており、文字と文字以外の表現を合わせて読解することや生活のなかの情報について考えを深めることができます。裏表紙には、見開きで『「ふるさと」を巡る』と銘打って、文学作品とゆかりのある風景を都道府県別に紹介しています。各学年で設定されている「学びのチャレンジ」では、それまでに学習して身に付けた力を活用し、考える力や目的に応じて判断する力、表現する力を高めていくことをねらいとした問題に取り組むことができます。また、発展的な学習として、「言葉

の自習室」で古典の文法も扱っています。この教科書に挿絵で登場する生徒はさまざまなキャラクターを有し、多文化共生や多様性など人権上の配慮も見られます。

最後に光村図書です。この教科書は、冒頭に「学習の見通しをもとう」というタイトルで学習内容を各観点、領域ごとにまとめ、他教科やSDGsとの関連を提示し、思考を整理するためのツール「思考の地図」を示しています。各教材では「学びへの扉」で、目標や課題、振り返りが示され、見通しを持って主体的に取り組めるように課題や具体例が設定されています。他の教科書にない内容として、表現を豊かにするため、思考や表現を支える言葉の用例を場面別にまとめた「語彙ブック」が一段下がった利用しやすい形でとじられています。また、新しい学びとしてICT機器の活用を想定した内容が随所に見られます。裏表紙には、見開きで国語学習のなかでICTを活用すると効果的な場面を例示するとともに、各学習に関連する二次元コードの一覧をまとめた「ICT活用のヒント」が示されています。また、各教材のページでも随所にICTやコンピュータのマークを付して、ICT機器の活用を提案しています。巻末には「国語の力試し」として、これまで学習してきた身に付けた力を活用して取り組む問題が設定されています。この問題につきましても、パソコンやタブレットで取り組むことができ、解答例や自己採点の機能を使って自学自習することができ、さらに発展問題も用意されています。以上、4社の教科書について調査内容を報告させていただきました。よろしくお願いいたします。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。各委員から質問等はございますか。

#### 高木選定委員

さまざまな調査ありがとうございます。それでは、大きく3つ質問させていただきたいと思っておりますが、まず1点目です。今もそれぞれの教科書の特徴的なことということで御説明いただいたんですけども、そのなかで、二次元コードの扱いについて特にもう一度お聞かせいただきたいと思うんですが、各社の工夫がそれぞれかなり、二次元コードについては違うかなと感じました。特にたとえば、デジタルドリルが充実しているであるとか、あるいは、子供が家庭学習をする際に、利用しやすいであるとか、あるいは教師が指示しやすいとか、そういった観点での各社の二次元コードについての特徴を、もう1度分かっている範囲で教えていただけたらと思います。まず、1個ずつ聞かせていただきます。

#### 川嶋調査員

やはり二次元コードにつきましては、どの会社におきましても、かなりのコンテンツが用意されています。今の調査内容のなかにもあったんですけども、この東京書籍は、量的にかなり資料的なものであるとかそういったものが、どちらかというと他の教科書会社と比べると豊富になっているというような特徴があるかと思えます。あと東京書籍は、ゲーム形式のような取り組みができるコンテンツがあり、学習へのモチベーションに差があっても、いろんな生徒が取り組めると思えます。あと、たとえば、光村図書も、自学自習という面では、いろんな学習に取り組んでいける問題そのものが結構あるのと、作者インタビューというような内容であったりとか、会話であったり、あるいは漢字の一覧であったりという、そういった部分もあるかと思えます。特に特徴的なのは、その2社と思えます。

## 高木選定委員

ありがとうございました。私もちょっと見せていただいたんですけども、今、御説明いただいた内容は、そうだなと思いつきながら聞かせていただいています。東京書籍と光村図書での、自分がやってみた違いは、東京書籍は、二次元コードで入ると、たくさん本当に豊富な資料だなということで、目次みたいなのがたくさん出てきて、そしてそこをさらにクリックすると、違うものが出てくるという、そういう形になっていたように思うんです。そして光村図書の場合は、二次元コードで読み取ると、ダイレクトにそのページがもうバツと出てきて、さらに何か操作するというのではなかったかと思うんですけども、今現在、子供たちを指導して下さっている先生方目線では、そこら辺の違いはどうでしょうか。

## 川嶋調査員

二次元コードで入ったとき、階層的になっているのが東京書籍、そのページにバンと入っていくのが光村図書。

## 坂田調査員

授業をやっています、やはりダイレクトに入れるほうが、子供たちは今やっている教材ですと入っていけるので、目次になってしまうと、次これいくんですよと、1個指示が入ることによって、聞き取れないような子供にとっては、ダイレクトに入るほうが、すぐ学習に臨めるのかなと思います。

## 高木選定委員

ありがとうございます。あと2つあります。2つ目はSDGsのことも調査内容のなかで触れていただいていたんですけども、調べていただいた資料では、光村図書と、それから教育出版では、扱いが明記されていたように思いますが、他の2社では、SDGsの扱いについてはどうでしょうか。もし特にあれば教えていただきたいんですが。

## 川嶋調査員

今、委員がおっしゃってくれたように、SDGsということで出てきているのは、この2社かと思いません。東京書籍は、未来を考えるための9つのテーマというようなことで、たとえば科学と探究など、多様性、情報社会といったタイトルを付けて、いろんな現代の諸課題に取り組んでいけるところがありまして、SDGsにつきましても、教育出版のほうが、冒頭のところにも掲げられているんですけども、各教材でも関連するところについては、マークを付して、そんな表記がされているというところがあるかと思えます。

## 高木選定委員

ありがとうございました。では、最後です。国語の場合は、やはりこの教材で何を学んでもらうかっていうところが、すごく大事だと思うんですけども、それについては、いろいろ調べていただいて、たとえば、教育出版では「学びナビ」というところで、見通しを持ってとか、最後深めて振り返りをするという一連の流れが、「学びナビ」。光村図書の場合は「学びへの扉」ということで、そして三省堂は

「学びの道しるべ」ですかね。そして東京書籍は「てびき」というところで、そういうことが扱われていると思うんですけども、この点に関して、ユニバーサルデザインの観点からすると、子供が見たときに学習の見通しが持ちやすくて、それから、何を学ぶかが視覚的に捉えやすいというような、そういう工夫が特に感じられるというもの、先生方の調査で感じられるところがあったら教えていただきたいと思います。

#### 川嶋調査員

光村図書の「学びへの扉」などは、横書きになっていて、いわゆるチャートのいうのか、フロー図というのか、端的にまとめたものが並んでいるので、比較の見やすい部分があるのかなと思います。また東京書籍も同様に、こういう「てびき」ということで書いているんですけども、これも上から、見通す、つかむ等、その学習の流れ、振り返りまで、示しても、こちらはこちらでまた細かく書きながらも、見開きを使って詳しく書いている部分がありますので、それぞれの教科書会社の工夫で、よく似た捉え方ができるように工夫されているのかなと思います。教育出版の「道しるべ」というのも、内容を捉えようという形から始まって、同様にずっと書いておりますので、特に特徴的で、横書きで書いているのが視覚的には捉えやすい。ちょっと主観の部分もあるかもしれないんですけども、国語の教科書としては、横書きで書いているのがあまりないので、そういった意味では捉えやすいのかなという部分は感じます。

#### 高木選定委員

ありがとうございました、以上です。

#### 西岡選定委員

今、最後の質問にありました、作品から何を学ぶかということについて書かれている部分なんですけれども、教育出版は、作品の文章が始まる前に、この作品では、こんなことを学ぶんですよみたいな説明があるんですけども、今までに、国語の教科書を見たなかで、珍しいかなと私としては感じたんです。授業されるお立場から、最初にそういうのを提示してから作品を読ませたほうがよいのか、何もなくいきなり作品を読ませたほうがいいのか、作品の中身にもよるかも分からないんですけども、ちょっとご意見をお聞かせいただければと思います。

#### 坂田調査員

その授業の初めに生徒につけさせたい力として、めあてを板書書きに絶対にするようにしています。それと一緒に、教科書子供たち自身が見たときに、この教材でこういうことをめあてにして読んでいくのかなというのが、最初あったときに、最初に頭に入った場合のほうが、意識付けで教材を読んでいけるのかなという、そういう特性が、東京書籍のなかにはあるなと感じました。

#### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。では他に質問がないようでしたら、調査員の方には退出していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。調査員の方々、どうもありがとうございました。

## 高幣選定委員長

それでは、調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしているところでございます。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴等について、御意見の交流ができたと思います。先程からも、たくさんの質問等でお答えもいただいておりますので、どうでしょうか、改めてというのは特にございせんか。よろしいですか。それでは特にこの場では意見がないということで、これまでのいただいた質問に対する回答等で、十分な結果としてのまとめにはできるのかということだと思っております。それでは、これまで審議いただいた内容を調査結果といたしまして、まとめるということだ、よろしいでしょうか。それでは審議いただいた内容を調査審議結果として、まとめることと決議いたします。

---

## 家庭科

### 高幣選定委員長

それでは、まず家庭科の調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 椿調査員

技術家庭科家庭分野の調査をさせていただきました西和中学校の椿です。

### 弓場調査員

明和中学校の弓場です。

### 高幣選定委員長

それでは家庭科についての調査審議を行いますので報告をよろしくをお願いします。

### 椿調査員

家庭科では、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社の教科書について調査した結果を御報告します。それでは、初めに東京書籍の教科書についての説明をします。1ページを御覧ください。目次のページとなっています。東京書籍の教科書は学習指導要領の内容項目がBCAの順に構成されています。学習指導要領A(1)で示されているガイダンスの部分は初めに構成されていますが、Aの家族と家庭生活が教科書の最後に構成されているのが特徴です。2ページを御覧ください。教科書の構成と使い方について示されたページです。多様なマークやデジタルコンテンツを用いて学習を進めていくための示唆が掲載されています。特に4、5ページで紹介されているとおり、デジタルコンテンツを用いて手順を動画で確認したり、シミュレーション学習ができたり、生徒1人1人の学びに応じて思考ツールを選択できるようにしたりするなどICTを活用しながら学習を進められるように工夫されています。また、他の教科とリンクするデジタルコンテンツも含まれているところも特徴です。次に8、9ページを御覧ください。体験的な学習を通して学ぶために、実習を安全に進めるための注意事項がまとめて記載されてい

ます。それでは学習内容のなかの特徴的なところをご紹介します。21ページを御覧ください。「私たちの家族と家庭生活」というタイトルで家族について取り上げています。現在の多様な家族に応じてさまざまな家族がアニメや漫画等を例に示されています。次に衣食住の生活の食生活の学習内容の部分を紹介します。59ページを御覧ください。食物アレルギーについての記載が多くなっており、詳しく説明されているのが特徴です。続いて70ページを御覧ください。ここでは家庭科で学習をする加熱方法について写真と説明が記載されています。また生徒たちになじみのない蒸し調理の方法については、資料として別に詳しく掲載されているところに工夫が見られます。次に82、83ページを御覧ください。調理実習の手順書が示されています。豚の生姜焼き手順が写真と文章で示されており、初めて調理を行うときにも調理の目安が分かりやすくなっています。86ページ以降にたくさんのレシピが載っているところが特徴の一つでもあり、学習した内容を生徒自身が自らの関心に応じて家庭で実習ができるようになっています。続いて102、103ページには郷土料理についての紹介が写真付きでされています。和歌山県の郷土料理としてはめはり寿司が採用されています。衣生活の学習の部分に進みます。132、133ページを御覧ください。洗濯の取り扱い表示や繊維の特徴、手入れの仕方についてが見開きで表になっており大変見やすくなっています。次に160ページを御覧ください。衣生活の制作では持続可能な生活をテーマに衣服のリフォーム、リメイクの制作例が紹介されています。続いて住生活の学習の部分に進みます。180、181ページを御覧ください。ここでは家庭内事故が発生しやすい場所や場面を考える題材になっています。教科書のイラスト資料だけではなく、181ページ右上の二次元コードを読み取ると、同じ資料がデジタルで見ることができ、家庭内事故が起こりそうな場所をタップするとどのような危険が潜んでいるかが表示されるようなシミュレーション学習を進められるように工夫されています。次に182ページ以降に災害への対策について掲載されています。防災と減災を視点にした災害への備えについての学習内容が記載されています。また衣食住の生活の学習内容においては、各章の最後に「持続可能な家庭・地域生活」や「持続可能な消費生活」というような章が設けられており、SDGsの目標と関連させて、生徒が関心を持てるよう工夫されています。消費者生活の学習の部分に進みます。207ページには商品購入のシミュレーションの例が掲載されており、生徒たちが消費者として正しく情報を取捨選択し、消費者としての責任ある消費行動を考えさせる工夫がなされています。幼児の生活と家族の学習の部分に進みます。230ページに幼児が使うものが実物大で示されており、幼い子供と触れ合った経験がない生徒でもイメージを持ちやすい工夫がなされています。また244、245ページには幼児とのふれあい体験に向けた事前の準備や、体験中、体験後の取り組みについて具体的に示されており、体験学習が進めやすいように工夫されています。次に262ページを御覧ください。家族や地域の高齢者との関わりという単元です。ここでは社会で活躍する高齢者を紹介しつつ、高齢者の体の特徴や高齢者との関わり方について、イラストを用いて紹介されています。

続いて、教育図書の調査結果を報告します。口絵1ページを御覧ください。目次が掲載されています。教育図書の教科書は学習指導要領の内容構成ABCの順に掲載されています。続いて8ページを御覧ください。この教科書の使い方が掲載されています。いずれの章も導入のページから「やってみよう」「学びを生かそう」そして「章末のまとめ」という構成になっています。また本書に登場するマークが掲載されており、多様なマークを用いて学習を広げられるよう工夫されています。続いて12ページを御覧ください。実習の注意事項について見開きでまとめられ、見やすく工夫されています。それでは家族と家庭生活の学習について特徴的なところを紹介します。15ページを御覧ください。家族とはどのよう

な存在だろうという問いに対して多様な家族の例をアニメやドラマ、イラストを用いて紹介しています。次に26ページを御覧ください。高齢者について一般的な高齢者の身体の特徴、疑似体験の方法について取り上げています。資料として高齢者との関わり方が図で示されています。42、43ページを御覧ください。ここでは幼児の体の発達と心の発達の場面が見開きページで紹介されています。心の発達と体の発達を年齢に応じて一つの表に合わせているところが特徴です。58ページを御覧ください。幼児とのふれあい体験に向けての事前学習、実習中のねらい、ポイント、実習後のまとめについて、58ページ以降に詳しく掲載されています。また63ページには、実際にふれあい体験が難しい学校でも疑似的に学習できるような例が示されています。続いて、衣食住の生活から食生活の内容について特徴的なところを紹介します。82、83ページを御覧ください。日本人の食事摂取基準が示されているとともに中学生の体の成長の特徴と運動というところに着目し、運動と消費エネルギーの関係が表で掲載されているところが特徴です。次に折り込みの8ページ、本文の89ページを御覧ください。食品成分表のページです。ここでは食品成分表の左横にサイコロのようなマークで1群から6群までの食品分類を示すマークが表示されています。これにより栄養バランスを考えた献立を作成する際、既習事項である6つの基礎食品群や栄養素の働きを活用しながら取り組みやすくなります。106ページ、107ページには野菜のいろいろな切り方が実物大の写真で掲載されていたり、手元の写真で説明されていたりするので大変分かりやすくなっています。110ページには学習指導要領で示されている加熱方法について一覧表に載せられているとともに料理の例も表のなかに記載されています。114ページを御覧ください。調理実習の手順書のページです。先ほどの東京書籍と同じように豚の生姜焼きの手順を御覧いただいています。材料や手順が写真と説明で記載されています。また、アレンジの例が紹介されたり、焦げてしまった失敗例が「どうしてこうなったのかな」と記載されていて、加熱のポイントである火加減や加熱時間について考える工夫がなされたりしています。次に136、137ページを御覧ください。学習した調理を生かす場面として、お弁当づくりについて、さまざまな例やアイデアが紹介されていて充実しています。また139ページには資料として災害時の食生活を考えようというコラムが掲載されており、ポリ袋を使った調理の例が紹介されています。災害に備えるだけでなく災害時に行動できる生活者を育成する工夫がなされています。142、143ページには全国の郷土料理が写真とともに掲載されています。本書では和歌山県の郷土料理として、さんま寿司が採用されています。また、144ページには和食の調理をしてみようという単元が設定され、行事食やさまざまなだしの調理の例と和食について詳しく掲載されているのが特徴です。次に衣生活の学習の部分に進みます。162ページを御覧ください。洗濯の取り扱い表示が基本記号と付加記号に分けて説明されているのが特徴です。また、164ページには繊維の種類とその特徴、主な用途が一覧表になっており、アイロンの温度についても取り扱い表示を用いた表示になっている点が特徴です。衣生活の制作については、日常生活で活用されるものが紹介されているとともに、191ページには不要なズボンを利用したリメイクの例も取り上げられています。住生活の学習の部分に進みます。212、213ページに家庭内事故についてのイラストやマークに簡単な説明が加えられています。事故の種類によってマークや色で分類している点が特徴です。214、215ページを御覧ください。災害に備えた安全な住まい方について構成されているページです。災害が起こったときにどのような被害があるのか、具体的な例が掲載されています。また216ページ、217ページには自然災害への備えについて「物の備え」「コミュニケーションについての備え」「室内の備え」「避難の備え」など、場面に応じた備えが詳しく紹介されています。次に消費生活の学習

に進みます。236、237ページを御覧ください。クレジットカードについてその仕組みとメリット、デメリットについて、対話的な表現を用いて紹介されていて、中学生にとっては具体的にイメージしやすい表記になっています。244、245ページを御覧ください。消費者トラブルの相談先について消費者トラブルの解決への流れがフローチャートで示されており、具体的な行動をイメージしやすいよう工夫されています。

最後に開隆堂の教科書について説明します。表紙をめくってください。目次が掲載されています。開隆堂の教科書も学習指導要領の内容項目ABCの順番に構成されています。2ページを御覧ください。ガイダンスのページとして、教科書を活用しながら学習しようという見開きページが設定されています。教科書の特徴であったり、教科書をガイドするマークがこちらで紹介されています。また「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」など、生徒が主体的に学習に取り組みやすい表記で進められています。14、15ページを御覧ください。実習中の注意事項について見開きで紹介しています。実習の場面をイラストで表示し、危険な場面や注意すべき点を生徒自身が考えられるように工夫されています。それでは家族と家庭生活の部分で特徴的なところを紹介します。26、27ページを御覧ください。多様な家族という単元でさまざまな暮らし方や家族をテーマにした絵本などを用いて多様な家族を掲載しています。他社の2冊に比べてより具体的な暮らし方の例が示されているのが特徴です。次に42、43ページを開いてください。見開きいっぱい「0歳児」「6歳児」「15歳」の足形手形が実物の大きさと掲載されています。幼児について知るとともに自らの成長についても振り返られるよう工夫されています。50、51ページを御覧ください。幼児の生活の様子が写真とともに紹介されています。まるで家族が撮った写真のようにいきいきとした自然な幼児の様子の写真が全編にわたって採用されているのが特徴です。次に64、65ページを御覧ください。幼児とのふれあい体験の例を掲載しています。実際に幼稚園などを訪問する方法だけでなく、学校に招待する、オンラインで交流する、絵本やテレビ番組を用いたり、幼児の遊びを体験することで擬似的に幼児の生活に触れる学習を進められる例が掲載されています。続いて78、79ページを御覧ください。高齢者について学習する単元のページですが「地域で活動する高齢者」というタイトルに見られるように高齢者の人権に配慮した表現になっているのが特徴です。82、83ページでも男女共同参画社会や暮らしのなかのジェンダーを取り上げ、誰もが尊重される家庭や地域の構築をめざす内容になっており、基本的人権に配慮された表現が多いのが特徴です。続いて衣食住の生活から食生活についての学習内容の特徴的なところを紹介します。100、101ページを御覧ください。「目に見えない栄養素を見てみよう」というページになります。栄養素は食品成分表やグラフで数値として見ることはできますが、実際に科学実験を行って栄養素を可視化できるような取り組みが紹介されているのが特徴です。また、104、105ページには食べ物が体の中でどのように消化吸収されていくのかが図示され、見えないところを科学的に見える化している点にこの教科書の特徴が見られます。調理実習のページでは120、121ページに調理の道具名、計量する、洗うなどの基礎的な技能が紹介されるとともに、学習指導要領で学習する加熱方法についてすべて紹介されています。特に生徒たちになじみのない蒸し器の使い方については、写真を用いて具体的に説明されていて、より分かりやすく掲載されています。前に説明した2社と同様に豚の生姜焼きのページを御覧ください。128ページです。この教科書の写真は実物大の写真を用いており、1食分のおおよその分量が一目で分かるよう工夫されています。また157ページにはパッククッキングの例として、カレーうどんの調理が紹介されています。耐熱性のポリ袋を利用して調理する方法で、

防災食としても活用される一例です。170ページを御覧ください。この教科書も学習した実習技能を活用する場面としてお弁当作りを設定しています。さまざまなお弁当の写真がたくさん掲載されていて、生徒が楽しんでお弁当作りに取り組めるよう工夫されていると思います。172、173ページには、食品ロスとフードバンクについて取り上げられており、持続可能な食生活について、身近な生活から世界の食料事情にも触れている点が特徴です。続いて衣生活の学習に進みます。193ページを御覧ください。洗濯の取り扱い表示の記号と意味がルールに沿って表で示されています。ここではアイロンの記号は記載されていませんが、197ページでアイロンについての記載の部分に示されており、関連する技能とセットで掲載され、より活用をイメージしやすく構成している点に工夫が見られます。衣生活での制作は、日常生活で活用できるものの例に加え、224ページ以降にリメイクでの制作例が掲載されており、持続可能な社会を意識した構成になっています。続いて住生活についての特徴的な部分を紹介いたします。232ページを御覧ください。住生活の内容構成は防災を強く意識した構成になっています。これまでは導入のページにはさまざまな住宅の写真が採用されることが多かったのですが、今回は防災時に活躍する機能を整備した公園が紹介されています。防災のページについては後ほど詳しく紹介させていただきますので、次に進みます。242ページを御覧ください。こちらは家庭内事故について学習するためのページです。事故が起きやすい場面ごとにイラストが示されていたり、対策の方法が紹介されたりしているのが特徴です。他の2社のような住宅を上から見た図は教科書内には掲載されていませんが、243ページの上にある二次元コードに付録資料として掲載されており、事故が起きやすい場所をシュミレーションすることができるよう工夫されています。252、253ページを御覧ください。防災についての学習内容は今回10ページにわたって取り上げられています。特に特徴的なのは、自然災害への備えだけでなく、災害時の生活や避難所での生活についても記載されているところです。また254ページには、災害後の生活の立て直しについて掲載されており、住まいは人権であるという教科書の意図が感じられます。また衣食住の生活の学習内容においては、各章の最後に「持続可能な社会の実現をめざして」という節が設けられており、SDGsの目標と関連させて、生徒が関心を持てるように工夫されています。最後に消費者生活について特徴的なところを御紹介いたします。276、277ページを御覧ください。消費者の8つの権利と5つの責任を学習するページになっていますが。実際の購入場面を例にあげ、フローチャートで責任と権利の所在が分かるよう図で示されているのが特徴です。以上で3社の教科書の調査報告を終了します。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員の方々から質問等はございませんか。

## 西岡選定委員

たくさんお調べいただきありがとうございます。まず調査資料の記載の文言のことで確認したいことが1点と、それからそのあと何点か質問させていただきます。まず東京書籍の調査資料の2段目の構成、配列、分量の部分です。その1つ目のポツのところに、3つの領域がBCAの配列で記載されていると書かれています。先程、御説明のなかで、Aの(1)は第一編だと御説明いただいたんですけども、ここも現行の、今使われている教科書は1編はなくて、ガイダンスのなかにその内容が含まれていたと思うんですが、新たに1編というのを設けているということで、そこはもう正確に書いたほうがい

いのではないかと思いました。ですので、A（1）のあと、BCAの配列としたほうが正確に伝わりやすいかなと思うんですけども、教科書会社の意図とするところも、第1編に持ってきているというのはそういう意図かなと思うので、そんなふうにさせていただいてよろしいでしょうか。

#### 椿調査員

はい。

#### 西岡選定委員

ありがとうございます。で、同じところなんですけれど、3つの領域と書かれています。先ほどのご説明のなかでは、内容という言葉が使われていたと思うんですが、今も領域という言葉、学習指導要領に載っていないので、ここも内容に変えさせていただこうと思います。よろしくお願いします。

#### 椿調査員

はい、ありがとうございます。

#### 西岡選定委員

続いて質問なんですけど、まず実技に関する内容、3社ともとても充実しているなど感じています。それぞれの教科書に見られる特徴を、先程も説明いただいたんですが、もう一度比較して、特徴的な部分をピックアップして言っていただければと思います。

#### 椿調査員

3社ともたとえば調理実習にしても、衣服製作にしても、手元の写真をたくさん使っているというところは、共通して、しかもとても子供たちがつまづきやすいとか、分からなくなりそうなポイントで掲載されています。それぞれの会社でいうと、開隆堂はやはり実物大の写真を多く使っているという点に、教科書会社の意図も含めて特徴が見られます。なので、紹介、説明のなかでも豚の生姜焼きを取り上げたんですけども、1食分の分量が分かりやすく掲載されている開隆堂。レシピの数で勝負をしているとか、たくさんの調理を紹介しているのが教育図書と東京書籍というような特徴は見られます。衣生活の製作についても、開隆堂と東京書籍はリメイク、リフォームというところにちょっと重きを置いているようなページの分量に差がありますが、教育図書は従来どおり日用で使えるような製作というところに注視、重きを置いているというのが特徴かと思います。

#### 西岡選定委員

ありがとうございます。関連してなんですけれども、開隆堂の調査資料の下のほうになるんですけども、図表、写真、資料というところの2つ目のポツです。ここに実物大の使用や調理や製作の実習ページは横流れの紙面にするなど、特別支援教育への配慮と書かれています。横流れのほうが理解しやすいということでしょうか、このあたりも少し説明していただければありがたいです。

#### 椿調査員

われわれ調査員のメンバーに特別支援教育にすごく詳しい者がおりまして、その教員が、横並びに読んでいく、見ていくほうが子供は実習をしやすいという、そういう経験値からそういうふうに記載をさせていただいています。縦に行くともどうしてもどこまで行ったのか分からなくなるケースの子供たちが多くなかで、横のものって、こうやって順番に手で隠していきながらということで、作業が進めやすいんだらうと思います。

## 西岡選定委員

ありがとうございます。ということは開隆堂と東京書籍が横。

## 椿調査員

横並びで。教育図書は縦になっています。

## 西岡選定委員

縦ですよ。ありがとうございます。続きまして、消費生活の内容の部分ですけども、18歳成人になって初めての教科書になります。それからキャッシュレスの支払いも、中学生の間でも広がりつつあります。このような状況のなかで、各教科書の何か特徴的なことがありましたら教えてください。

## 椿調査員

キャッシュレス化というところについては、さまざまな支払い方法というのは3社とも図で示されて載っています。私自身が教科書を見比べたときに特徴的だったのは、開隆堂と東京書籍については、やはりインターネット、通信販売で中学生がトラブルに遭うケース、あとはネットゲーム等でトラブルに遭うケースという、中学生が陥りやすい消費者トラブルについて取り上げたコラムというのが多く示されているなというところに、ちょっと特徴があるかと思います。教育図書については、やはり18歳になったら親の承諾なくクレジットカードが持てるというところで、クレジットカードの機能と、あとはメリット、デメリットについて具体的に記載されているというところが特徴かなとは思っています。

## 西岡選定委員

ありがとうございます。最後の質問です。持続可能な社会の構築というのが、現代的な課題でもありますし、家庭分野の見方、考え方の1つにもなっていますよね。それぞれの教科書での扱いにどんな違いがあるかというのを教えてください。

## 椿調査員

教育図書はSDGsの17のゴールのマークが、関連するところに、学習内容の近くにマークが散りばめられながら、持続可能な社会を構築というところを意識した構成になっていると思います。東京書籍については持続可能な何々という章が、各内容のあとに設けられていて、持続可能な社会を作っていくということと学習の内容を関連させてまとめをするというように設定されていました。開隆堂も同じように、必ず最後には「持続可能な社会の実現をめざして」というようなコラムであったりなど、そういう取り組みをしている人を紹介するようなものが掲載されています。開隆堂はどちらかというと、学習

活動というよりもコラムの紹介がたくさん掲載されていたり、実際に社会のなかで、持続可能な社会の構築に関わっている人をたくさん取り上げているのが特徴かなと感じました。

### 西岡選定委員

ありがとうございます。私も見たなかで、開隆堂と東京書籍は各編のなかの1つの章として、持続可能なというタイトルで始まる章があるんですね。衣生活、住生活、食生活についても、持続可能な生活とはどんなことだろう。自分たちにできることはどんなことがあるんだろうというような学びがここにあるんですけども、教育図書にはそういう見出しになる部分がなくて、消費生活のところはかなり、エシカル消費などかなり詳しく書かれていますが、衣食住とか家族、家庭生活の部分の持続可能な生活というのがちょっと薄いかなと私は感じたんですけども、いかがでしょうか。

### 椿調査員

はい、同感です。

### 西岡選定委員

ありがとうございます。以上です。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にございませんか。多くの中身が表記されたと思っております。特になければ、調査員の方に退室をしていただこうと思うのですが、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは、調査審議に移ります。皆様には教科書についての調査研究をお願いしたところですが、ただいまの調査員の報告や、各自お調べになったことから、各社の特徴等についての御意見等について交換をしたいと思いますが、いかがでしょうか。先程からの報告の中身であるとか、質問いただいたことで、多くの中身が集約されているのかなと考えます。特になければ、今までいただいた御意見等を持ちまして、調査審議の結果としてまとめるという形でよろしいでしょうか。それでは審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。ありがとうございます。

---

——— 公民 ———

### 高幣選定委員長

それでは公民について、調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 北野調査員

公民的分野調査員、有功中学校北野美江です。よろしくお願いいたします。

## 井脇調査員

日進中学校の井脇です。よろしくお願いいたします。

## 辻本調査員

東中学校の辻本と申します。よろしくお願いいたします。

## 北野調査員

それでは東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社の教科書について調査結果を報告します。まず全般的な傾向についてお話をしたいと思います。各教科書とも主体的・対話的で深い学びということ意識した生徒の活動を取り入れた構成になっております。またさまざまなシンキングツールを紹介し、考えを深め、まとめる方法を紹介しています。そして、ICT教育に対応し、二次元コードを取り入れている教科書もございます。18歳選挙についても各社で取り扱われていました。新聞記事の活用についても各社とも積極的に取り入れられております。学習内容を充実させるため、ページ数については、今までより各社とも若干増えております。それでは各教科書の説明に入らせていただきます。

初めに東京書籍です。各教科書について5つの報告、5観点について説明させていただきます。東京書籍1つ目、単元全体を貫く問い、節ごとの課題。学習課題の3段階の問いで行動化し、スモールステップで課題を解決していくようになっております。2つ目、1時間ごとの学習課題が示されており、めあてを持って学習できるような構成になっております。学習の終わりに基礎事項を確認する「チェック」と要約の説明などをする「トライ」により学習内容の定着が図れるようになっております。3つ目、各章の終わりなど、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションといった形で多様な言語活動を促すように工夫しております。4つ目「みんなでチャレンジ」という項目があり、そこでグループ学習や話し合い活動を通して、多様な意見に触れながら学習を深め、価値判断や意思決定ができるようになっております。5つ目、日本の伝統文化を大切にすることの必要性を述べるだけでなく、多文化共生、異文化理解の必要性についても触れております。以上東京書籍です。

続きまして、教育出版について説明いたします。まず1つ目は、見開きごとに学習課題が示され、課題意識を持って学習に取り組めるようになっております。2つ目、各章の冒頭の「学習のはじめに」でイラストなどを使用し分かりやすい導入が工夫され、各章での学習の見通しが立てられるようにしております。3つ目、「公民の窓」、「公民の技」では、学習内容を深く掘り下げ、個に応じた学びに対応しております。4つ目、教科書の導入部でSDGs、持続可能な開発目標を紹介し、学習のなかで常に意識できるようにしております。5つ目、脚注には小学校、他分野、他教科との関連や関連するSDGsを適時表示し、系統的、横断的な学習を指導しやすくしております。以上教育出版です。

続きまして、帝国書院について、1つ目、各部の導入部分には見開きの2ページで鳥瞰図的なイラストが載せられており、学習内容への興味・関心が高められるような工夫がなされております。2つ目、1時間ごとの学習課題となる写真やイラストなどが大きく示されており、めあてを持って学習できるようにしております。3つ目、「アクティブ公民」を10カ所設定し、さまざまな立場を踏まえてのパフォーマンス課題が設定されており、対話的な学習による言語活動の充実を図っています。4つ目、各部の最後には「章の学習を振り返ろう」などのコーナーの扱いが大きく、重要語句の確認問題などがあり、

積極的に家庭学習に取り組めるよう工夫されております。5つ目、SDGsに関連する資料にマークをして、地方公共団体などの取り組みを取り上げております。また終章のなかでは「課題の探究」ではそれをテーマにしてレポートを作成する学習活動を設けております。以上帝国書院です。

続きまして、日本文教出版について、1つ目、見開きごとに「学習課題」が示され、何を学ぶかが明確に示されています。見開きの「学習課題」に対応する「確認」の欄があり、知識の定着と理解を確認することができるようになっております。2つ目、「アクティビティ」で「見方・考え方」を働かせる問いを考えることで、主体的・対話的で深い学びができるようになっております。3つ目、バリアフリーの学習において、生徒にとって身近な公共施設（SDGs 未来都市堺の具体的取り組み）を例に取り、実物の「点字」を紹介しております。4つ目、全見開きにデジタルコンテンツが付いております。読み取ると、動画や、図・資料、確認小テスト、ポータフォリオが扱えるようになっております。5つ目、持続可能な目標開発（SDGs）について、さまざまな場面で考えられるように配慮しております。以上、日本文教出版です。

続きまして、自由社の教科書について報告いたします。1つ目、単元ごとの番号が年間を通した連番になっております。2つ目「アクティブに深めよう」で思考力、判断力、表現力を高めることを目的に意見の整理や分類方法を示しております。3つ目、終章でレポートや卒業論文の作成方法について紹介しております。またディベートのやり方について紹介し、言語活動の充実を図っております。4つ目、日本国憲法の学習のなかで、天皇の役割について詳しく記述されております。また「もっと知りたい」においても見開きで紹介されております。5つ目、各章の末には「学習のまとめ」と「発展」があり、単元ごとの重要語句をまとめております。課題を1つ選び、400字程度でまとめるなど発展的な内容になっております。以上自由社です。

最後に育鵬社の説明をいたします。1つ目、各章の最初の「〇〇の入り口」で、その章で学ぶ課題について資料等を用いて学習内容への興味・関心を促しております。2つ目「学習を深めよう」で、本文で学習したことを深める内容を取り上げ、知識や思考力等を身に付けられるようにしております。3つ目「学習を深めよう」では、本文で学習したことを深める内容を取り上げ、知識・思考力・判断力を身に付けられているようにしております。4つ目、「やってみよう」では個人やグループで行う作業や活動を紹介し、技能や表現力が身に付くようにしております。5つ目、天皇についての記述が詳しく、現代の立憲君主制のモデルとなっていると紹介されております。以上、育鵬社です。6社についての説明を終わらせていただきます。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。委員から質問はございますか。

## 柏野選定委員

調査並びに報告、ありがとうございました。私も教科書を見せていただきながら、教科書のつくりというのが、一方的な教師の話聞くだけの授業じゃなくて、双方向の対話というものを重視した学びをめざすという形に、かなり意識されて作られているんだということがよく分かりました。先程もありませんでしたが、単元を貫く問いというか、章を貫く問いというのを持たせて、それを解決していくというその課題解決学習の流れというか、それを作っているということで、各社日常生活のなかから課題を見つ

けて、それを問いにつなげていくという、その工夫。先程イラストや漫画など、いろいろ言っていたわけですが、そのところで、どういう導入の仕方、各社強い個性というか特徴があったと思うんですが、漫画を活用した、イラスト、情感的なものなど、資料、各種カードを使ってそれをアクティビティというか活動につなげていっているというような、各社それぞれに導入の仕方に工夫があったと思うんですが、指導する立場としてはどういう導入の仕方というのがやりやすいかななど、より興味付けられるかななど、その辺ちょっと見方をお聞かせ願えたらありがたいなと思うんですけど。

### 北野調査員

東京書籍では、たとえば導入の活動で、38ページ等では、「ちがいのちがい」というのがあります。そこから、少し漫画みたいな形にはなっていますが、イラストが見やすいというところから子供たちは入っていけるのではないかとこのところがあります。そして、自分1人だけでは考えられない、本当は体験はしているけれど、少し言葉に出したり、語彙力の問題があったり、そこから子供たちのグループ活動ができるのではないかとこのこと。そして、東京書籍では、この二次元コードです。次の40ページを開けますと、ページにこの二次元コードがあります。二次元コードをタブレットで見ていただきますと、とても分かりやすい項目にはなっていました。私もこれを開けさせてもらいました。見やすく、生徒たちがすぐに興味や関心が湧くところではないかと思えます。育鵬社は、身近なところから絵があります。イラストがあったり、身近である、防災とか減災のところから、ニュースで生徒たちが身近に入ってくるような時事が多く書かれていました。自分たちが生活のなかで密着し、考えさせられるところがありました。また、章末のところには、振り返りがきちんとできるようになっていました。それが育鵬社です。

### 井脇調査員

日本文教出版では、42ページでは4コマ漫画や自分事として考えられるようになっていました。自由権では、50ページに生活のなかから自由を見つけようということで、自分のこととして、このなかから考えていくというようなところがよくあり、活用しやすくなっています。続きまして、自由社ですが、特に、「もっと知りたい」というところが大きく扱われています。单元ごとではないですが、生徒が興味あるところを、資料を見せながら導入にしていくイメージを持ちました。以上です。

### 辻本調査員

続きまして、まず教育出版です。教育出版の40、41ページに、第2章の「学習のはじめに」という導入の部分があります。6コマ漫画と、そして「ウォーミングアップ公民」というところで、6コマ漫画に関しては、簡単な説明がなされています。その次の「ウォーミングアップ公民」という部分において、具体的な事例を基に、主体的に、自分がその立場だったらどうなのかというような目線が書かれてあるので、まず自分自身の知識について、考えについて、どの事例にどういうことが考えられるというような、主体的に取り組むということが可能になっています。続きまして帝国書院です。帝国書院はかなり大きな鳥瞰図が使われています、町の様子が。たとえば30、31ページには大きなイラストがあります。そのイラストのなかから、自分たちの生活に関わるようなこと。憲法との関わりということですが、国民主権、平和主義、基本的人権について、この画面、イラストから考え、イラストのなかか

ら、自分自身が課題だと思うところをピックアップして、それを捉えて本文の内容のほうにつなげていくというような内容、両方とも主体的に、自分自身がどう、自分自身として何が問題か、自分自身がどこに興味を持っているかというところを捉える図としては、2社とも、形は違えども、そういう目線は持っているとは思いますが。

### 柏野選定委員

そういうふうに、それぞれ各社での工夫について、先生方としては、それぞれ取り組みやすさというのがあるという部分に感想を持たれているというような受け止めでよろしいでしょうか。もう1点、特に憲法との関係で、基本的な人権という部分で、特に平等権についての課題に対しての取り組みということで、それぞれ記述があるわけですが、各社によって、大きく取り上げているところとか、ちょっと分量としてはボリュームが少ないなというところがあったりとか、取り上げているその現代的な課題についても違いがあるのかな、力を入れているところに違いがあるのかなと思うんですが、それぞれの特徴について、どのように感想、意見をお持ちなのかを教えてくださいたいと思います。

### 北野調査員

東京書籍では、もちろん平等的な、部落差別、アイヌ民族、在日韓国、朝鮮人への差別の撤廃、男女平等、性の多様性、障害者の方についてのこと。東京書籍では、大きく取り上げられているのはアイヌ民族、74、75ページに書かれています。次のページにある、最近よく言われている性のことについて、LGBTQ+ということも書かれています。育鵬社では、男女平等はもちろんですが、未成年者に対すること、障害者に対すること、外国人差別、部落差別。在日韓国人の多文化共生社会、ハンセン病についてが書かれていました。

### 井脇調査員

日本文教出版では、今、言ってもらったような男女のこと、部落差別、部落差別のことについても、今の和歌山市の教科書、日本文教出版でもありますが、「私はこの人と思った、家族はどこの人と言った」というような、ポスターが今の教科書にも付いています。授業でいつも使わせてもらっています。このように大きく扱っていたり、アイヌ民族出身者の萱野茂議員さんの写真や在日韓国・朝鮮人差別も扱っています。また、先ほどの男女共同参画社会、そういうようなところをめざすものとか、この教科書からだと思うんですが、性の多様性、認め合うということで、SOGIとかLGBT。そういうような言葉も出てきています。あと、障害者差別、外国人差別ということで扱っております。自由社では、「もっと知りたい」では大きく部落差別、外国人差別、知る権利、プライバシーの権利、そういうようなところを大きく扱っています。ただ、他のところではこの平等権のところは大きく扱っているんですが、この自由社は76、77ページを見てもらうと分かるように、平等権のところと社会権の保障というのを一緒に扱っているということで、ここは他のところよりも、平等権についてのところが少ないなという印象は持ちました。以上です。

### 辻本調査員

教育出版は、教科書の本文に書かれている平等権は、従来の教科書の内容に、そう大差はないかなと

感じています。ただ、そのなかでもコロナ禍ということが経過したあとなので、コロナに関する内容が書かれていたり、先程から各社のほうでもありますが、LGBT、ダイバーシティ、そういった、インクルーシブというようなことに関しては、SDGs を通した学習が教育出版の特徴になっています。そのなかで、発展的な学習という部分で LGBT と自分らしさ、なぜ差別は生まれるのだろうというような内容。SOGI というような新しい語句、性の自認、性自認に対するような考え方ということを発展学習のなかに盛り込んでいます。またそれ以外にもハンセン病等に関する問題を取り上げているということがあります。最終的に、章の終末では、SDGs に関して自分自身の興味のあること、考えをまとめるというような章のつくりになっています。帝国書院は教科書の本文内にダイバーシティ、インクルージョン、そういった言葉等が含まれています。そして、発展的な学習の部分、未来に向けてというところには、生徒自身の人権作文が大きく掲載されております。また、各公共団体、地方公共団体がどのような取り組みを行っているのかというような例が載せられています。以上です。

### 柏野選定委員

ありがとうございます。丁寧な説明ありがとうございました。私も見ながら、それぞれの教科書において大きく取り上げている部分、ひととおりの話題は載っているんですけど、大きく取り上げられているところがアイヌ問題であったり、ハンセン病のところであったり、それから LGBT と、最近だったらもう、Q+ぐらいのことまできちんと載っているところとかいうのがあったりなど。そして、制服の問題ですよね。これが載っている、載っていないということで、安心して通える子が増えるのかな、どうなのかなというところも見ながら、そういう工夫があるのかなというところで、今お聞かせ願えてありがたいと思います。あと、最後にもう1点だけ、評価のところなんですけれども、各社といたしますか、私自身は自由社と育鵬社はそこまでよく見つけられてないんですけれども、評価の単元をきちんと章末で示して、知識、技能面ではこういうところをきちんと1回振り返ってみましょうねということで、4社載っているわけなんですけれども、議論になったかどうかだけ、ちょっとお聞かせ願いたいんですけど。たとえば東京書籍の70、71、72、73ページ、そういう形で、章をまとめようというのがここにきているんですけれども、まず確かめようというところで知識のページがあり、東京書籍以外の3社は続いて深めようというようなところで、思考、判断、表現のページが来て、最後に主体的に学習に取り組む態度というこの順番で来ているんですが、東京書籍だけ、主体的に学習に取り組む態度というのが先に来て、深めようがこの最後に来ているんですが、これについて何か議論というか、やりやすいとかやりにくいとか、そういうのがもしあれば、お聞かせ願いたいなと思うんですが。

### 北野調査員

まず、まとめよう、確かめようというのは、基礎基本のところだと思うので、これは皆やりやすいかと思いますが、振り返ろうと深めようとなっています。最近の授業のなかでは、チョーク1本でやっているわけではないので、皆グループ活動をし、深めていくためにはジャンプの課題をしていきます。このまま順番に通るわけではなく、どちらかを使いながらやっていくと思います。だから、どの教科書になったとしても、社会科教員として、この順番で、基礎基本が一番先です。振り返り、深めようというディベートをしたり、グループ活動をし、自分の考えを持ち、書こうということは、どちらかというところ、どちらでも私はいいと思っています。そういう形を取った授業づくりをしているかと思っています。どれに

なったとしてもできるのかなとは思っています。

#### **柏野選定委員**

ありがとうございました。各社本当に、導入の部分の工夫もお聞かせ願えたんですけども、最後、活動で始まって活動で終わっているというか、表現で終わっているというか、そこをかなり意識されてるなという部分が分かって、大変ありがたいなと思います。

#### **田野岡選定委員**

細かい調査、本当にありがとうございます。ただちょっと気になるんですけども、調査報告のなかで、自由社が私の手元に教科書がないので、ちょっと見きれないんですけども、5、6年前からSDGsの話が大体どの教科書にも載ってきています。自由社につきましては、他の各社入っているんですけども、記述がないので、その辺は載っておりますか。ちょっと教えていただきたいんですけども、手元にないので、ちょっと見られなかったので申し訳ないです。

#### **井脇調査員**

全くないというわけではなくて、他社では結構大きく扱っているのですが、自由社のなかでもそういう項目、203ページに取り上げてはあります。全くないわけではないです。

#### **田野岡選定委員**

ありがとうございます。以上です。

#### **高幣選定委員長**

各社共通だった18歳選挙のことで、特徴的にこういうのが書かれているので選挙に関する関心度が高まるようなところが、あればお聞かせ願えたらうれしいです。

#### **北野調査員**

18歳選挙のなかで一番よく書かれていたのは、東京書籍です。東京書籍の60ページに18歳、20歳で出来るところ、そして、選挙の流れ、90、91ページに記載されています。例えば、138ページに18歳が、契約をするのにあたり、クレジットカードであったり、本当に身近に迫っている投資、クレジットカード、バーコード決済、カードの使い方を中学生のときからきちんと教えなければいけないのかとは感じます。電子マネーのことについても東京書籍は詳しく記載されていました。

#### **高幣選定委員長**

ありがとうございます。他にございませんか。他に質問がないようでしたら、調査員の方には退室をしていただこうと思います。ありがとうございました。

#### **高幣選定委員長**

それでは、調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしているところです。ただいま調査員の報告や、各自にお調べいただいたことから、各社の特徴等について御意見をいただきたいと思います。

#### **田野岡選定委員**

SDGs 大体5、6年前は、取扱いのないところがあって、それくらいから結構世間でも出だしてきたので、以前はなかったんですけども、最近ほどの教科書でも大体取扱いはあるので、記述がないのだったらどうかなという感じがあったので。ただ、扱いは確かに少なかったと思います。

#### **柏野選定委員**

そうですね。確かに、こういう感じに載っている。

#### **田野岡選定委員**

そういう意味で書かれているのかなとは思っていたんです。少ないからわざと記述がないのかなと、ちょっと疑問に思ったので。

#### **高幣選定委員長**

他にどうでしょうか。他になれば、これまでの審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということよろしいでしょうか。それでは、審議した内容を調査結果、調査審議結果としてまとめることを決議いたします。ありがとうございます。

---

#### **——— 道徳 ———**

#### **高幣選定委員長**

次に道徳の調査員に入室していただきます。それでは、道徳について、調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

#### **清水調査員**

城東中学校の清水です。よろしくお願いします。

#### **上西調査員**

加太中学校の上西と申します。よろしくお願いします。

#### **北村調査員**

伏虎義務教育学校の北村です。よろしくお願いします。

#### **竹本調査員**

西和中学校の竹本です。よろしくお願いします。

## 清水調査員

説明順は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、Gakken、あかつき教育図書、日本教科書、この順で調査結果を御報告いたします。それぞれの出版社について、教科書の大きさ、ページ数他、さまざまな点において多少の違いはありますが、大きな差異がないものについては調査書のとおりとして、説明を割愛させていただいて、各出版社の特徴的なところを中心に申し上げ、各会社の説明の最後に、二次元コードの内容を御覧いただくこととします。

それでは東京書籍「新しい道徳」についてご説明いたします。本文のなかにイラストやグラフ、コラムなどといった挿絵や補足資料が多く、体験的な学習や問題解決学習などといった話し合い活動をスムーズに行うことができる工夫がなされています。これによって、考える時間やグループ活動に時間をかけることができ、深い学びへとつなげることができます。学びを深めるためのさまざまな二次元コードが用意されており、すべての教材で音声朗読とワークシートをダウンロードすることができます。また、幾つかの教材では、教材に関する補足映像や、ウェブサイトへリンクされる二次元コードも用意されており、これらを活用することで生徒の興味・関心と理解度を高め、より主体的・多角的な深い学びに結び付けることができる工夫がなされています。人物教材では、歴史上の有名人や偉人だけでなく、近年活躍する人物、ユーチューバーの HIKAKIN さん、お笑い芸人の高岸宏行さん、バドミントンのオリンピックの桃田賢斗さん、同じく柔道でオリンピックの阿部詩さん、車椅子ラグビーの倉橋香衣さんなどについて紹介されており、生徒の興味・関心を引くものとなっています。また、長く親しまれている教材も複数組み込まれています。和歌山県に関連する内容としては、3年生で「紀州のエジソン」で島正博さんについて、2年生で、「海と空~檜野の人々~」で串本町檜野の人々とエルトゥール号の遭難からトルコ航空でのことについて紹介されています。付録として、教材中の登場人物や自己の心の葛藤を2つの色や割合で表すことができる心情円という用紙がありまして、自分と他者とも考えた方を分かりやすく共有することができ、グループでの学習を促進することができます。また、学期ごとに自己の振り返りができる自己評価用紙も付録として用意されています。東京書籍の二次元コードを読み取ったものを御覧いただけます。こういう画面になります。朗読の音声を少し聞いていただけます。こういった形で音声の朗読が二次元コードで聞けるということになっています。

続きまして、教育出版「とびだそう未来へ」について御説明いたします。短めの教材、漫画や写真、絵本などを用いた理解しやすい教材になっています。それによって、学習が教材の読み取りに偏ることなく、考えたり、意見を交流し合ったりする時間の確保に配慮しています。1年生の初めで、小学校との円滑な接続を意識した教材を選んでいきます。また、各教材は、他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事と連携しやすい時期に配置され、横断的な学びを通して学習効果が高まるようにしています。「情報モラル」「防災」など今日的な課題は、教材に加えてコラムでも扱っています。世界情勢を鑑みて、「平和」について考えられるようにしています。和歌山に関連した教材、題材はありません。「学びの道しるべ」で、構造化した3つの問いにより、教材を足がかりにしながら道徳的価値について段階的に深められるようにしています。写真や挿絵は、あまり多くなくすっきりしており、紙面全体が読みやすく、分かりやすい構成にしています。二次元コードについては、今のところとっていいのか、このままなのかちょっと分からないんですが、教材を要約した内容の読み取りの補助となる解説が掲載されている、こういった形で掲載されているというもののみであります。動画を御覧いただけます。

続きまして光村図書「きみがいちばんひかるとき」について御説明いたします。全ての学年、教科書冒頭に3つのポイントを示し、道徳学習についての心構えを示しています。また、それぞれの教材が単独にならずに結び付いていることも示され、1年間での学びの見通しを持たせています。全学年共通のテーマもあれば、1年生では「中学生としてどんな自分でありたい？」2年生では「社会の一員として働くとは？」3年生では「新しい進路へ羽ばたこう」等、学年ごとの発達段階に応じたテーマも取り入れています。年間に4回「まなびをプラス」という教材が設けられ、前時の授業での内容を、活動を取り入れて考えを深めることができるようになっていきます。そこでは、「情報モラル」「いじめ問題」「物事の本質にせまる」「多面的・多角的な見方」と、考えを深める教材が用いられています。イラストや漫画、写真が多く掲載されており、見開きの2ページが文章のみというページはほとんどありません。生徒が理解しやすく、考えを持ちやすくなる配慮がなされています。巻末には「まなびの記録」を書くページが設けられています。毎時間の記録だけでなく、昨年度の道徳で心に残っていることや、年度終わりの振り返りを記録することができます。二次元コードについては、教材によっては音声朗読や資料などが掲載されています。動画を御覧いただきます。

続きまして、日本文教出版「中学道徳あすを生きる」について御説明いたします。いじめ防止に重点を置いています。また、教材の配置に明確な意図があると見受けられます。それは、人間関係が変化しやすい時期である5月の連休明けや夏休み明け、2学期途中などにいじめ防止につながる教材、1年生の年度末にキャリア教材、夏休み前に安全をテーマにした教材などを配置していることから、そういうふうに判断いたしました。和歌山に関連した教材が多く、2年で「時を越えて一檜野で生まれたくさなー」、3年で「稲むらの火」、2年巻末コラムで松下幸之助について取り上げています。各学年の冒頭には「ミニ教材」を設定し、学び方の確認ができるようになっていきます。すべての教材に二次元コードがあります。朗読音声、ワークシートがあります。また教材によっては授業の導入や展開で使用できる動画や画像にリンクする二次元コードが用意されています。別冊ノートがあり、教材ごとに自分の考えを記録できるようになっています。また、学期ごとの振り返りもでき、評価に活用できるようになっています。コラムにはスキルトレーニング的な内容があります。動画がありますので、動画を御覧いただきます。

続いて Gakken「中学生の道徳明日への扉」について御説明いたします。最重点テーマを「いのち」とし、全学年で「いのち」をテーマにした教材が3教材掲載されています。また、「いのちの教育」を土台とし、「多様性」を扱った教材が1年生で6教材、2年生で4教材、3年生で6教材、「いじめ防止」を扱った教材が1年生で6教材、2年生で7教材、3年生で5教材あり、比重が大きいと思います。比較的、新しめの教材や最近の題材が多い傾向にあります。漫画や SNS を使用した教材、著名人を扱った教材など生徒の興味を引く題材が複数使用されています。和歌山に関連した教材としては、1年生に「エルトゥール号の遭難」が取り上げられています。教材のタイトルの下に教材への関心を喚起するキーワードが掲載されています。学習の途中で気になることや考えたことをメモできる欄が教科書内に設けられています。情報モラルへの対応として生徒の発達や成長に合わせた教材が配列されています。SNS に言及した教材と資料が多いです。全ての教材ではありませんが、二次元コードを随所に配置し、ワークシートや画像、動画など教材に関する補助的な資料を載せています。動画を御覧いただきます。

続きまして、あかつき教育図書です。「中学生の道徳」について御説明いたします。発達段階を考慮した題材に加え、大人でも心に残る題材を一般書籍や記事等から選んでいるので、生徒同士だけでなく、

教師や保護者とも対話が深まるようにしています。定番教材、感動教材など、読み物教材を比較的多く扱っているのですが、内容をしっかり読み取ることができれば、言語活動の充実を図ることができます。1年生のいじめを考える教材で、障がいのある児童を扱った「ある日のバッテリーボックス」の最後の一文にある「普通の少年」という表現は、丁寧に扱わなければならないと思います。和歌山に関連した内容として、2年生の補充教材「ふるさとに学びを広げよう」の一部に松下幸之助が写真と共に紹介され、3年内容項目「国際理解・国際貢献」で、「海と空一極野の人々」と題し、エルトゥールル号遭難にまつわる話を取り上げられています。重要視したテーマについては、連続して配列し、重点項目は年間3時間ずつ配当しています。生命尊重といじめ防止は最重要課題とし、特にいじめ防止については、関わりの深い内容項目の配当時間を考慮しています。全ての教科書会社がUDフォントを採用されていますけれども、この教科書会社だけいわゆるわれわれがよく使うUDデザイン教科書体。他の教科書については、UDフォントではありませんけれども、明朝体を使っているものが多いかなと思います。二次元コードについては、教材に関連した動画が視聴できるようウェブとリンクしています。このようにリンクをしているという状況になります。

続いて日本教科書「生き方から学ぶ」「生き方を見つめる」「生き方を創造する」について御説明します。教科書の冒頭に、「ガイダンス教材」を載せ、授業の進め方や振り返りなどを演習するための小教材が設定されています。全学年の巻末に「ウェルビーイングカード」が全26枚あります。「ウェルビーイングカード」は、「希望」「感謝」「多様性」などが記載されたカードであり、道徳の授業を受けるに当たって、自分の意見をすぐに発表するのではなく、まずはカードのなかから自分の意見に近いワードを探し、そのカードを基に、周りとの意見を交流したりしやすくするためのツールとなっています。各学年において、いじめ、伝統文化、現代的な課題を取り上げています。特に現代的な課題では「情報モラル」「生命尊重」「キャリア教育」「SDGs」「安全の確保」といった内容を取り扱っており、3年生では新しい家族の形を考察する教材などもあります。教材のなかに、4コマ漫画や、漫画そのものを配置することで、考えを広げやすく、課題に対してスムーズに取り組むことができるような工夫があります。ただし、ページによっては文章のみの箇所もあり、読みづらさを感じさせるページもあります。和歌山に関する教材は、1年生での「海と空」と題し、エルトゥールル号にまつわる内容があります。資料として、全学年の巻末に「わたしたちの郷土」として日本が世界に誇る自然や文化遺産、また世界で活躍する人物が紹介されていますが、和歌山に関連したものは紹介されていません。1年のその巻末で、☆12というものが和歌山の地図の上に印刷されていますけれども、長野県にも同じ☆12があり、そちらには草間彌生さんが紹介されているんですが、長野県の松本市が紹介されていますが、ちょっと和歌山との関連があるのか、意図して和歌山のところにその☆12があるのかどうか、それは私たちにも分かりませんでした。全ての教材ではありませんが、二次元コードを随所に配置し、教材に関する補助的な資料を載せています。動画を御覧いただきます。以上で調査報告のほうを終わります。

## 高幣選定委員長

どうもありがとうございました。委員から質問はありませんか。

## 川端選定委員

道徳の授業というのは、他の教科と違うと思うんです。教科書を見て、いろいろな授業例が、各教科

書会社の巻頭には載っていたかと思うんですが、やっぱり、考え、議論するという授業をどのようにするか教科書会社で特徴はありましたか。

### 清水調査員

教科書に沿ってやるということでは、先生方のそれぞれのやり方と違って、教材のあとに、スキルトレーニング的なこととか、その教材を踏まえて、もう一回ちょっと考えてみようといった教材を、コラム的なものを載せているのが幾つかありました。ちょっと一つずつ出してみたいと思います。たとえばこれ東京書籍ですが、別に文章は特にないんですけども、こういう漫画というか絵があって、この裏にこういった形で、22、23ページの絵のなかで「いじめに当たると思うものに丸を付けその理由を考えましょう」その次が、「いじめだと判断した場面とその理由についてグループで話し合しましょう」こういった形のものがああります。続いて「自ら善悪の判断するために」で「傍観者でいいのか？」こういった形で、その次に開いてまたこのようなワークシートで、議論し合う、考えて議論し合う、東京書籍があります。次にこれは教育出版です。これは「二人の言い分」ということで、割と日常的に子供たちが経験するような場面が載せられてあって、それぞれの、リョウマ、ハルトの言い分があるんですけども、それに対して、こういった漫画も踏まえて、自分も相手も大切にしたい伝え方をしようということで、それについてグループで交流しましょう、という流れになっていたということがあります。これ、教育出版です。次に光村図書です。ここなんかでいえば、最後に問いを立てよう、みんなで考えたい問いを作り、その問いに向き合おう、というようなことで、それぞれの、これこれという考え方は、僕たちのグループにはない考え方でした、といった形で「友情」ということについて、どういったものかということを考えるようなつくりになっております。その前に、この「親友」という題材を、教材を扱ったあとに、そういったスキルのことをできるようにしているという状況です。これが光村図書です。次に日本文教出版です。「学びを深めよう」というのがあるんですが、「愛情貯金を始めませんか？」という教材のあと、そのことについてのさらに深める、みんなで考えて意見を出し合うというようなつくりになっています。ここに、学びを深めるヒントということになっていたりもします。これ、日本文教出版です。次にこれは Gakken です。「バスと赤ちゃん」という教材を終えて、そのあと、ここに「深めよう」ということで、人々の心に響いたものは、見つけよう考えよう話し合おう、というような、で、自分の生き方につなげようというような流れになっています。これ Gakken です。次にこれはあかつき教育図書です。「おかしな礼儀」という漫画になっていますが、そのあと礼儀について考えようということで「マイプラス」というのが設定されていて、みんなで考えて議論を深めるということになっています。これ、あかつき教育図書です。次に日本教科書については、教材があって、最後に考えよう、深めよう、ということで、memo ぐらいで、先程からのように教材のあとに、もう一度深めたり、何とかというのをあえて作っているというのは、日本教科書については見受けられません。

### 川端選定委員

ありがとうございます。道徳が特別な教科として入ってきたときに、ワークシートも1つの方法だと言われていましたが、ワークシートが付いているがために、そのとおりに授業を進めるというパターンが多いと言われたと思います。ワークシートを使って授業をすること、すべて悪いとは思わないですが、教材を読み込むことでとかいろんな授業の進め方、例えば、グループ学習などが考えられると思います。

ワークシートがなくても、授業の進め方で生徒が深く考えられると思うんです。「バスと赤ちゃん」の教材で授業をしたとき、今の子供はバスに乗るという経験が少ないので、すごく良い教材だと思いますが、教材の状況を理解してもらうことが難しかったです。今の生活にあった教材が、どのようなものなのか、「バスと赤ちゃん」のような以前からの教材についてはどうでしょうか。

### 清水調査員

あかつき教育図書が比較的、そういった昔からの読み物教材が多かったなと思います。他の教科書会社は、これまでと比べると、いわゆる現代的な、子供たちが、読み物教材とかは昔からのもあったりするんですが、今の子供たちが日常で感じるような題材、場面を設定した題材を、編集委員会が作った、みたいな作品が、どこの会社も比較的増えたかなと思います。増えたか、増えていないかは、私の主観が入ってきて申し訳ないですけど。前回とかに比べると増えたかなと。ただ、あかつき教育図書については、まだそれでも、そういった感動教材とか、昔の教材も増えたかなというのが1点と、恐らく前回と比べると、別冊がもっと、どこの教科書会社も、ワークシートや別冊が、前はたくさんあったと思うんですけど、今回はそれがあるのは日本文教出版だけです。巻末に1学期間振り返るとか、学年を振り返るというワークシートの的なもの、自分の心に残った題材がどれだったかとか、教材は何だったかとか、書くことは、ものはありますけれども、どこの教科書会社もありますけれども、こうやって、いわゆるワークシートを付けているのは今回、日本文教出版だけでした。他は、なくなったなというのが、今回の私の印象です。私の印象を言って良いかどうか分かりませんが。

### 川端選定委員

日本文教出版は、前からも補助教材という別冊が付いていたと思います。以前もこの別冊についての賛否両論はいろいろあったと思いますが、今回はそのことについて、調査のときには議論にはならなかったですか。

### 清水調査員

ワークシート、こういう別冊がなくなったねということで、われわれ客観的にそういう話はしましたけど。前は道徳が入ってきて、先生方がやるに当たってのサポートとして、支援としてそういうのが多かったのかなという印象はありますが、先生方もずっとやってくるなかで、委員がおっしゃられたように、必要なか必要ないのか、あるいは先生方の、独自のワークシートを作られる方もあるかも分からないし、以前もそうだったかも分からないんですけど、そういう支援が必要なくなってきたのか、使う、使わないは先生方次第だと思うんですけど、日本文教出版は、必要なら使ってください、ということなのか、その辺は分かりませんが、以前はもっと他の教科書会社もあった、今回は日本文教出版だけになったなという、そこは客観的に言えるかなと思います。

### 三宅選定委員

小学校で、心情メーターとか心情図とか付録に確かあったと思う。付いていたのは1社だけだったんですか。

### 清水調査委員

そうですね。付録として付いていたのは1社だけです。そういうメーターみたいなものを、初めの道徳の学び方の例として、イラスト的に出ているのはあったと思うんですけど、それはただ単に心情メーターを使いましょうとかそういうことではなくて、道徳を学ぶに当たって、こういったことを考えましょうという、学び方の紹介だけの部分で、そういうイラストが出ていたのはあったんですけども、付録として付いていたのは1社だけ。東京書籍の。

### 三宅選定委員

小学校は、自分事として考えるための1つの工夫としてよく使われているんですけども、中学校ではあまり活用しないんですか。

### 清水調査員

そうですね。小学校としては、自分、中学校になるとたぶん、自他という、他人というものもあると思うんですけど、これを使うことによって自分を振り返るだけでなく、それを相手に見せると、示すという点においても使えるということでたぶん東京書籍はこれを、こういった形で組み合わせてというのがありますが、他の教科書会社にはありませんでした。

### 三宅選定委員

示されていない。

### 清水調査員

はい。

### 西岡選定委員

多様性とかLGBTQのところ、ちょっと気になったので、ずっと見ていたんですけども、取り扱っている学年が会社によって違うかなと思っています。発達段階を考えたときに、何年生ぐらいで扱うのがいいのかなと思ったりとか、中学校に入学すると、やっぱり男女分けるということも多くなってくるかなと思うので、そこに違和感を感じる子供たちということを見ると、やっぱり1年生からそういう内容に触れていくことが必要なかそのあたり、お考えをお聞かせください。

### 清水調査員

どの学年に配置したか、教科書会社のねらい、そこまでちょっと分からないんですけども、どこの教科書会社も、いわゆる挿絵、絵に男性か女性かちょっとよく、どっちなんだろうと思う、男子か女子かの絵ではなくて、イラストですね、女性っぽいけどズボンをはいているなど、あるいは肌の色が少し違うなど、そういった感じで、あるいは髪の毛の質など、そういったことが、いろいろな人が扱われているというのがどの教科書会社のイラストによってもいろいろありますけど、配慮しているなどというのは感じました。中学校自体も、たとえば体育の授業も共習で進められていますし、いわゆる男女ということの分ける場面というのは、ずいぶん減ってきているのが現実にはあると思うんですけども、そうい

う意味では1年生、小学校から来たその段階で、そのままずっと男女関係なく過ごせる場面というのは、あると自然だと思いますので、そんななかで性差を意識する前に扱うというのは1つ大事なことなのかと思いますけども。

#### **西岡選定委員**

ありがとうございました。

#### **高幣選定委員長**

他にどうでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査委員には退出をしていただこうと思うのですが、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

#### **高幣選定委員長**

それでは調査審議に移ります。皆様には教科書についての調査研究をお願いしているところです。また、これまでの調査員の報告や各自お調べになったことから各社の特徴等について御意見をいただきたいと思えます。

#### **南選定委員**

保護者の立場から、やはり小学校から中学校に行くと、どうしても、クラスの人数、クラス数が増え、いじめ、SNS、いろんな形で子供が、今までの生活と違う、ストレスがかかると思うんですよ。なので、やっぱり1年生は1年生に適した教育をしてもらえたらなど。心も体も発達していく3年間ですので、それに沿った道徳教育というのがきちっと学校としてもしてもらいたいなど、保護者側からとしてはそう思います。以上です。

#### **高幣選定委員長**

貴重な御意見ありがとうございます。前回と比べると、補助的なワークシートというのがぐんと減ったというのが印象的かなと思われるんですけど、逆でない分それが担当する教員にとって、またそういう考え方であるとか、学校によっての方向性であるとか、川端委員、どうでしょうか、その辺の減ったことよっての取り扱い、良さと難しさ、そのあたりの御意見等はどうか。

#### **川端選定委員**

個人的なことを言うと、補助シートはないほうがいいかなとは思っています。教科の授業だったら、正解というのがある程度見えてきますが、道徳の授業に関しては、人それぞれ見方によって考え方が違うし、1時間の授業のなかで最初考えていたことと、他の人の意見を聞いて、考え方が変わるっていう場面も結構ありますので、その考え方が変わるというのが、その子供のなかでの葛藤があつてのことなので、授業をどういうふうに組み立てるかというのも、私は自分が1人でやっていたときには、自分の考え方で授業を進めたときもあります。良かったと思うのは、学年の先生など複数のなかで、この授業をどうするかという議論をして、他の先生の考え方が入って、いろいろな考えのなかで授業案を作る

ことがすごく自分にはプラスになったと思います。だったら、いろいろなことを聞いたなかで、自分で練って、どんなふうはこの教材を使って授業を進めるかということを考えられたらいいのとは思いますが、どの教科書を使うかによってそのような道しるべができたらいいのとは思いますが。だから子供たちも考え、議論するというのも必要だけど、先生方も考え、議論するというのは道徳にはとても大事なかなとは思いますが。

### 高幣選定委員長

貴重な御意見ありがとうございます。他にどうでしょうか。他にございませんでしたら、ただいまの審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということによろしいでしょうか。それでは、審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることを決議いたします。

——理科——

### 高幣選定委員長

次に、理科の調査員に入室していただきますので、準備をお願いいたします。それでは、理科についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 芝調査員

理科の調査員、西浜中学校の芝裕二と、

### 米山調査員

楠見中学校の米山夕希子です。よろしくお願いします。

### 芝調査員

よろしくお願いします。これから、東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館、大日本図書の5社の教科書について、調査結果を報告いたします。

### 芝調査員

まず最初に、5社に共通する特徴について説明させてください。それぞれの教科書、巻頭で学習の流れをきっちり説明してくれています。各節が探究の過程や課題の把握、観察実験、考察の順で構成されているので、学習の流れが生徒から見ても分かりやすく、見通しを持って学ぶことができます。それから、身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象、あるいは現象と関わっていることを実感できる内容となっています。また防災やSDGsについての取り扱いがあり、自分事として捉えるよう工夫されています。章や単元の最後に確認問題が用意されていて、学力の定着につながるよう工夫されています。また、読解力問題で科学的思考を養うことができます。実験器具の取り扱いや、災害時の対応についての記載もあります。フォントについてはユニバーサルデザインを5社ともに使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっています。二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで、生徒の理解度を高めたり、学習意欲が向上するように工夫され

ています。写真やイラストが大きく、また豊富で、視覚的に捉えやすい工夫もされています。以上が5社に共通する特徴です。続いてそれぞれの独自の特徴について紹介していきます。

まず東京書籍について報告します。総ページ数が1年生259ページ、2年307ページ、3年生323ページになっています。探究のステップがフローチャートになっており、今どのような活動を行っているのかを視覚的に子供たちが確認できる、そのような教科書になっています。これがフローチャート形式で、ページの、これも教科書のページなんですけど、こういうところに、ずっと探究の流れを示してくれています。下を見ると、課題の把握をするページですよとか、あるいはこれは実験のページだったり、実験観察のページですよとか、そういうのをチャートで示してくれています。これもその例になります。それから温帯低気圧の3Dペーパークラフトが付録で付いています。これは、2年生になるんですけど、教科書の後ろに低気圧の、自分でクラフトを組み上げて立体的に自分で見られるような、そういう付録も付いています。それからこれが和歌山県のことを取り扱っている写真です。2カ所になります。西牟婁郡とすさみ町の写真です。以上で東京書籍の報告を終わります。

次に、学校図書の説明をします。総ページ数が1年256ページ、2年296ページ、3年296ページで、5社のなかで一番ページ数は少ない教科書になります。すべてのページに二次元コードが載っています。ちょっと説明が難しいんですけど、その二次元コードを開くと教科書のページがデジタル化されているんです。だからあるページで二次元コードを開くと、そのページがデジタル化された画面が出てきます。なので、すべてのページに二次元コードが記載されているということになります。さらに、それを立ち上げると、総ルビ、母国語が日本語以外の生徒に向けての多言語化に対応できています。どういうことかということ、子供たちが使う教科書にはルビはそんなに振ってないんですけど、デジタルコンテンツから入ると、こういうページが開いて、すべてルビが振られているんです。これがルビ振っている状態。もともとこうなんです。これにルビ振るとこんな感じです。多言語化に対応している部分なんですけど、これハングルなんです。これ日本語で書いているところにハングルで、同じ文章の説明がされているんです。これハングルだけじゃなく、全部は確かめられていないんですけど、われわれが理解している外国語については、ほとんど網羅されています。さらに、自学自習用教科書アドバイザー「理科マス！」というコンテンツが付いているんです。このコンテンツ、チャットで理科の質問をすると、AIとつながっていて、AIが答えてくれるんです。これ「理科マス！」というコンテンツなんですけど、これは地震のところなんですけど、一つの例で「震度とマグニチュードはどう違うの」と、こう質問するんです。AIが答えてくれるんです。こっちは、「裸子植物って何」という、生物の範囲なんですけど、これにもAIが裸子植物、こういうことです。関連したページは教科書の228ページですよ、とか、こういうふうに学習を手助けしてくれるコンテンツなんです。これが、さらに多言語にも対応していて。試しに外国の言葉で聞いてみたんです。そしたら外国の言葉で、ちゃんとAIが回答するんです。これもかなりの言語に対応していました。それから、ウェブページの下の部分に、科学ニュースというコンテンツが準備されていて、身近な理科学的ニュースとも関連付けて学習することができます。科学ニュースというコンテンツなんですけど、最近の科学のニュースなんかを自分で見ることができます。これ随時更新されてます。われわれが調べたときよりも、さらにニュースが増えているかと思います。次にいきます。和歌山県内の写真は、2カ所掲載されていました。串本町の写真と白浜町の写真です。以上で学校図書の報告を終わります。

次に教育出版に移ります。総ページ数が1年生280ページ、2年304ページ、3年336ページ

になっています。特徴としてはレポートの書き方や例が多数掲載されています。学習内容をまとめる際のポイントがつかめるよう工夫されています。このように、こんなレポートが書けたらいいですよという例が、いろんなどころに載っています。最初は、子供たちはこれを見て真似することになるのかもしれませんが、いずれ自分のレポートの書き方として定着していくのかなと思います。5社のなかで最もフォントサイズが大きいです。かつそのなかでも、1年生の教科書がさらにフォントサイズが大きくなっています。上が1年生です。下が2年生、3年生になります。2年生、3年生の教科書の字も十分大きいんですけど、それよりもさらに1年生が大きくなっています。本文中の重要語句や単元末の重要用語はすべて橙色の太字で印刷されており、市販の赤シートで、自分で学習することも可能です。こういう重要語句のところは橙色なんです。赤い市販の赤シートをかぶせると消えるので、重要語句を覚えるのに、昔からよくあるやり方なんですけど、こういう工夫がされているのは教育出版のみです。本の教科書のサイズのことを言います。AB判を縦に3ミリ拡大しています。他社よりも文字も大きく記載することができている。これは他の教科書より実は横のサイズは同じなんですけど、3ミリだけ上に長いんです。3ミリ長いだけなんですけども、それによって教科書の字をちょっと他社よりも大きく表示できているのかなと思います。和歌山県内の写真は1カ所が掲載されています。南紀ジオパークのすさみ町の褶曲の写真です。以上で教育出版の報告を終わります。

次に啓林館では総ページ数が、1年が272ページ、2年が296ページ、3年が328ページとなっています。3年生で学習する「さまざまな物質の利用と人間」の単元では合成繊維やプラスチックについて9ページにわたって詳しく記載されています。これがそのページになるんですけども、これがそのまま9ページずっと続いています。大変詳しい内容です。また学びの足跡として、記録や振り返りができる「ふり返しシート」のデータが用意されています。これがデータで用意されているので、いつでも子供たちは出せる状態になっています。パソコンを使ってですけど。1年生の教科書のみ、フォントサイズが大きくなっています。ちょっと分かりにくいかもしれませんが、左側が1年生の教科書。右側が2年生、3年生と同じサイズなんですけど、ちょっと比べてもらえば1年生が大きくなっているのが分かるかと思います。巻末の「探Qシート」が各単元に1つずつ付いており、活用することで実験や観察の探究の過程を自分で書き込むことができます。物理、化学、生物、地学分野の各単元に、1つずつこの「探Qシート」が巻末に付いています。これを見て、子供たちが探究の流れを自分で書き込んでいって、学習につなげていくという、そういうシートです。それから和歌山県内の写真が5カ所掲載されています。これは1年生の教科書に載っている和歌山県の白浜町と橋本市の写真です。これは3年生の教科書に載っている海南市の県立博物館のフズリナの写真であるとか。あと南海トラフの訓練の様子、これは和歌山市でやっているようなんですけど、そういう写真とか天神崎の写真、計5カ所載っています。以上で啓林館の報告を終わります。

最後に大日本図書です。総ページ数は1年生が293ページ、2年生が317ページ、3年生が373ページになります。「つながる」というコラムでは、他教科との関連付けが明記されています。これ「つながる」というコラムで、こういうのが何カ所かあるんですけど、他教科とこういう関連がありますよということを説明してくれています。生徒が家庭で年間を通して取り組める観察や観測を目次のページに記載しています。これ、目次のページなんですけど、西洋タンポポの観察、年間通して取り組むことができます。こういう例を示してくれています。あとは昆虫類の写真なんですけど、テントウムシ、1年というか観察続けたらこんなふうに変化していくよというのを写真で紹介してくれています。単元の

初めにこれまで学習したこと、これから学習することを分けて表示してくれています。これらは全ての単元の最初に提示してくれて、既習事項をまず振り返りましょう、これからの学習を、見通しを持って進めていきますよとそういう手引きを示してくれています。これ以外に、単元の途中でも学習に関連している既習事項を思い出そうというトピックで、忘れがちなことを小学校のときにこういうことやったでしょ、思い出しましょうねというのを単元の途中でも示してくれています。だからその都度、子供たちは既習事項を確認して作業ができるようになっていきます。教科書のサイズなんですけど、B5判でサイズが他社よりも小さめです。青い幅が、他社の教科書になります。大日本図書はそれよりも幅が狭いです。これは、机のサイズに合わせると、机に教科書を広げたときに、このサイズだとタブレットも同時に開けることができる、そういう工夫かなと。それから巻末に各地の科学館、博物館の紹介があり、生徒の興味が広がるような工夫もありました。これは日本全国の有名な科学館とか博物館を一気に巻末で紹介してくれています。残念ながら和歌山県は載っていませんでした。僕らでも知っているような科学館も載っていました。1年生の教科書のみフォントサイズが大きくなっています。右側が2年生、左側が1年生でちょっと比べていただくと大きいというのが分かります。以上で大日本図書の報告を終わります。これで5社の教科書についての調査報告を終わります。ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

どうもありがとうございました。委員の方々から質問はありませんか。

#### 富田選定委員

私も5社を読んで、どれも非常に面白くて、ここ10年、20年の間の教科書の進歩を感じております。ご報告のなかで、特にフォントサイズと本のサイズについてよく取り上げられました。読んだときにあまりフォントサイズや本の大きさは気にしなかったんですが、さすが現場の先生方らしい調査かなと思います。もう少しご意見を伺いたいのは、フォントのサイズというのはやはり気になりますか。たとえば1年生のほうが、フォントが大きい、あるいは全体としてフォントの大きい教科書があるというお話がありましたけれど、その他大勢のフォントというのはやはり小さめに思われますか。それとも、あまり、現象としては、大きい、小さいはありますが、あまり関係ないですか。どうでしょう。

#### 芝調査員

5社に共通して言えることは、フォントサイズは、適切な大きさだと思います。どの教科書も非常に見やすいです。ユニバーサルデザインフォントを使っているということもあるんですけど、比較してこの教科書は小さ過ぎるなという印象は持っていません。ただ、このなかでも一番大きいのが教育出版です。

#### 芝調査員

教育出版については、僕らが見ても、うわ、大きいなど。特に1年生は大きいなど。確かに、1年生が大きいということは、小学校の教科書と中学校の教科書を比べた場合に、中学校の教科書が急に字が小さくなると、やっぱり勉強をしづらく感じる例もあると思うので、大きいことはいいことだと思うんですけど。他社と比較しても遜色ないくらい非常に読みやすい大きさだと思っています。

## 富田選定委員

あと本の大きさが1社だけ小さめとありましたけれども、これはやはり高く評価されてお書きになったんでしょうか。まあこれぐらいかなという感じでしょうか。

## 芝調査員

なぜ大日本図書だけが小さいかなと考える材料にはしました。開いたときに確かに他に、机にスペースができるので、タブレットを開いていても、落ちたりとか、そういうことはないな。他の教科書は、開くと、逆に安定はとてするんです。安定するけど、スペースが小さくなるのかなと思いました。

## 富田選定委員

どの教科書もコラムがたくさんあって、とても読み切れなかったんですが、目次の段階でコラムをよく紹介していたのは啓林館だと思うんですが、よくよく読んでみますと、たとえば最後の大日本図書でも「くらしの中の理科」とか「科学のあしあと」とかいろんなコラムがあります。コラムで特徴的なのは、生活に結び付けることか、将来の仕事に結び付けるか、歴史を見るかの3つぐらいだと読めました。ピンとくるのは、たぶんこれ高校の理科への接続、あと高校の理科で、今、問題になっていることへの対応かなと読めたんですね。高校の理科で、高校の先生とよく話をするんですけども、高校になると全分野の理科を勉強しないんですよね。選択をしていくというよりは、実はどれか落としていってあまり全部勉強しない。よく大学受験、悪者にされるんですけど、そうすると中学校の段階でどれだけ広く理科の香りを嗅いでいただくのかというところが、逆に高校がそういうふうにして、専門性を高め過ぎてしまうところがあるので、中学校のところというところもあって、そういう意味ではたとえば料理の話を持ってきたり、暮らしのなかというのは、大日本図書、料理というのはたとえば啓林館、特にキーワードが出ています。私はこのあたりを非常に興味深く読んだんですが、まずできるだけ理科も幅が広いのでどうしても好き嫌いも出るし、実は先生方自身もなかなか得意不得意も出てくるんですけど、こういう橋渡しをすることで、料理とか暮らしという橋渡しをすることで、広く世界を見るという工夫の、より工夫、意識しているなという会社と、そうでない会社と多少見えるんですけども、何か気付かれたことはあるでしょうか。あと2、3質問があるんですけど、1つずついきます。

## 芝選定委員

どの教科書も、理科って世の中から切り離せない、理科というか科学という分野が、世の中と切り離せないというようなところを、紹介しているように感じています。これは子供目線を見たとき、われわれは新聞読むのと同じような形で、ふっと何気に開いたときに読めるような形で。だから教科書のなかでは勉強しなかったけども、実はこの単元がこういう部分、こういう技術につながってなど、そういうところの紹介。だから理科って大事なんだよと、そういう作り方をしているように思いました。だからこのコラムを担当教員が全部拾っていると、とてもじゃないんですけど授業が進まないの、子供たちが自分たちで読めるような形で、自分たちの視野を広げるような、そんな工夫がそれぞれの5社にあるのかなという捉え方をしています。

## 富田選定委員

ありがとうございます。あと2つぐらいお聞きしたいんですけど、もう1つは、これは高校、そして大学ですごく問題になっているんですけど、理科を別に仕事にする必要はないんですけども、自分自身に引き付けることに関して、大きな性差が出るというのは有名な話です。実は特に日本の学校でこれが起きているということ、理科の関係者は非常にびっくりしてるというか、いつまでたってもこれが収まらないと。うちの大学生に聞いてみると、だいたい中学ぐらいに別れてしまうというので、何が原因かというのは私も分かりきらないんですけど、たとえば教科書を見て、登場人物に男女の差があるのかとか全部読んだんですけども、今のところ特に見当たりません。仕事を紹介するところが、たとえば啓林館のお仕事ラボとか、東京書籍だったら社会につながる科学のインタビュー記事が載っています。これも全体読んだところ、そんなに大きな性差は感じないんですけども、中学校の先生で、普段生徒に接しておられるところで、特に2年、3年男女で数学もそうでしょうけど、ずいぶん性差が出る。表面的かもしれないですけど出てしまっていることに対して、たとえば大学とかものすごく困ってるんですけども。教科書を御覧になって、そのあたりを感じたところがありますかね。何か、どの教科書は、いや、これはどうやろうか、いやこの教科書この記述はこの点でいいとか、その観点は問題だけれども、特にどれもそのどちらにも転ばないというか、何か御覧になって、何かピンと来られたことはありますか。

## 芝調査員

どっちにも転ばないように工夫して作っているなと思いました。イラストであったり、そういうところも男女の性差を感じさせないように、イラストを載せているなと思います。だから教科書で性差が出るような、これたぶん各教科書会社、とても注意して作っているなと思いました。

## 富田選定委員

分かりました。最後といたしますか「探究」というキーワードがすごく多くて、たとえば啓林館は、3学年とも入り口を「探究をはじめよう」になっております。東京書籍も「探究の流れを確認しよう」になっています。そうですね、教育出版は「探究とは」とかいうのでずっと来ていますし、大日本図書もそうですね「理科の学習の進め方」とかになっていますけども。比較的「探究」というキーワードが少なかったのが学校図書かなと思うんですが、何かお気づきになりましたかということです。どの教科書か忘れたんですが、ちょっと私の印象というか、どれも探究から入って探究で終わるような教科書の構成になっていますけれども、課題の紹介や、それから探究を深めるときの、迷い道に入ったときのガイドも含めて、比較的探究が深いなという教科書と、さらっといつているなという教科書と、その辺の違いは、何かお気づきになりましたか。

## 芝調査員

これも印象だけになるかもしれませんが、東京書籍、啓林館は、探究については大変詳しく、丁寧に載せていると感じています。学校図書、これ、デジタルコンテンツが一番豊富な。教科書は薄いんです。その分、字数も少ないです。その代わりデジタルをふんだんに使って、もちろんデジタルで探究についていろいろ、探究ができるような流れをデジタルのなかで作っているような印象なので、教科書だ

け見ると、ちょっとページ数も少ないし、説明もちょっと不足しているかなという感じなんですけど、入り込んでいくと、デジタルコンテンツを使うと、それが一気に広がるような、そんな仕組みになっているのかなという印象を持っています。

### 富田選定委員

ありがとうございます。もう1点だけ。たとえば東京書籍の探究のステップがページの下に書かれているという紹介、それから教育出版のレポートの書き方の例が多数あるという紹介、これは生徒の皆さんだけじゃなくて、たぶん特に若い先生が授業を進めやすいようなガイドになっているのかなと私はうすうす思っています。編集趣意書にも似たようなことが書かれています。そういう意味で言ったら、学校図書は非常に特徴ある、このデジタルコンテンツが非常に豊富、なかなか日本語で十分考えが回らない生徒も増えてくるなか、これは学校の先生への支援になるのかなと思うんですけども、ちょっと私も今、読んでみたんですけど、なかなかすさまじいコンテンツでびっくりです。ちょっと監修者の名前も見たんですが、なるほどなというか、若干好きな人が監修しているなというのもあって、ちょっと変化球を投げてきたなという気もするんですが、どうですかね、やっぱりこれぐらい、これからの多言語化って早急に必要ですかね。どう思われますかね。いや素晴らしいことだと思うんですけど、待ってましたというふうにお感じなのか。まあすごいけど、ちょっと好きな人がやり過ぎたとは言わないけど、新しくてなかなかいいなというぐらいの捉え方なのか。

### 芝調査員

びっくりしました。われわれが教科書の調査をするときに、当然今の時代ですから、1人1台タブレットの時代なので、デジタルコンテンツがふんだんに用意されている、いろんなシートが準備されている、これぐらいの印象で、最初調査を開始したんですけども、学校図書に関しては、われわれの考えをさらに上回っていて、AIについてはちょっとやり過ぎかなと思っています。

### 富田選定委員

質問に答えるというあたりですね。

### 芝調査員

はい。簡単なんです、すごく。ただ多言語化についてはどれだけの言語の数があるのかなと思ったときに、どうなんでしょうね、10ぐらいあれば、大体日本で使えるのかなと思うんですけど、かなりの言語数に、これは正直やり過ぎというよりは、びっくりしています。ルビに関しては、これはとても良いと思いました。

### 富田選定委員

分かりました。ありがとうございます。ぜひ参考にして私も考え深めたいと思います。ありがとうございます。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。他にないですか。他にないようですので、調査員の方には退出していただくと思うのですが、よろしいですか。では、どうもありがとうございました。

#### **高幣選定委員長**

それでは、調査審議に移ります。皆様には、教科書についての調査研究をお願いしているところです。また、ただいまの調査員の報告や各自でお調べになったことを踏まえて、各社の特徴について御意見いただきたいと思います。いかがでしょうか。率直にびっくりしたなど多言語化というのに驚きました。

#### **富田選定委員**

実は理科の教科書で「理科」と書いてあるか、「科学」と書いてあるか「サイエンス」と書いてあるかずいぶん、名前が全部違います。自然と書いてある場合もあります。実はこの言葉が、好き嫌いが理科のなかでもあって、たとえば自然や科学ということはあまり聞きたくないという方がいらっしゃるというのを私も知っています。もしかして、タイトルが内容と少し関係するのかと思ったのですが、ほとんど関係がありませんでした。教科名は理科です。何で科学じゃないのかというのは、いろいろ歴史的に事情があるんですけど、特段何か意図はなくて、それぞれの会社でお互いが名前取り合っているのかなという程度でした。

#### **高幣選定委員長**

ありがとうございました。他にどうでしょうか。他にございせんか。ないようなので、それでは今まで審議いただいた内容を審議調査結果としてまとめるということによろしいでしょうか。それでは、審議した内容を審議結果としてまとめることを決議いたします。長時間にわたりありがとうございました。これもちまして第3回和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を終了します。お疲れ様でした。

## 第4回 選定委員会の会議の議事録

地理、地図、保健体育、数学 調査審議

美術・家庭の答申及び答申資料の審議・決議

## 1 日時

令和6年6月21日(金)

会議開始時刻 16:30 会議終了時刻 19:00

## 2 会場

教育文化センター 2階 会議室

## 3 出席者

### ○選定委員会

選定委員長	高幣 泰男				
選定委員(学識経験者)	柏野 貴之	川端 宏典	島津 俊之	庄禮 浩志	
	十河 秀彰	高木 康子	田野岡 教彦	寺川 剛央	
	富田 晃彦	西岡 真弓	西川 彰彦	三宅 秀夫	
	山本 茂子				
選定委員(学校代表)	溝口 恵司				
選定委員(保護者代表)	池田 貴章	南 理絵			

### ○教科用図書調査事務局

事務局長	奥山 由佳(教育局長)
事務局次長	前北 博文(学校教育部長)
事務担当課長	岩本 信哉(学校支援課長)
	竹内 圭(教育研究所長)
事務局員	北林 直樹(教育研究所専門教育監補)
	岩崎 仁(教育研究所専門教育員)

## 4 議事

- 事務局説明
- 地理 調査審議
- 地図 調査審議
- 保健体育 調査審議
- 数学 調査審議
- 美術 審議
- 技術・家庭(家庭分野) 審議
- 事務連絡

## 高幣選定委員長

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。本日は13名の委員の方々に出席をいただいております。過半数の出席がございまして、和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により、第4回和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を開催いたします。本日は地理、地図、保健体育、数学の順に4つの教科、種目についての調査審議をしていただく予定です。その後、美術及び技術家庭、家庭分野の答申及び答申資料について、皆様で確認、審議の上、決議していただきます。本日の会では、和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第5項の規定により、各教科、種目の調査委員に調査資料の提供とその説明を求め、質疑応答を行うことといたします。調査員退出後、選定委員の皆様で、教科書の内容について、調査審議をお願いいたします。調査審議に入る前に確認をいたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ、報告することです。今回、調査研究する全ての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを確認することを目的とし、再度確認をいたします。御理解、御協力よろしくをお願いいたします。それでは本日の開催要項どおり、まず地理の調査員に入室をしていただきます。そして、調査内容の報告をしていただきたいと思います。

---

### ——地理——

## 高幣選定委員長

それでは地理についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

## 奥野調査員

社会科地理的分野を担当しました紀伊中学校の奥野と申します。よろしくお願いいたします。

## 富崎調査員

社会科地理的分野を担当しました日進中学校富崎と申します。よろしくお願いいたします。

## 石井調査員

同じく地理的分野を担当しました高積中学校の石井と申します。よろしくお願いいたします。

## 奥野調査員

それでは私から調査結果について報告いたします。教科書につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社ございました。東京書籍から順番に報告させていただきます。

東京書籍の教科書についてお話をさせていただきます。まず、内容の取り扱いと構成についてですが、各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探究課題」と探究課題の解決を補助する問いである「探究のステップ」、1単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決する学習の流れになっています。日本の諸地域では、九州地方は「自然環境」、中国・

四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「人口・都市村落」、中部地方は「産業」、関東地方は「交通・通信」、東北地方は「生活・文化」、北海道地方は「自然環境」という視点に着目して考察する流れになっています。日本の領域につきましては、学習指導要領解説に基づいて適切に記述されています。島の写真や地図が多く、内容も面積や地勢、植生など地理的事象の説明で、歴史的経緯にはあまり触れておりません。最後に、ICT 活用という視点では、二次元コードが見開き1時間の授業に1、2個掲載され、デジタルコンテンツをほぼ毎時間授業で活用できるようになっています。

続きまして、教育出版の教科書の説明に移ります。最初に、内容の取り扱いと構成についてです。各章の学習内容に関連した写真・グラフからイメージをつかませる導入、章ごとの自然地理を学習し、章ごとに設定された学習課題を追究する本編、最後に学習課題とSDGsの問題とを結び付けて振り返る学習のまとめと表現という流れで、構成されています。日本の諸地域では、九州地方では「自然環境とその保全」、中国・四国地方では「人口集中や人口減少」、近畿地方では「歴史」、中部地方では「産業」、関東地方では「交通・通信」、東北地方では「地域の伝統文化と産業の変化」、北海道地方では「自然環境と関連する産業の変化」という学習の視点を設定し、単元を考察する柱としています。日本の領域や領土については、現行の学習指導要領に基づき、適切に記述されています。北方領土については、歴史的経緯や現在の状況を写真や地図などの資料を用いて補足しています。竹島や尖閣諸島についても、政府の認識を明確に示しています。最後に、ICT 活用についてですが、この教科書では、地図・地形図の作成や読み取り、比較を行うページに二次元コードが掲載されており、そこから動画へアクセスすることができます。その動画では書き方や読み取り方の解説がされていて、視覚的な支援がなされています。以上で教育出版の説明を終わります。

続きまして帝国書院の教科書についてお話させていただきます。まず、内容の取り扱いと構成についてですが、章、節を基本単元とし、単元の初めに「写真で眺める」を設定し、興味・関心を高め見通しを立て課題を設定します。まとめでは、思考ツールを活用した「対話的な学び」で学習を振り返るという流れになっています。日本の諸地域では、九州地方は「自然環境」、中国・四国地方では「交通・通信」、近畿地方は「環境保全」、中部地方は「産業」、関東地方は「人口や都市・村落」東北地方は「生活・文化」北海道地方は「自然環境」という視点に着目して考察する流れになっています。日本の領域については、学習指導要領解説に基づいて適切に記述されています。歴史的経緯を地図などの資料を用いて説明しています。尖閣諸島については、政府の認識が明確に示されています。最後に、防災学習という視点では、地理的技能を習得するために、ハザードマップの読み取りの作業を設けています。実際のハザードマップが大きめに掲載されていて見やすいです。また、イラスト地図を用いて自然災害の危険性を考える演習問題も活用できます。あと、地図帳を活用して学習する課題が56カ所設置されています。以上が帝国書院の説明になります。

最後に、日本文教出版の教科書について報告します。まず、内容の取り扱いと構成についてです。「世界の諸地域」や「日本の諸地域」では、章ごとに、まず、地域の概要をつかむ「大観ページ」があり、次に単元を貫く問いを立てる「導入ページ」、さらに、学習課題を追究する「本文ページ」、最後に、問いを解決し、ふり返り、学びを深める「まとめ・ふり返りページ」があるという構成になっています。前に映しているページが、アジア州の問いを立てる「導入ページ」です。この前に「大観ページ」があり、この後に「本文ページ」が続いていきます。「日本の諸地域」では、九州地方は「自然環境」、中国・四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「歴史的背景」、中部地方は「産業」、関東地方は「人口や都市・

村落)、東北地方は「持続可能な社会づくり」北海道地方は「自然環境」を、それぞれの地域の考察の仕方として設定しています。「日本の地域構成」では、日本の領域や領土について、現行の学習指導要領に基づいた適切な記述がなされています。北方領土、竹島については、地理的事象や歴史的経過、現在の状況を地図や写真などの資料を用いて説明しています。また、尖閣諸島については、政府による認識が明確に示されています。次に、内容の補充や発展についてですが、ほとんどのページに二次元コードが付されており、その数は教科書全体で139カ所ありました。タブレット端末などを活用したデジタル教材とリンクしており、デジタル教材のなかには、編や章ごとに、生徒が学びの履歴を記す「ポートフォリオ」や、確認小テスト、動画教材が用意されています。以上が、日本文教出版の報告です。以上で、社会科、地理的分野の各教科書の報告を終わります。ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

どうもありがとうございました。委員から質問はございませんか。

### 島津選定委員

短時間で大変丁寧にお調べいただき、ありがとうございました。2点あるんですが、1点目は、地理の教科書、以前からそうなんですが、出版社によって、やはり内容に強調する点が微妙に違いというのはあるように思うんです。たとえば、帝国書院は、戦前からある伝統的な出版社ですので、本当にいわゆるオーソドックスな地理の叙述のスタイルは踏襲して、もちろん、SDGsとか新しい内容も盛り込みながら、今に至っているのに対して、教育出版は、以前からそうなんですが、割と時事問題というか、現代起こっている、特に課題、問題にかなりシフトした、そういう内容かなと、やはり今回もそうであったかと思いました。そういう2つの出版社の内容を軸にすると、東京書籍と日本文教出版の教科書は、その中間ぐらいかなという感じが個人的にはしているんですが、そういう、どれが良い悪いではなくて、やっぱり出版社の教科書の毛色の違いというか、そういう点について、何か議論、御意見はございましたでしょうか。これが1点目です。

### 奥野調査員

実際の調査につきましては、ここにいる3人で、どの教科書を詳しく見るかというのは分担させてもらいながら、進めさせていただいたんですけども、そのなかで、共通するポイントについて、4社を比較させていただいたところもございますし、あとは、この教科書については、この辺が特徴的だよねという、そういうところも、共通している部分ではないのかも分からないんですけども、違いのところや特徴的なところは、挙げさせていただいているかと思います。私が担当したのは日本文教出版ですけども、詳しく見させてもらったのは。そのなかでは、割と時事的な、いわゆるウクライナ問題とかについても、コラム的な部分で補充されておりましたし、最新の時事的なところについては、触れている箇所があったかと、私は確認しております。

### 石井調査員

教育出版の教科書を分析させていただいたんですが、アメリカ州の、北アメリカ州の学習のなかで、デトロイトとか、かつてから自動車工業で勢力を誇っていた地域が、一気に衰退しているよというのを

コラムで挙げていたんですが、こういうのは他の教科書にはあまりなくて、ウクライナ問題もそうなんですが、ちょっと他の教科書にはあまり見ないような、最新の世界の情勢や日本のデータというのを挙げているのは、すごく印象に残りました。日本文教出版の教科書も並行して比べたんですが、デジタルコンテンツについては、教育出版はちょっと少ないのかなという印象を持ちました。以上です。

### 富崎調査員

私は帝国書院と東京書籍を調べたんですけど、帝国書院は、やはり資料、写真とかの資料は多岐にわたるといえるか、たくさん使用されていて、情報量が多いかなという感想を持ちました。逆に東京書籍は、シンプルに見やすさであったりとか、子供たちがその課題、その内容に入りやすいような工夫がなされていたかなと思います。たとえば、世界の州の学習をする際には、その州に住む中学生の生活とか、そういうことをちょっと取り上げながら、自分たちの日本の生活とは違うなという特徴を挙げて、最初に生徒たちにその違いを感じさせて入っていくという導入の工夫も見られたので、そういう全体的な見やすさであったり、内容に入っていくというのは、東京書籍は良かったかなと思います。

### 島津選定委員

どうもありがとうございました。もう1点目は、現在の学習指導要領から、地域調査の方法というのが日本地理、日本の地域の特色の1番最初に持ってこられたということと、1番最後に地域のあり方とあって、またもや地域調査、特に地域のあり方のほうは、地域の課題解決に向けた地域調査という、日本地理の最初と最後に、地域調査が挟まっている、そういうような構成になっているのが特徴かと思うんですが、それで、中学校の先生方、これを教えるのは苦勞されている部分かなと思いますが、その地域調査の方法と、それから地域のあり方の部分で、やはり4社比べてみると、たとえば地形図の読図であるとか、共通する部分がありながらも、やはり各社の個性といいますか、そういったものが出ているかと思うんですが、その部分で何か意見というか、議論というか、もしございましたら、教えていただきたいと思います。

### 奥野調査員

私たちの調査のなかでは、今、出していただきました地形図について、掲載されている地形図が、どれぐらい新しいものか、何年度発行のものなのか、そういうところは比較させていただいております。やはり、子供たちに例示する資料にもなってきますので、そういうところでは、新しいもののほうが、過去と比較するにしても、比較しやすいのかなという調査の話はさせていただいています。あとは、取り上げる地域、たとえばこの地域について、地域のあり方を調査しますとか、これからのまちづくりを提案しますなどというのも、各社ばらばらな地域を取り上げておりますので、調査の方法とか流れ、それをまとめる、発表する、プレゼンテーションのやり方とかも提示している会社もあったかと思いますが、その辺は、おおよその大きな流れについては、各社同じようなところだったかなと認識しております。以上です。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他に質問はございませんか。他に質問がないようでしたら、調査員には退出

していただきます。ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆様には、教科書についての調査研究をお願いしているところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴等について、御意見をいただきたいと思います。

### 島津選定委員

感想程度の話になるんですが。各社とも二次元コード、デジタルコンテンツが非常に充実していて、全部見たわけじゃありませんが、一応スマホで読み込んで見てみたんです。そうしたら、各社それぞれ個性があって、たとえば帝国書院などは、1,000以上のデジタルコンテンツの資料が実は提供されていると。これすごい数、逆にあり過ぎて、先生も生徒も困るかなというようなぐらい、たくさんあるということのある一方で、他の教科書会社は、それほど数はないんですが、ただ、たとえば日本文教出版なんかは、数はそんなに多くない、他の会社よりは多いけども、帝国書院に比べたら数は少ないんですが、ただ非常に工夫されていて、たとえば学習ポートフォリオというワークシートなんですけど、それが上手く作られていて、教科書の各単位時間の最初に学習課題があって、その学習課題に沿って授業をしていって、生徒がその学習課題の解決、答えを書いていくということで、教科書に沿った授業の進め方に沿った形で、学習ポートフォリオを生徒がウェブにアクセスして、Wordとかで書き込んでいくという。非常にそのリンクがうまく出来ているなど、そういう感じがちょっといたしました。なかなか各社個性があって、やっぱり先生方が、どれを選ぶかというのはやはりその先生方の授業のやり方によって、だいぶ変わってくるなという感じがいたしました。あと、今、ICT活用が非常に盛んになっているわけですが、地理の分野では、生徒が自分で地図を作るという、GIS、地理情報システムというのが高校の地理総合だったら必修になっているんです。各社の二次元コードのコンテンツを見ていたら、中高連携をちょっと意識したような、GISソフトを中学生でも使えるような丁寧な説明がしてある帝国書院とかそういうところはそうなんです。あと、他の会社でもそういうGISソフトの使い方を動画で説明するといったような、そういう会社もありましたし、やはりすごく工夫されているなという感じがいたしました。以上です。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にございませんか。調査員の報告、またそれに対する質問、また今の御意見等もたくさんありましたので、これまでの審議いただいた内容を調査審議の結果として、まとめるという形でよろしいでしょうか。それでは審議した内容を調査審議結果として、まとめることを決議いたします。

---

———地図———

高幣選定委員長

それでは次に地図の調査員に入室をしていただきたいと思います。それでは地図についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

### 兎玉調査員

河西中学校の兎玉です。よろしくお願いします。

### 岡部調査員

明和中学校の岡部です。よろしくお願いします。

### 岡部調査員

地図は、東京書籍と帝国書院の2社になります。今回の調査では、各社の特徴的な部分に注目して調査いたしました。それでは、調査結果を報告させていただきます。

まずは東京書籍です。東京書籍の地図の大きさはA4判で、全176ページで構成されています。こちらを御覧ください。「Bee's eye」地図帳の各所に「Bee's eye」という資料活用コーナーが設けられ、生徒が主体的に地図を活用できるようになっております。続きまして、二次元コンテンツなんですけど、このように先程の「Bee's eye」の解答例や、地図クイズやデジタル地図などが用意されており、グループ学習や家庭学習で活用することができます。また地図には、北海道の地名がアイヌ語由来であることの説明や、各国の食文化の違いなどが掲載されています。これらを活用することで、国際的な視野に立ち、文化の多様性について理解を深めることができ、これは、本市のめざす子供像「豊かな心」を育む一助となっています。続いてはこちらを御覧ください。このように、SDGsの各ゴールの内容や関連ページが掲載されています。これに関しても、本市のめざす子供像である「よりよい社会の形成者となるための力を育む」の一助となっています。続いてですが、巻末の「日本の周辺」では、近隣諸国と領土をめぐる問題を抱えている島々、竹島や北方領土を地図や写真で示し、これらの地域が不法に占拠されていることに加え、現在も交渉を続けていることを明記しています。最後になりますが、都市部と農村部などを比較する資料や過去と現在を比較する資料や写真が充実しております。以上が東京書籍の調査報告になります。

続きまして、帝国書院です。地図帳の大きさはA4判で、全198ページで構成されています。まず「地図で発見！」というコーナーが設けられており、地理的な見方や考え方を働かせるための工夫や言語活動の充実を図る工夫が見られます。また、世界の各州の資料のなかに、鳥瞰図が掲載されています。イラストが多く使われていることもあって、中学生が興味をもって地図学習に入れる工夫が見られます。続いて、デジタルコンテンツなんですけど、こちらの二次元コードを読み取ると、地図や統計資料、関連動画などを生徒用タブレットで、生徒が自分で確認・学習ができるようになっています。NHK for schoolの関連動画が見られるような工夫がなされています。また、先程、東京書籍のときに報告させていただきましたが、こちらにも、北海道の地名がアイヌ語由来の地名であることの説明や、各国の食文化の違いなどを掲載されているので、本市のめざす子供像である「豊かな心」を育む一助となっています。続きまして、こちらにもSDGsに関連付けた資料が豊富に掲載されています。これも、本市のめざす子供像である「よりよい社会の形成者となるための力を育む」一助になっています。続きまして、竹島と北方領土に関しては、こちらにも日本固有の領土であると示されており、さらに、韓国・ロシアがそれぞれ不法

に占拠していると明記されています。また、世界地理の分野では、貧困や新しい産業に関する内容、日本地理では歴史・文化に関する内容が増えています。特に日本の諸地域に関する内容配分については、こちらのように近畿地方のページ数が多くなっています。神戸・大阪・京都・奈良がより詳しく示されています。以上で報告を終わります。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。各委員から質問はございませんか。

## 島津選定委員

短時間で詳しく調べていただいて、ありがとうございました。2点あるんですが、1点ずつ順番にお伺いしたいんですが、1点目は、地図帳ですので、非常にカラフルな色合いが使われているんですが、色合いの違いといいますか、たとえば帝国書院の場合、以前からそうなんですが、割と鮮明な印刷で、鮮やかな地図の色調で、たとえば等高線なんかも割とくっきりと判読できる形で印刷してあると思うんですが、それに比べて、東京書籍のほうは割とソフトな感じで、逆に言うと目に優しい感じで、等高線なんかだと色の違いだけで表現されているので、線というのはちょっと見えづらい。けれども、地図帳で等高線の判別、判読ってあまりしない可能性もあるので、そんなに不都合はないと思うんですが、その地図の見た目の違いというか、そういった点で何か議論、あるいは意見等はございましたでしょうか。

## 兎玉調査員

その辺、調査員のほうでも議論というか話し合いになりまして、全体に統計を取ってというのは無理なので、調査員の少数の意見になるんですけども、調査員は全員帝国書院のほうが、色合いが、コントラストが見やすいという。ちょっと東京書籍のほうは、薄く感じたというところです。ただ、どちらの地図に関しても、ユニバーサルデザインで作られているということで、色覚の問題を抱えている人にも見やすくは、どっちも作っているということなんですけれども、調査員の意見としては、全員、帝国書院のほうがちょっと見やすいなという意見でした。

## 島津選定委員

ありがとうございました。2点目なんですが、中身に関わる点ですけども、帝国書院のほうが、ページ数がやや多いですね。20ページ以上は違うということで、主題図、統計地図とか、主題図の充実度とかそういう点で違いがあると判断されたかどうかという点と、あと、帝国書院の地図帳は割とその一般図でいうと、歴史的な情報がすごくたくさん盛り込まれていると思うんです。東京書籍のほうもそれなりに、歴史の情報は盛り込まれているけれども、帝国書院のほうはかなり歴史学習にも使えるということ意識したような編集方針かなと思うんですが、そのあたり何か議論、御意見等はございましたでしょうか。

## 兎玉調査員

ページ数の違いなんですが、その辺も話し合いのなかでは出まして、帝国書院のほうがページ数が増えているんですけども、帝国書院の場合だったら、鳥瞰図がアジア州であるとか、こういう感じで、こ

これはアジア州になるんですけれども、アフリカとか、それぞれの州のはじめのほうに鳥瞰図が用意されていて、あとそのページ数の差になっているのが、日本の諸地域のところで、そこでも鳥瞰図が用意されておりまして、あと、おっしゃられたように歴史的な資料のページというところで、ページ数の差が出ているのかなという、そういう話し合いでした。

#### 島津選定委員

どうもありがとうございました。私からは以上です。

#### 高幣選定委員長

他にどうですか、ございませんか。他にないようでしたら、調査員には退出をしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆様には教科書についての調査研究をお願いしていたところでございます。ただいまの調査員の報告や、各自でお調べになっていただいたことから、各社の特徴についての御意見をいただきたいと思えます。

#### 島津選定委員

東京書籍の地図帳は、ページ数は少なめなんですけれども、ただ割と新しい試みが幾つかあって、1点だけ言いますと、鳥瞰図を掲載する場合に、帝国書院の鳥瞰図の場合は、陸上のでこぼこは表現しているんですが、海底地形は表現してないんです。ところが、東京書籍の鳥瞰図は、海底のでこぼこまで表現してあるんです。実はそっちのほうが良くて、地球のでこぼこは、実は海底のでこぼこが、陸上のでこぼこにつながっているんで、要するに水があるかないかの違いだけなんで、そういう地球全体のでこぼこを海水を取り去った状態で体感できるのは、実は東京書籍のほうなんです。そのあたり、割と新しい試みかなと思いました。以上です。

#### 高幣選定委員長

地図帳は見ても、ほんとにその海底のでこぼこがより分かりやすいというのが特徴として、はっきりと出ているというのは、良く分かりました。違いますね。他にどうでしょうか。特に特徴的なご意見等というのがなければ、これまでの審議いただいた内容を、調査審議結果として取りまとめるということでよろしいでしょうか。それでは審議した内容を調査結果として取りまとめることと決議いたします。ありがとうございました。

---

保健体育

#### 高幣選定委員長

次に保健体育の調査員に入室をしていただきます。それでは保健体育についての調査審議を行います。

まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

### 小川調査員

保健体育調査員、高積中学校の小川です。

### 林調査員

紀伊中学校、林です。

### 塚本調査員

有功中学校、塚本です。よろしくお願いします。

### 小川調査員

東京書籍、大修館書店、Gakken、大日本図書の4社の教科書について調査結果を御報告いたします。

それでは、まず最初に「新しい保健体育」東京書籍では、各章のとびらに、「保健体育の職業」を設け、社会で健康安全やスポーツに関連した職種の方を紹介し、キャリア教育にも役立っています。8ページではDマークコンテンツの使い方が紹介され、各項目で学習内容に関連する動画やシミュレーション、他教科との関連マークや生徒の理解度を高めるための補充コンテンツが多数用意され、二次元コードにより簡単に調べたり視聴したりすることができるよう工夫されています。51ページでは、性の多様性を発展資料として掲載しており、表現する言葉として「SOGIE」と記載されています。62、63ページでは「私とスポーツ」として、スポーツを通じた多様な関わり方をそれぞれの職種の視点から、自分の経験を踏まえ紹介しています。78、79ページのように、各項目では「見つける」「課題解決」「活用する」「広げる」が一連の流れとなっており、興味を持って目標が達成されるように工夫されています。各章末の章末資料では学習に関連した資料を多く取り上げ、大きな図やグラフで示しています。配列は保健編、体育編の順となっており、各領域の指導事項に偏りがなく構成され、各単元見開き1時間扱いで分量は適量だと思われます。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、レイアウトに沿って学習を進められるよう工夫されています。口絵や章末資料、読み物に今日的な課題に関わる資料もたくさん掲載されています。ユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高め、本文とキーワードのフォントを変え、区別しやすいようになっています。

続きまして「最新中学校保健体育」大修館書店では、104、105ページのように各単元の初めに「課題をつかむ」、最後に「学習のまとめ」が設けられ、生徒自身の生活体験を振り返って考えたり、話し合い活動をしたりできるように工夫されています。各所に特集資料やコラムがあり、42、43ページで性の多様性について取り上げ、性的マイノリティとして紹介したり、87ページのがん教育では、がん体験者の言葉を取り上げたりするなど発展的な内容も充実しています。また、口絵では、共生社会や持続可能な社会、ウェルビーイングについても触れられているなど、現代的な健康課題にも対応しています。140ページの感染症について学ぶ単元では、資料2でさまざまな病原体の画像が掲載されており、そこで新型コロナウイルス感染症についても取り上げられています。随所に二次元コードが設けられ、動画、ワークシート、クイズなどのデジタル教材が活用できるようになっています。構成は学年別で、各単元見開きで1単位時間が徹底されており、配列は体育理論、保健の順番になっています。各

章末にはまとめが設けられ、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に取り組む態度」の観点別に振り返りができるようになっています。各章のとびらに小学校で学習したこと、また、この章で学習すること、高校で学習することを提示し、系統性のある学びができるようになっています。ユニバーサルデザインやユニバーサルフォントが使用され、さまざまな色覚の特性にも対応しているなど、全ての生徒にとって見やすく、分かりやすい紙面となっています。以上が大修館書店です。

続きまして『新中学保健体育』Gakken です。8 ページ、「教科書の構成と学習の流れ」で各章の学習の仕方、1 時間の主な流れが分かりやすく記載されています。また、生徒とともに学習を進め、学びを深める手助けをしてくれる「ウィズ」というキャラクターがいます。また、ウォームアップやエクササイズにより、課題の発見・解決を図りながら学習を進めることができるように工夫されています。続きまして66 ページ。性についての心の多様性として、体の性、心の性、関心を持つ性を取り上げ、LGBT や SOGI が紹介されています。164 ページでは、感染症の感染経路や予防と拡大の防止を掲載し、予防・拡大防止に向けてできることを説明しています。25 ページのように各章に「この章で学んだキーワード・振り返ろう・確かめよう・生かそう」があり、確認や振り返りがしやすくなっています。構成は、学年別に構成されており、配列は体育編、保健編の順となっています。分量も内容も適切に設定されており、各単元見開き1 時間扱いになっています。書体、カラー、レイアウトなどユニバーサルデザインに配慮し、紙面を構成しております。以上が Gakken です。

続きまして『中学校保健体育』大日本図書です。20、21 ページのように単元の初めに学習のねらいが明記され、学習の見通しが持てるようになっており、各時間の確認と振り返りをするためのキーワードが見開き右下に用意されております。口絵5、6の写真でスポーツにおける「見る」「行う」「支える」の視点から多様な関わり方を学び、キャリア教育につなげることができるようになっています。口絵16では、デジタルコンテンツ、ウェブサイトで動画や資料、まとめ問題が用意されており、対応するページにはマークが記載されています。107 ページ、心肺蘇生法の実習では、折り込みが採用され、全体を確認しながら進めることができるようになっております。145 ページ、地域マークでは地域で、家マークでは家庭で取り組みたい内容が分かるよう工夫されています。構成は学年別に構成されており、配列は体育編、保健編の順となっています。各領域の指導事項に偏りがなく構成され、各単元見開き1 時間扱いで左側が本文、右側が資料となっております。分量も適切でありユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすいように工夫されています。以上が大日本図書です。以上で4社の調査報告を終了いたします。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。各委員から質問はございませんか。

## 西川選定委員

丁寧な資料、どうもありがとうございました。単純な質問からお伺いしたいんですが、東京書籍だけが順番が違いますよね。上に保健を2つ持ってきて、保健の章も入れ替えて、最後に体育を持ってくるという形になっています。あまりこのような形はなかったんですが、たぶん何らかの意図をもってやっていると思うんですけども、その辺は話し合いで何か意見は出ましたか。

## 小川調査員

話し合いでは出ていないです。体育編とか体育理論とか、ちょっと言葉が違ったりというところはあるんですけども、保健が先、体育が先ということでは。

## 西川選定委員

分かりました。あと1点だけ。自分自身の考えなんですけど、教科書の柱は本文だと思うんです。ところが、いろんな教科書が全て何か華やかになってきて、本文が少しずつ減ってきて、一見資料集に見えますよね。本文も大事ですけども資料も大事なので、たとえば **Gakken** 「食生活と健康」という1年生の保健の内容があるんですけども、そのところで朝食を食べた場合に作業や学習がはかどるという文がありまして、その材料として、朝食をとった場合ととらない場合の折れ線グラフがあったんです。これは、朝食をとった場合のほうが体温が上がって、それによって作業がはかどると書いていたんですけども、たぶんあれは単なる特異動的作用で、食事誘発性の熱産生は保健の先生がよく分かっていると思いますが、それと直接このグラフとは関係なさそうな気がするんですけども。そういうことも踏まえて、いろんな教科書会社がたくさん、それぞれが個性的な資料を載せているし、共通している資料はほぼないので比べるのは難しいんですけども、本文を減らしてまで付けている資料としてこれはやっぱり良いと思うというのはありましたか。減らしてまでこれを付けるという、これはなかなか意味のある大事な資料かなというのがあったら教えてください。全部それは意味があるので、難しいんですけども。

## 小川調査員

やはり二次元コードを読み取って動画を見る、確かに文章での説明ということも大事、そして資料を使って生徒の興味・関心をということ、先程も言ったような食生活に関しても、食事をとる、とらないで体温が上がって下がるの速いなど、視覚的に生徒にも訴えるというかそういうのもあると思うんですけども、なかなか文が減って、確かにいろいろ教科書によって、左半分だけ文で右側は資料であったりとか、外側だけに資料で内側に本文がちょっとだけというところがあるので、どの教科書も、どちらかというところだんだん文章が少なくなって、いろんな資料が1から4ぐらいまであるとか、考えてみようとか、そういうところが、生徒が考えて課題解決するための問い掛けというところはあるなと感じました。

## 高幣選定委員長

私からいいですか。保健分野で性的な部分というか、学習指導をするというのでは、難しさは当然生じると思うんですけども、そういう教科書のつくり的に、生徒が見てこちらのほうが自然と入りやすそうに感じるかなというような特徴的なところ、ありますか。生徒が何かこれが入りやすいかなという。

## 西川選定委員

全く触れてない教科書が1つあります。

## 高幣選定委員長

あるんですか。

## 西川選定委員

両方に、2ページに渡ってびっしり書いているんだけど、SOGIとかLGBTQ+を入れない、その言葉は入ってないという教科書もあります。いろんなことを踏まえて、わざと抜いていると思うんですが、その意図が分かりにくいんだけど、SOGIだけあるとか。SOGIも、S、O、G、I、Eを足した、最新型があったりとか、それぞれが違うやり方でやっているの、何か意図があるんでしょう、たぶん。

## 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。他にないようでしたら、調査員には退室をしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

## 高幣選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆様には教科書の調査研究をお願いしているところです。ただいまの調査員の報告や、各自でお調べになっていただいたことから各社の特徴についての御意見をいただきたいと思います。

## 西川選定委員

取りあえず補足として、体育は年間105時間、全学年105時間、合計315時間あります。この315時間のうち、保健は48時間です。3年間に48時間程度で、体育理論は合計3時間×3回なので、9時間なので合計57時間しかないんです。57時間、60時間弱をこの1冊ですることになってきますので、生徒がよく持っている本は、実技の副読本になります。教科書じゃないんです。こっちが教科書で、あまり使わないと、生徒は失くしてしまうんですけども。そういう実情も分かってください。ついでに言ったら、これ、1時間をこのとおりやっていったら、50分どころか80分ぐらいかかると思います。盛りだくさんで、しかもこれを全部やっていったら、本を1冊やろうと思ったら、57時間どころか80時間はあります。だから減らしていく、選択しないといけないので、先生が。そんな状態に、みんななっていますね。

## 高幣選定委員長

ボリューム的に強弱をつけながら、この教科書をクリアしていくというような感じになるんですかね。なるほど。他にどうでしょうか。保護者の立場でどうですか、保健分野というんですか。

## 南選定委員

保健は、うち、男2人なんですけども、性について保護者からもきちんとした教育が、女子同士であればいろんな形で共通する部分があるので話がしやすいですけども、だからといって、これを旦那さんに伝えたところで、何でやねんみたいな形になる家庭がやはり多いかなと思うんで、そういった点ではいろんな意味を含めて学校できちんとした性教育、別で講師の先生が来てもらって教育してもらったりとか、いろんな形でちょっと手助けしてもらえれば、親の性教育についてもまたそういう形でしてもらえたらありがたいかなと思います。

### 高幣選定委員長

そうになったら、学校で独自の工夫をされて進めているのかとも思うんですけども。

### 西川選定委員

本によっても、先程の異性への関心というところで、心の働きで、思春期になったら異性への関心等とか、異性などへの関心等とか、「など」が付いたり付かなかったりということで、結構いろんなこと含めて書いているんです。その上で、特集でいろんな性表現、性的嗜好、心の性、体の性と分けて書いていたり。でもそれだけ書いているのに、LGBTQ+が書いていなかったり。だからそれまたぶんいろんなこと含めてやっていると思うんですが、先生がくみ取ってやっていく以外ないので、難しいと思います、この辺は。

### 高幣選定委員長

教科書会社ごとの特色もあり、その中身を汲み取りながら学習指導をしていただくという教育現場での難しさというのも、今、御意見いただいたんですけども、そういうのも含めながらまた各学校ではお願いをしていきたいと、事務局も機会がありましたら、学校現場に御指導お願いしたいと思います。他にどうでしょうか。

### 島津選定委員

感想なんですけど、中学校の保健体育の教科書、自分が中学生のころから比べたら、その間全く見てなかったの、40年以上ぶりぐらいに見ました。それで、2社だけだったんですけど、心の性、体の性、性的指向、性表現という、最新のジェンダー理論が出ているんだと思って正直びっくりしました。

### 西川選定委員

SOGIE まで入っていますからね。1業者だけですけども。

### 島津選定委員

ここまで進んでいるんだと。もちろん触れてない教科書もあるんですけど、そういう感想です。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。これまで御審議いただいた内容というのを調査審議結果として取りまとめるという形でよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることを決議いたします。ありがとうございました

---

数学

### 高幣選定委員長

それでは数学の調査員の方に入ってくださいという形で、数学について教科書等を机上に御用意願い

ます。それでは、数学についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 寺尾調査員

数学科調査員の加太小学校の寺尾と言います。よろしくお願いします。

### 宮本調査員

貴志中学校の宮本です。よろしくお願いします。

### 雑賀調査員

東和中学校の雑賀です。よろしくお願いします。

### 寺尾調査員

数学は東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版、大日本図書の教科書について調査結果を御報告いたします。

それでは、最初に東京書籍から報告させていただきます。本教科書には、大きく3つの特色があります。1つ目は、ICTの活用を大変意識したつくりになっているということです。本教科書では、Dマークが存在しており、二次元コードを読み取ることにより、デジタルコンテンツとして動画を見たり、図形を実際に操作することができます。2つ目は、生徒が主体的な学習をできるような工夫がなされているということです。ICTを活用して自学自習ができる教材が用意されていたり、MATH CONNECTとして、日常生活に関わりのある数学が取り入れられていたりすることにより、数学の有用性を生徒が実感することにも役立てられています。また「学びをふり返ろう」や「クイックチェック」は、自らの学びを振り返る手助けとなっています。そして3つ目は、個に応じた確かな学力を身に付けさせる工夫が取り入れられていることです。先ほどの「クイックチェック」に加えて「学びのベース」として、算数の基本的な計算法則や、速さと割合、図形の公式などを確認し、その後のページで練習問題にも取り組むことができるつくりになっています。小学校の算数だけでなく、中学1年生を例にすると、中学内容も同様に確認・練習できるようつくりになっています。さらに章間には基本問題を載せており、章末には、基本のA問題だけでなく「自ら進んで取り組む問題」のB問題があり、さまざまな段階に応じたレベルの練習問題が取り入れられており、発達段階に応じた学習にも対応しています。教科書全体を通して、算数から数学や、他教科や日常生活とのつながりなどといった、さまざまなつながりが意識された教科書になっています。

続きまして学校図書です。学校図書においても、3つの特色があります。1つ目に「みつける」2つ目に「つながる」3つ目に「いかす・ひろがる」となっています。「みつける」では、各章・各節の初めに、課題を発見するページを設定し、身の回りの生活のなかや、学習のなかから発見することができるようになっています。発見した課題を「Q」として問題に置き換え、問題解決に向けた生徒どうしの話し合いができます。その対話を通して目標を見出し、意欲的に問題解決ができます。また、問題に取り組むときに、さまざまな見方・考え方をします。教科書では、その例として、Qの側注で示されており、見つけやすくなっています。学年の最後にまとめるページを設定することで、身に付けてきた見方・考

え方を振り返ることができるようになっていきます。「つながる」では、問題解決を行うなかで、新たな問題を発見し、学習が次々につながっていき深い学びにつながるようになっていきます。また、さまざまな場面で他者の考えや意見を多様な考えとして示し、対話の場面を適宜提示しています。数学的活動のページでは、生徒同士の話し合いを通して、他者の考えに触れ、協働的な学習が行えるようになっていきます。そして、その話し合いを通して、根拠を示しながら分かりやすく説明できるような確かな学力につながっていきます。「いかす・ひろがる」では、学習したことを活用できるようになっています。「章のまとめの問題」「深めよう」では、全国学力・学習状況調査の「活用する力」に対応した課題、上位学年の内容に触れる課題も扱っています。巻末の「さらなる数学」では、学習した内容を生かし、SDGsに関連した課題について考えることができるようになっていきます。

続きまして、教育出版です。まず初めに、キャラクターの会話の流れが「？」疑問から「！」解決へとつながっており、学習過程で生じる疑問から、学びを通して解決へと導いているので、生徒が主体的に取り組むやすい構成となっています。さらに「！？」へと発展しているところでは、新たな疑問、新たな学びへとつながっていきます。また「学びのプロセス」では問題発見から解決の過程を意識して取り組むことができ、この教科書は「疑問を持つこと」そして「主体的・対話的な学びを通して解決していく」ことを大切にしているということになります。次に、例題と問の間に例題に類似した問題である「たしかめ」を設置していて、苦手な生徒に対しても確かな学力を育てる工夫がなされています。また、巻末の「学びのマップ」では学習内容のつながりが分かりやすくなっていて、既習内容を振り返りやすくなっています。次に、「数学の広場」では、他教科とのつながりや実生活との関連性を持った題材が扱われています。また、「数学しごと人」では、インタビューを通して、数学が社会で役立っていることが実感でき、キャリア教育としても利用ができます。数学の良さや社会へのつながりについて実感できる教科書となっています。

続きまして、啓林館です。章のとびらや節のとびらには、日常生活でよくある事象等を取り上げ、問い掛けることで興味・関心をもたせるようにしています。各項のタイトルの下に、子供たちの理解しやすい言葉で、学習目標が掲載されており見通しを立てることができます。「例」や「例題」の直後には、それにならって解くことができる「問」が配置されており、知識・技能がしっかり身に付くようになっています。また、「問」の側に「補充問題」の二次元コードが掲載されており、生徒の習熟度に応じた学習ができます。各単元の「〇〇の利用」の節は、数学的な問題発見・解決の過程を取り入れた「ステップ方式」になっています。これは「問題を設定する、解決する、解決の過程を振り返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」といった数学的問題解決ができるようになっていきます。そして「話しあおう」や「説明しよう」といった多様な活動ができ、言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成ができるように配慮されています。章末問題の「学びをたしかめよう」では、学習内容、ページ番号を示し、振り返りの際にどこを見ればいいかが分かりやすくなっています。巻末の数学広場の「力をつけよう」では、「入試問題にチャレンジ」が掲載されており、1年生から学習した内容が将来必要であることを意識させています。二次元コードが必要な個所に配置されており、補充問題だけでなく、動画や解説等を各自で確認でき、自主的な学習を促すようになっています。なお、啓林館の教科書では章末問題や巻末問題の解答・解説がすべて二次元コードから確認できるようになっており、教科書の巻末にそれらの記載はありません。

続きまして、数研出版です。各章の学習に入る前に、その章に関する既習内容を確認できるよう「ふ

りかえり」のページが用意されています。項目冒頭に「Q」や「TRY」が配置されており、これは数学的な活動を通して新しい内容が学べるようになっていきます。教科書全体を通して、生徒、先生のキャラクターの対話が多く掲載されており、その対話を読み進めていくことで、数学的な見方・考え方を学んでいくことができるようになっていきます。また、学習内容や活動の過程を理解しやすくなっています。授業の欠席や家庭での振り返りの際に容易に学習内容を理解することができるようになっていきます。

「問」の側に「Link 補充」があり、下に二次元コードが掲載されており、生徒の習熟度に応じた学習ができるようになっていきます。章末に「学んだことを活用しよう」として活用問題が用意されており、学習内容について視点を変えて考えたり、身の回りの問題の解決に取り組むことで思考力・判断力・表現力を培えるようになっていきます。巻末の「数学旅行」において、社会で活躍している人物のインタビューが掲載されており、数学の必要性を理解することができます。また、同じく巻末に、中学3年間の内容を領域別にまとめたページがあり、これは2年生ですけれども、1・2年の内容を合わせて確認できるようになっています。最後のページは「学びの自己評価」ということで、自立的な学びと協働的な学びそれぞれについて意識が高まるようになっていきます。

続きまして、日本文教出版です。日本文教出版においては、まず新しい章に入る前に、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」が設けられているので、新しい章の学習がスムーズにできるようになっています。小節が原則として1時間の授業に対応するようになっていきます。また、小節ごとにめあてが示されていたり、〈例〉に見出しがあるので、学習内容が分かりやすく、復習しやすくなっています。また教える側としても指導しやすくなっています。生徒のキャラクターの吹き出しやノートふうの枠を使って、数学的な表現の例を示していたり、「誤答に注意!」とかかれたプレートを持ったキャラクターの吹き出しを使って、間違いやすい箇所について注意喚起したりするなど、数学が苦手な生徒の手助けになるよう配慮されています。言語活動の充実のために、小節ごとに「話し合おう」や「説明できるかな?」が適宜設けられています。ここでは「理由」や「方法・手順」などを説明する力を養うことができるようになっていきます。さらに、数学的な表現を用いて説明する力を養うことができるようになってほしいというねらいもあります。また、学びを高める発展教材として、小節の横欄に「チャレンジ」という問題を設けてあったり、学習指導要領の範囲を超える発展的な内容にも取り組めたりできるようになっています。個別の学習に対応したものであると思います。

最後は、大日本図書です。大日本図書にも3つの特徴があります。1つ目は、「数学的活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てる」ということです。まず章の導入に活動を設定し、活動に取り組んで見出した問題が次の学習につながるようになっていきます。「学習のめあて」を設定し、主体的・対話的に解決していきます。利用では、問題発見・問題解決の流れを示し、解決の仕方が身に付くようになっていきます。「伝えよう」では、さまざまな問いを設けて、思考力・判断力・表現力を高めることができます。2つ目は、「基礎的・基本的な知識や技能が身に付く」ということです。活動・例・例題を適切に配置し、数学的活動を通して見出すこと、例・例題で学ぶことが明確になっています。また、学んだ事項は、「たしかめ」と「Q」で身に付けることができるようになっていきます。巻末の「補充問題」や「たしかめよう」で、さらに復習もできます。「章末のふり返ろう」では、評価の観点を示し、自己評価ができるようになっていきます。3つ目は、「数学のよさ、考える楽しさが実感でき、数学の世界を豊かにする」ということです。学習の区切りで学んだことを振り返ることを促す質問を設けており、学んだことの良さに気付くことができるようになっていきます。「学びにプラス」では、学習を広げたり、活用したりする内容に

なっており、数学のよさを実感することができます。「活用・探究」、「社会にリンク」、「MATHFUL」、「数学ブックリスト」では、数学の世界をさらに広げる問題や読み物などを設けています。以上、報告を終わります。

#### 高幣選定委員長

どうもありがとうございました。委員から質問はございませんか。私からいいですか。小学校の算数から中学校への数学へと移り変わっていくという流れになっていて、中1の段階というので、数学が難しいというイメージを持ってしまう生徒がなかにはいるのかなと思うんですけども、小学校から中学校への橋渡しというんですか、そういうのが各社、どのような流れというか、中身の工夫というんですかね、特徴的なものがありましたら、お教えいただきたいなと思います。

#### 寺尾調査員

教科書全般を通して、その点ほどの出版社も意識はしてくれていると思います。先程も幾つかの出版社で言わせていただいたみたいに、まず章が始まる前に振り返りとして、こんなことやったよねというような形で、ページとして、章の前にある場合もありますし、後ろのほうでまとめて書いてあるという出版社もあります。これは特に1年生の教科書には、それが顕著に出ていたかなと思います。

#### 高幣選定委員長

続いてよろしいですか。教科書会社によれば、確か九九の表を利用しながらであるとか、素数であるとか、素因数分解、ちょっと小学校の段階や中学校の段階だと、このあたりも難しさがあるのかなとは思うんですけど、そのあたりは各社どのような特徴になっておりますかね。もしその調査をしていれば、教えてもらいたいなと思うんですけども。ちょうど1年生の入る前という学習である教科書と、学習を進めるなかでというので、大きく2パターンあったと私は感じ取っているんですけども。指導する立場から言いますと、正の数・負の数に入る前に、そういう素数や素因数分解というのに触れるというパターンと、正の数・負の数を進めながら新たな数の、数の広がりという段階で素数とか素因数分解というのを目に触れる、どちらのほうが。それぞれの考えがあると思うんですけども、指導の流れとしたらいいかなというお考えですかね、ありますかね。

#### 寺尾調査員

それについて、われわれが今まで教えてきたなかで感じ取ったことでもよろしいですか。

#### 高幣選定委員長

はい、結構です。

#### 寺尾調査員

今回の学習指導要領改訂で、幾つかのことが、中学校から小学校のほうに変わったかと思います。それらのことに関しては、私ももともと中学校で数学を教えていたので、これはもうここじゃなくて、もっと前のほうがいいよねと思うことはやはり幾つもありました。それらが、今回の改訂で、スライドし

て小学校へいっているのです、私個人とすれば、指導する際には1度やってある、でももし忘れていたのであれば、もう1度やり直しができるということで、非常にありがたいと感じています。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他の委員の方々はどうでしょうか。

### 川端選定委員

以前に、東京書籍の教科書を使ったときがありましたが、そのときに、「ものすごくやりにくいね」というような意見を持った先生が結構いました。そのことについて、何かそのお話を聞いて、同じ教科書ばかり使っているというのも、良いか悪いかはまた別にして、引き出しがすごく少なくなるんです。教科書を見せてもらっても、今、先生から正の数・負の数に入るときの導入の仕方であったりとか、教科書会社によっていろんな特徴がありますが、いろいろな引き出しがあると思うんです。その引き出しって、同じ引き出しばかりだったら、同じような形になりますが、違う引き出しをたくさん持っていたら、授業での導入で、この引き出しだったら駄目だけれども、こっちの引き出しからだったらどうなんだろうと、いろんな形での授業展開ができるのではないのでしょうか。先生がたくさんの引き出しを持っているというのは、すごく良いことなのかなと思います。教えるときには1個の引き出しなんだけれども、じゃ、この単元だったらこれいいなとか、この単元だったらこの教科書のほうがいいななどというような議論にはならなかったでしょうか。

### 寺尾調査員

今回それぞれで、何社かを分担して作っていますので、それでいて比べるということは、この説明で合うのか合わないのかということもあったので、そのような比較するということはしていません。ただ、個人的な話をして失礼なんですけれども、いろいろと今ふうの題材に、それぞれの出版社も変わってきたかなと感じたりもしました。1年生の比例・反比例、特に反比例ということになってくると、どうしても限られた題材を用いているのが多かったように感じます。ランドルト環とか、つり合いとか、そんな感じのものが多かったんですけども、今ふうというのは、今回、電子レンジの温めとかというようなのが、各社幾つかあったりしていて、これいいよねと。私達も個人的に普段、家の電子レンジ使うときに、ワット数と時間というのを考えるんですけども、それが教科書に載ることで、反比例として使えるんだと、すごく子供たちも身近に感じるようなものになっているのかなと感じましたし、あと、他の出版社では、作図の際、今までどうしても宝探しという名目で作図というのを進めていく際、コンパスを使うとか、定規を使うということでやっていたんですけども、ある出版社になると、何かロールプレイング的な要素を含めたような題材で作図をしていく。その際に、たこ型という形を利用していくようになっています。実際、作図ではたこ型というのは非常に大事になるんですけども、何か子供たちがすごく興味を持ちながらということで、進められる内容というのが、各出版社全て、ところどころ、全部にあったかと思います。それが、1冊に全部まとまっていると、それは一番ありがたいのかなと思うんですけども、それぞれで、こここのところはこれいいねというのは、やっぱり実際にあったかなと思います。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。

#### 川端選定委員

日本文教出版のところで、こういう間違いがありますよというのが1つだけ説明で出してくれたと思うんですが。

#### 寺尾調査員

「誤答に注意！」ということですね、はい。

#### 川端選定委員

そのことについて少し気になりました。あのような説明をしたときに、必ずと言っていいほど、そこ間違ったら駄目やでという間違いをしてくれる子供が多数いました。あれを特徴的に入れるのはどうなのかなど。良い特徴なのか、悪い特徴なのか。先生によっても意見は分かれるところかもしれませんが、そのところはどうでしょうか。特徴的なところで出されたので、どういうふうにお考えになったのでしょうか。

#### 寺尾調査員

どの教科書にも、注意的な文言はやはり差し込まれています。ただ、この教科書みたいにほんとうに注意しろよという厳格な言い方をしているかというのと、そうではなくて、気を付けようとかみたいな、優しい感じなので、どの教科書にもそういった感じで注意すべきところはあるんですけども、今回のこれだけ出させていただいているのは、もうまさしく注意しろというふうな書き方をしていたので、ここだけ他社とは違いますよというのを披露したかったということです。

#### 西川選定委員

二次方程式の解き方で、ほとんどの本は1ページを使って縦割りで、左側に数字を入れた式で、右側がa、b、cの係数使った式で下ろしていくんですけども、1つの会社だけが、係数が2と5と1だったんです。あとは全部3と5と1なんです。たぶんその会社の意図があると思うんですけども、今までの僕の記憶では $3x^2 + 5x + 1$ ってずっとやっていた気がするんですけども、1つだけが $2x^2$ って使ったので、それは何か意図あるのかなと思って。そんな話出ましたか。

#### 寺尾調査員

比較していないので、申し訳ございません。そういう議論は出ていません。

#### 西川選定委員

こっちはもう、全部見られたので分かっているけども、何かこれ、結構深い意図があるのかなとか。その会社、2に変えたのは何かあったのかなと思って。

#### 高幣選定委員長

他にどうでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査員の方には退出していただきます。どうもありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは、調査審議に移ります。皆様には教科書についての調査研究をお願いしているところがございます。ただいまの調査員の報告や、各自でお調べになったことから、各社の特徴についての御意見をいただきたいと思えます。私から、今、調査員の方から報告もあったと思うんですけど、各社、デジタルコンテンツ、二次元のというのが今回、どの教科書会社も多く取り入れているなと思っております。先程質問した素数とか素因数分解の導入の仕方というのも特徴的で、前半に持ってくるという会社が数社。あとは文中にも、流れのなかで持ってくるというのがあります。どちらが、それがいいのかというのは、それはその指導する立場だと思うんですけども、正の数・負の数に入る前に、そこを重点的にするという指導で、子供たちと小学校を振り返ろうねと持ってくればいいのか、また、数の拡大のなかで持ってくるのがいいのかというのが、それぞれの教科書会社の特徴的なところだと思えます。また今回の教科書が導入であって、そこから考えてみよう、また、解いてみようというのが見た目でも分かりやすくなっているのかなというのが、どの教科書会社も感じました。どうですか。他、何か御意見ございませんか。それでは、調査員の方からの報告を受けて、それを踏まえて調査審議の結果としてまとめるという形でよろしいでしょうか。それでは審議した内容を調査審議結果としてまとめることを決議いたします。

---

——美術——

### 高幣選定委員長

それでは美術の審議に移っていきたいと思えます。お手元に別冊の本日の資料というのが配布されていると思えますので、資料、答申及び答申資料案を御用意ください。皆さん、よろしいですか。それでは寺川委員より、答申案についての御説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

### 寺川選定委員

それでは失礼します。答申案なんですけど、教育委員の方々に説明する、その場合教育委員の手元には、皆さん1人ずつ教科書があるそうなので、その体でこれから読み上げたいと思えます。皆さんのお手元がない場合もありますけども、そこはあるという体でお聞きください。それでは読んでいきます。美術の教科書について、答申及び説明をいたします。教科書会社は3社ございます。

まず開隆堂から説明します。答申、各ページにおいて学習の目標が、「知、思、学」で示され、その3つの柱によって題材を構造化し整理している。また学習内容が、「知識・技能」、「発想・構想」、「鑑賞」の3つのラベルにより記載され、分かりやすくなっている。1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、単元数を絞りながら生徒がじっくりと取り組めるよう工夫された教科書である。続きまして、特色と工夫について具体的に説明します。美術1の2から5ページを御覧ください。

最初に中学校において学ぶ内容や流れが簡潔に示され、図画工作との共通点や違いなどが示されています。続いて6、7ページを御覧ください。絵や彫刻などデザインや工芸など、学びの資料の順に項目を分け、各ページにおいて学習の目標が3観点で示され、題材を構造化し整理しています。美術1の後ろのほう、58から61ページを御覧ください。この学びの資料では、発想・構想のヒントや鑑賞ってなんだろうなど、発想の活動や鑑賞の活動において何度も繰り返し見て学ぶことができるようになっています。前に戻っていただいて、10から13ページを御覧ください。開隆堂は1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、その分単元数を絞りながら生徒がじっくりと学びに取り組むことができる構成になっています。開隆堂については以上です。

続きまして、次に光村図書の説明です。答申、資質能力の3つの柱をすべての単元において「目標」として設定している。「みんなの工夫」では、生徒や作品の写真、吹き出しを使って分かりやすく示している。また、二次元コードで作者（生徒）インタビューを載せるなど、全国の生徒の思いがより伝わりやすくなっており、さらに鑑賞の分野では言葉集や書き込みツールなどが活用できるようになっている。二次元コードを効果的に活用できるよう工夫された教科書である。続きまして、特色と工夫について具体的に説明します。美術1の17ページを御覧ください。「みんなの工夫」では、生徒が試行錯誤しながら制作する様子を紹介しています。また、二次元コードでは作者インタビューを載せるなど、作者の思いがより伝わりやすく工夫されています。21ページを御覧ください。鑑賞の分野のページでは右下に二次元コードがありますが、鑑賞を広げる書き込みツールや言葉集などが活用できるように設定されています。美術2・3に移りまして27から42ページを御覧ください。ここでは風合いのある材質の紙に印刷されており、特に和歌山県串本町無量寺の虎図襖が掲載されています。素材や道具、色彩など、3年間活用できる知識・技能に関しては、美術1資料として別冊にまとめられています。光村図書については以上です。

最後に日本文教出版の説明です。答申、各ページに学びの目標が掲載され、「造形的な見方・技能」、「発想・構想・鑑賞」、「主体的な取り組み」の3つに関する目標が書かれており、何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確にしている。1年、美術との出会い、2・3上、学びの実感と深まり、2・3下、学びの探求と未来をテーマに3分冊とし、発達の段階に応じた学びの大切さを重視するよう工夫された教科書である。続きまして、特色と工夫について具体的に説明します。日本文教出版の教科書は、発達の特性を考慮して3分冊の構成となっています。美術1の6、7ページを御覧ください。ここでは造形的な視点を育みながら学んでいく3年間の学習を系統立てて、イメージマップ化しています。続いて美術2・3上を手にお取りください。2ページ目に「学びの実感と深まり」と題して、見る、感じ取る、考えることの大切さを伝えています。次に美術2・3下をお取りください。ここも2ページ目に「学びの探求と未来」と題して、新しい見方や考え方について触れ、作品との出会いの大切さを示しています。もう1度美術1に戻っていただきまして、10、11ページを御覧ください。ここでは絵や彫刻を題材の入り口として、何をどう学ぶのかを理解できるようガイダンスページを設けています。同じように36、37ページでは、デザインや工芸の題材について、それから戻っていただいて9ページでは、鑑賞の活動についてそれぞれガイダンスページを設け、学習意欲を高められるよう工夫されています。日本文教出版については以上です。以上、美術の教科用図書3社の答申と説明を終わります。

**高幣選定委員長**

どうもありがとうございました。

#### 寺川選定委員

あとはお手元の資料を御覧いただきまして、少し今の説明にないことも書いてございますので、それも含めて御審議いただければと思います。よろしくをお願いします。

#### 高幣選定委員長

少し時間を取ります。お手元の審議資料、答申の資料も含めまして、一読していただきまして、内容についての御意見をいただきたいと思います。

#### 寺川選定委員

委員長、私のほうから少し、全体の感想みたいなものをお話しさせていただきます。答申のところにもそれぞれ書かせていただいたんですけども、特徴なんです。開隆堂を見ると、やっぱり4ページ使っているところが多い、これが特徴なんです。その分単元数がちょっと少ないんですけども、まさに書いたとおりで、じっくり取り組めるようになっていくというのが特徴で、もう少しいうと、このバーコード印刷で、この手触りというか、教科書を持ちたいなという感じにもなるというところが特徴なんです。光村図書は調査報告にあったように、二次元コードがものすごく活用されているんですよね、この教科書は。それが本当に生徒の言葉とか作者の言葉なんかも出てくるし、全国の生徒の作品も出てくるしというところあたり、あと、いろんな思考ツールなんかも出てくるし、まさに二次元コードをより活用する方向に寄せている教科書だなという感じがします。日本文教出版については、3分冊にしているところと、開いてもらうとこれで1つの絵になっているんですよね。この辺はやっぱり日本文教出版の特徴であるというか、発想、構想などの部分にページを割いている、先程も申し上げたけれども、絵や彫刻という出会いのころのこういう部分に特徴を持たせているんですよね。発達段階でこういうふうを考えていったらいいよというところを、ちょっとわざわざ強めに出しているなという気がします。それぞれやっぱり特徴を出してきていて、どこが良い、悪いという話ここではしませんけれども、ある意味分かりやすくなっているなという気は、まとめていてしました。以上です。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございます。今、補足の説明等もいただきました。今御説明いただいたことで答申としての案を教育委員会に提出してよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは美術について審議していただいたものを、選定委員会の答申及び答申資料として決議をいたします。

—————技術・家庭（家庭分野）—————

#### 高幣選定委員長

続いて、技術家庭の家庭分野の審議に移りたいと思いますので、西岡委員より、答申案を基に説明をお願いいたします。

## 西岡選定委員

家庭も、先程の美術と同じように発表資料を作りました。ページを示す部分も幾つかあるんですが、本日はなかなか教科書を見ていただけないかも分かりませんが、説明させていただきます。それでは説明します。家庭は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。

まず、東京書籍から述べます。答申、自立と共生のための実践的な力を身に付けさせることに重点をおいており、見開きページに、始めの活動、学習課題、学習内容、学習のまとめが見やすく構成されている。図表、写真、デジタルコンテンツなどの資料も豊富で、小学校家庭科や他教科との関連を図りながら、主体的、対話的な学びが実現できる教科書である。本教科書はAB判サイズの297ページです。内容の配列に特色があり、学習指導要領の3つの内容のうち、第1学年の最初に学ばせるA(1)編に位置付け、そのあとにB、Cへと続く構成となっています。16ページのガイダンスでは、3年間の学習の見通しを持たせるために、自分の生活チェックをレーダーチャートで見える化し、学習の前後で自身の成長を実感できるよう工夫されています。4ページにはデジタルコンテンツの説明が載せられていますが、動画やシミュレーションで実感を伴う学びを促すことや、思考ツールを用いて主体的、対話的に学習させることもできます。他教科リンクでは、小学校家庭科や他教科の教科書ページを見ることができ、系統的、教科横断的に学びを深めることができます。調理実習例や布を用いた制作例が豊富なことも、特色の1つです。90ページを御覧ください。鮭のムニエルの調理法が、6枚の手順写真で示されています。横向きの配列は、特別支援教育への配慮でもあります。また、104ページにあるように、持続可能な生活についての章が各編に設けられ、その内容は充実しており、家庭分野の見方、考え方を深めることができます。

続いて教育図書です。答申、生活を見つめ自分事として考える活動をとおして、主体的・対話的な学習を促す工夫がある。身に付けた知識・技能を生活に生かすことが重視されており、課題解決学習や応用・発展させられる実習題材などについての内容が充実しており、実践的な力の育成につながる教科書である。本教科書は他社より少し縦長のA判変型で293ページです。72ページを御覧ください。各節のタイトルは短い文章で授業テーマを示しており、「見つめる」にある身近な生活と写真やイラストを用いて導入段階での意識付けができます。説明のイラストや写真も豊富で、全体的に分かりやすい表現となっています。調理や制作の実習で創意工夫ができることも特色です。190ページを御覧ください。布のボックスを決まった大きさではなく、各自が作りたい大きさに制作するための手順が分かりやすく示され、191ページには「私のアレンジ」として、リバーシブルバッグや不要なズボンをリメイクする例が示されています。消費生活、環境のページ数は3社のうちで一番多く、235ページから237ページを開いていただくと、近年広がっているキャッシュレス決済に関する内容が詳しく説明されています。また、246、247ページにあるように、章ごとの「学びを生かそう」では、その章の自分の課題を発見するためのワークや課題解決の手順、レポートの書き方が示され、課題解決学習についても重点が置かれています。

最後に開隆堂です。答申、「自立と共生は一体」、「科学的な内容」、「命と暮らし」、「持続可能な社会」の4つの視点を重視して編集されており、「多様性・個の尊重」や、「防災」に関する内容が多く取り上げられている。科学的な根拠に基づく知識・技能を身に付け、社会に向けて視野を広げることのできる発達段階に適応した教科書である。本教科書はAB判で313ページと、ページ数は一番多くなっています。11ページには、助けを求めることは共生であり自立でもあるということを示し、これに関する

内容が随所に掲載されています。31ページではヤングケアラーを取り上げ、33ページに子供相談窓口の表、75ページに相談窓口の電話番号など、家庭生活に関わる問題で助けを求める方法が示されています。多様性や個人の尊重については表紙のイラストでも表現されていますし、235ページの参考コラムには、住まいは人権と言われる理由が書かれています。調理実習例の数は他社より少ないですが、調理手順を写真付きで示す題材は一番多くなっています。143ページを御覧ください。ここでは白身魚のホイル蒸しの実習例が、フライパンで蒸す方法と電子レンジを使う方法で示され、生徒が家庭でも実践しやすい工夫が見られます。また、調理の方法のみでなく、なぜそうするのかという科学的な根拠を示しており、さまざまな場面で活用できる力の育成につなげることができます。以上、3社についての説明を終わります。御審議よろしくお願いたします。

#### **高幣選定委員長**

ありがとうございました。少し時間を取りたいと思います。

#### **高幣選定委員長**

どうでしょうか。説明いただいた中身、答申案についての加筆でありますとか、表記の変更等というのはございませんか。

#### **田野岡選定委員**

調査員の報告のなかで、ちょっと、この文章のなかで、特に力入れられたところあるじゃないですか、特徴的な。そういうのはやっぱり、配布してピックアップしたほうがいいですね。

#### **高幣選定委員長**

そうですね、その調査員の考えも踏まえて、また私たちの選定委員の考えというのが含まれて、またそういう説明をしていただく形にはなっていくのかなと思います。それでは、家庭分野につきましては、今、説明いただいた中身、また御意見いただいた中身を答申として、教育委員会に提出してよろしいでしょうか。それでは、技術家庭、家庭分野について審議していただいたものとして、選定委員会の答申及び答申資料としての決議をいたします。本日の美術、技術家庭の家庭分野についての答申及び答申資料について、決議いただきました。こちらについては、その審議内容により、必要に応じて加筆訂正をしていただく形にはなると思っております。7月10日開催の定例教育委員会に提出をさせていただきますので、御承認いただけますか。長時間にわたり審議・決議いただき、本当にありがとうございました。事務局から第5回の選定委員会についての連絡はありますか。

#### **高幣選定委員長**

これもちまして、第4回和歌山市立小学校・中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を終了します。お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

## 第5回 選定委員会の会議の議事録

各教科・種目の答申及び答申資料の審議・決議

## 1 日時

令和6年6月28日(金)

会議開始時刻 16:30 会議終了時刻 21:00

## 2 会場

教育文化センター 2階 会議室

## 3 出席者

### ○選定委員会

選定委員長	高幣 泰男			
選定委員(学識経験者)	柏野 貴之	川端 宏典	島津 俊之	庄禮 浩志
	十河 秀彰	高木 康子	田野岡 教彦	富田 晃彦
	西川 彰彦	三宅 秀夫	山本 茂子	
選定委員(学校代表)	溝口 恵司			
選定委員(保護者代表)	池田 貴章	南 理絵		

### ○教科用図書調査事務局

事務局長	奥山 由佳(教育局)
事務局次長	前北 博文(学校教育部長)
事務担当課長	岩本 信哉(学校支援課長)
	西谷 宣昭(学校教育課長)
	竹内 圭(教育研究所長)
事務局員	北林 直樹(教育研究所専門教育監補)
	岩崎 仁(教育研究所専門教育員)

## 4 議事

- 事務局説明
- 国語 審議
- 保健体育 審議
- 書写 審議
- 社会(地理的分野) 審議
- 社会(歴史的分野) 審議
- 社会(公民的分野) 審議
- 地図 審議
- 数学 審議
- 理科 審議
- 音楽(一般) 審議
- 音楽(器楽合奏) 審議

- 技術・家庭（技術分野） 審議
- 英語 審議
- 道徳 審議
- 事務連絡

### 高幣選定委員長

お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。よろしく願いいたします。本日は、現在14名の委員の方々に出席していただいております。過半数の出席がございますので、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により、第5回和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を開催いたします。委員の皆様のお手元には、各教科・種目担当の10名の委員の方々が、これまで調査審議内容をまとめてくださった答申及び答申資料の案があると思います。本日は、要項のとおり順で、選定委員会答申資料案についての確認・審議・採決を行います。審議に入る前に、再度確認いたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対して、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な審議結果を答申として取りまとめ報告することです。今回、調査研究するすべての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということ審議することを目的としていないということを、再度確認いたしたいと思っております。御理解・御協力をお願いいたします。それでは、各教科書の特徴をまとめていただいた選定委員会答申資料案を基に、最終の審議を行います。審議内容を受けて、必要に応じて、答申及び答申資料の案に加筆修正していただくこととしたいと思います。本日の審議の進め方について、事務局から連絡がありましたら、よろしく願いいたします。

### 北林専門教育監補

審議の進め方について、前回の事務連絡で、お伝えした内容をもう1度確認させていただきます。1点目です。各教科・種目の御説明いただく教科書会社の順は、教科書目録の順でお願いします。採択会議についても、同様をお願いします。参考として、本日の配付資料、答申及び答申資料案の表紙の裏にある一覧表に、順番を掲載しております。2点目です。まず、答申を読み上げていただき、その後、1社につき2分程度で御説明ください。説明いただいたあとに、皆さんで御審議をいただきます。なお、採択会議においても、御説明いただく時間は1社につき2分程度とし、説明のあとに質疑応答がある、そういう流れになっております。3点目です。本日は、事務局で準備している教科書が6セットございますが、採択会議の際は、出席者全員に教科書見本を準備しております。従って、教科書何ページを御覧くださいという説明の場合、本日はお手元に、教科書が全員見られないという状態ではありますが、採択会議では、教科書を御覧いただきながら説明をすることができます。説明は以上です。

### 高幣選定委員長

本日の審議の進め方等につきまして、何か御質問はございませんか。それでは、まず初めに、国語の

審議に移ります。高木委員から、答申案を基にして、説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

---

## 国語

### 高木選定委員

それではこれより、国語の答申をいたします。国語は4社ございます。選定委員会として、調査審議し、まとめた内容を申し上げます。今回の教科書の改訂で、特徴的なところとしましては、1人1台端末が整備されたことにより、二次元コードの扱いで、各社に特徴が表れていました。また国語科の特徴として、教科書の教材で何を学ばせるかが重要ですので、そういった観点も含んで答申いたします。それでは、1社ずつ申し上げます。

東京書籍、答申、「未来への扉」として、9つのテーマを巻頭で示し「言葉の力」で未来を生きるために、必要な力を育んでいくことを意識付けている。教材ごとのてびきでは、言葉の力の欄を設け、どのような手順で、どのような力を身に付けていくのかを、具体的に明確に示している。二次元コードでは、学びを深めるコンテンツが豊富で、生徒の学びたい意欲にこたえる教科書である。東京書籍は、巻頭の折り込みで「未来への扉」として9つのテーマを示し、未来を生きるために必要な学びを意識させています。本編最後の章にも、1年間の総まとめ教材として「未来への扉」を設け、学んだ言葉の力を生かして、自分や社会の課題に向き合い、思考、判断、表現する課題で結んでいます。巻頭の領域別教材一覧では「言葉の力」と関連づけて、それぞれの教材で、何を学ぶのかを具体的に示すとともに、後ろ見返しの「言葉の力」一覧では、3年間の学習が見渡せるようになっています。また各教材にあるてびき、1年生の教科書では、読むこと教材として22から24ページ、46から47ページ、書くこと教材では、33から34ページ、話すこと・聞くこと教材では、174から178ページを御覧ください。ここでは、学習活動の流れを示すとともに、言葉の力の欄を設けて、その教材で学ぶべきポイントを示しています。情報活用能力の育成については、「ニュースの見方を考えよう」や図書館の活用の教材を設定し、情報の収集や整理、編集、表現、発信の仕方を学べるようにしています。そして、二次元コードについての特色は、コンテンツの数が最も充実していることにあります。コードを読み取ると、まず目次が出てきて、その目次をタップすると、さらにその項目についての目次が出てくるといった形になっています。豊富なデジタルコンテンツがあることで、教科書のページ数を削減しています。東京書籍は以上です。

次に三省堂です。答申、「情報を関連づける」の章を設け、複数の教材で、図表、文章など、多様な情報を関連づけながら、日常生活や現代社会における課題について考える学習を設定している。また、思考の方法を図解で示したり、「読み方を学ぼう」で読みに関するスキルを解説したりして、国語力を高める手段を具体的に系統立てて配置し、生徒の主体的な学びに重点を置いた教科書である。三省堂の特色は「思考の方法」や「読み方を学ぼう」などで、国語力を高める手段を具体的に系統立てて配置しているところにあります。1年生の教科書では、16ページを御覧ください。思考の方法として、9種類の思考ツールを示し、次の折り込みの表と裏のページで、図解の一覧にしています。そして、教材ごとの学習活動を示す「学びの道しるべ」のページ、たとえば、1年生の教科書、34、35ページでは「学びの道しるべ」「思考の方法」「語彙を豊かに」「学びを広げる」の4点セットで、何を学ぶのかを捉えやすくしています。読み方を学ぼうでは、読み方の方略を視覚的に捉えられるように示し、巻末の「読み

方を学ぼう」一覧では、3年間の学習が見渡せます。グループディスカッションの単元については、各学年の第1章で設定し、1年間の対話的な学習をリードしています。二次元コードを読み取ると、話し合いの場面が設定されており、その後、動画で話し合いを効果的にするためのコツの解説があります。また「情報に関連づける」は、1つの章として設けています。1年生の教科書では、146ページから始まりますが、冒頭は漫画スタイルで解説し、生徒の興味を引くようにしています。図表、文章など多様な情報に関連づけながらの学習になります。二次元コードの特徴としては、横に何が収録されているかを、具体的に明記しているものが多く、またそこから、NHK for School など外部リンクにつながるものもあります。三省堂は以上です。

次に、教育出版です。答申、「総合 SDGs、持続可能な未来を創るために」という単元を設けており、未来の担い手としての関心を高めながら、考えを深め協働的に課題解決に取り組むことで、国語学習の深化を図ることをねらいとしている。「学びナビ」は、何を学ぶかを教材よりも前に配置し、目的意識を持って、学習に取り組んでいくことを企図した教科書である。教育出版の特色は「総合 SDGs、持続可能な未来を創るために」という単元を設けて、17の目標を紹介し、未来の担い手として考えを深め、対話的な学習をすることで、国語学習の深化を図っていることです。また、何を学ぶのかを示した「学びナビ」は、これから学ぶ教材よりも前に配置しているところが、他社にはない特徴です。学習活動の流れを示した「みちしるべ」や「学習の流れ」のなかでも、必要に応じて「学びナビ」と関連させています。たとえば、1年生の教科書、92ページにある「森には魔法つかいがある」という教材では、その前のページに「学びナビ」を配置し、教材の後ろの101ページの「みちしるべ」で、学習活動の流れと「学びナビ」との関連が示されています。そして巻末には、領域別にまとめた「学びナビ」一覧もあります。各章ごとに「広がる本の世界」が設けられ、計334冊の本を紹介しています。また、巻末の見返しの「ふるさとを巡る」でも、各都道府県を代表する作家と作品を紹介し、生徒の多様な興味・関心にこたえたり、読書活動を行うきっかけを作ったりしています。二次元コードは、コードを読み取ると「学びリンク」につながり、画面をタップすると、さまざまなメニューが出てきて豊富なコンテンツ一覧が現れます。二次元コードには、内容の表記はありませんが、読み取ったコンテンツに現れたメニューから、学びたい目的に合ったものを自分で選びタップすると、教材理解のための補足資料や画像、動画等が流れるようになっています。教育出版は以上です。

最後に、光村図書です。答申、「情報×SDGs」の章を設け、社会の問題を取り上げ、学んだ言葉の力を発展的に生かして、課題に取り組む思考、判断、表現の多様な場として位置付けている。教材ごとの「学びへの扉」、「学びのカギ」は、生徒がどのような手順で、どのような力を身に付けていくのが、視覚的に捉えやすく、主体的、対話的で深い学びに向かうことを企図した教科書で、ユニバーサルデザインの効果が特徴的である。光村図書の特色は、生徒が学習の見通しを持って主体的に取り組むことを、ユニバーサルデザインの観点から追及しているところにあります。具体的には、教材ごとの「学びへの扉」「学びのカギ」が挙げられます。たとえば、1年生の教科書では、話すこと・聞くこと教材の34ページ、35ページを御覧ください。これは、学習の流れとポイントを示しているもので、一目で見渡せ、提示の仕方が視覚的に捉えやすくなっています。また、書くこと教材の54、55ページ、読むこと教材の28、29ページを御覧いただきますと、全ての領域を共通の紙面構成にしていることが分かります。このことで、生徒の学習の見通しの持ち方が統一されます。そして、巻頭折り込みの「学習の見通しを持とう」やその裏面の「思考の地図」の図解一覧も、ページをめくらずとも必要な情報が一目で確

認できます。特徴的な単元としては「情報×SDGs」が挙げられます。現代社会の問題に着目し、情報収集の方法や、図表を含む情報の読み方を学ぶとともに、自分の言葉で表現する学習を設定しています。教科書の使いやすさの工夫としては、思考や表現を支える言葉を多数紹介している「語彙ブック」が、他のページよりも背を低くすることで、学習の折に触れて必要なときに便利に活用できます。二次元コードの特色としては、何が収録されているかが具体的に明記され、コードを読み取るとダイレクトに視聴したい内容が現れることです。また話すこと・聞くこと教材では、音声や動画を視聴して取り組む新しい学びの形が提供されています。さらに、巻末には ICT 活用のヒントとして、学習過程に沿ってどこで、どのように、活用できるかを提案しているところが他社にはない特徴です。以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。国語答申案につきまして、御意見どうでしょうか。

## 高幣選定委員長

各教科書会社の内容をコンパクトに答申としてまとめていただいておりますが、専門的なお立場から、特色についても発言をいただきました。どうでしょうか、今の中身で、答申の案として、皆さんよろしいでしょうか。それでは、ただいま、いただきました意見等、答申として教育委員会に提出したいと考えます。それでは、国語について審議いただいたものとして、選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。それでは次に保健体育の審議に移ります。西川委員から、答申案を基にして、説明をお願いいたします。

---

## 保健体育

### 西川選定委員

よろしくお願ひします。保健体育では、4社の教科書の諮問を受けています。調査員の報告それから、選定委員会からの意見をいただいて作成した答申書を報告します。

最初に東京書籍の「新編新しい保健体育」について答申します。新しい時代の新しい学びを実現するという方針のもと、主体的、対話的で、深い学びを実現できるよう工夫された教科書です。誰1人取り残さないようにするための質の高い学びのデザインや、授業が進めやすい、分かりやすい紙面構成、命や健康を守るために確かなスキルを育成し、学習を深め、生活につながる厳選された資料、豊富なデジタルコンテンツを生かしながら編集されています。続いて、主な特徴を説明したいと思います。他とは違い学年別に保健編から体育編、また2年生の保健編では傷害の防止から健康な生活と疾病の予防という逆の流れで配置しています。動画シミュレーション、思考ツール、図鑑、章末問題など、多彩なデジタルコンテンツが約150点用意され、さまざまな学習プロセスで活用することができ、主体的、個別最適な学びをめざすことができます。8、9ページを御覧ください。ここに「Dマークコンテンツを使ってみよう」という解説が2ページにわたり掲載され、学習における使い方が詳しく示されています。14、15ページを御覧ください。1時間の授業は見開き一面で構成されています。各ページ左側に本文、右側が資料というのが基本的なスタイルですが、内容により上下に資料を掲載したり、右側下部に

資料を配置したりと、さまざまな形のレイアウトがあり、工夫を凝らしています。また学習課題を大きく提示、本文を課題の解決と位置付け、授業の流れを課題解決学習としています。次に76から79ページを御覧ください。自然災害は、今後ますます重要になる内容ですが、本書では自然災害による危険、自然災害による傷害の防止をそれぞれ1時間で扱っています。さらに、86から88ページの章末資料を御覧ください。ここには、災害の画像と防災タイムラインを掲載、合計7ページで自然災害を扱っています。そして、命や健康を守る確かなスキルを育成するため、巻末に20の技能スキルを掲載し、合理的科学的に正しい方法を紹介し、解説動画も充実しています。最後に、この教科書は、本市のめざす子供像に適した内容となっています。

次に大修館書店の『最新中学校保健体育』について、答申します。自ら未来を切り開く力を育てるという基本方針のもと、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質をバランスよく育成することができるよう、また共生社会や多様性を重視する等、社会の急速な変化に対応し、さらに国際社会の平和や発展、環境の保全等の今日的な課題を含めて、深く学べる工夫がなされている教科書となっています。では、主な特徴を説明したいと思います。まず、男女の役割を固定せず、国籍や障害の有無など、差別や偏見につながらないように配慮されています。続いて、6、7ページを御覧ください。1時間の授業は、内容、分量ともに適切で、見開き一面で構成されています。さらに、文章が内側、中心にまとまりよく配置され、資料が周りに配置されています。「きょうの学習」が、見開きの2ページの上部に掲載され、学習の途中でも、めあてを再確認できるようなスタイルになっています。また学習のキーワードも分かりやすくまとめられています。次に42、43ページを御覧ください。本文では、ほとんど触れていませんが、特集資料として、性についての多様性を、体の性、心の性、好きになる性、表現する性等、見開きの2ページにわたって詳しく解説しています。次に116ページを御覧ください。実習単元では、二次元コードで、動画を視聴できるようになっています。次に110、111ページを御覧ください。「自然災害によるけがの防止」は、1時間扱いですが、続いて120から123ページを御覧ください。ここに、特集資料として、「気象災害から命を守る行動」、「地震災害から命を守る行動」を、4ページにわたり掲載、特に避難情報に関しては、詳しく説明しています。最後に、この教科書は本市のめざす子供像に適した内容となっています。

続いて、Gakkenの『新中学保健体育』について、答申します。生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てるという基本方針の下、保健体育への興味・関心を高め、意欲を高める工夫をするとともに、自ら課題を発見し、その解決に向けて、思考判断し、表現できるような、主体的な学びのスタイルを大切にしている教科書となっています。また、他者との協働的な学びを充実させるとともに、学びに向かう力を養うことができる工夫がなされています。そして、保健体育の学びがウェルビーイングにつながるようという願いも含めた教科書です。主な特徴について説明します。学習の流れと1時間の進め方を分かりやすく提示しています。さまざまな学習方法も説明されていますが、特に主体的な学習に深く関わる課題解決学習の進め方については、グループで取り組む場合を想定して、1ページを使い、さらにその整理の仕方に1ページを費やして、分かりやすく示しています。本文の16から19ページを御覧ください。配色がすっきりしていて、視認性も高く、ページ内の図やイラスト、写真もバランスよく、かつ本文に対しあまり目立たないように掲載され、落ち着いて学習に取り組めると考えられます。多くが、ページ左に文章を配置、右に資料を掲載するという分かりやすい配置になっています。また本書では、多様性や個人差について配慮した扱い方が見受けられます。48ページを御覧ください。発育、発達には、

個人差があることを重視し、初潮や月経などは、あまり個人差を感じにくいグラフで示されています。同じように、飲酒の単元においても、酔い方にお酒の量のイラストなどは、掲載されていません。続いて、116から121ページを御覧ください。本書では、自然災害や災害から身を守るために、という内容で、6ページにわたり、本文や資料、画像からまとめながら、詳しく扱っています。最後に、この教科書は、本市のめざす子供像に適した内容となっています。

最後に、大日本図書の『中学校保健体育』について答申します。主体的・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、学びを生活に生かすことで、現在から未来へと生きる力が身に付くように、工夫されています。また生徒の興味・関心を引き出し、学ぶ楽しさ、分かる喜びを実現できるような工夫のある教科書となっています。教科書の裏表紙にはカラーユニバーサルデザインについての記載が、この教科書だけされていませんが、監修に専門家が入っているので、適切な形で出来ていると思います。次に、主な特徴について説明したいと思います。4、5ページを御覧ください。見開き一面で、1時間扱いに構成されており、左ページに本文とトピックス、右ページに資料や画像をまとめていて、本文が読みやすくなっています。トピックスでは、学習内容と関連が深い話題や、興味深い読み物が示され、発展学習につながるよう工夫されています。31、33、35ページを御覧ください。複数の資料を見比べて読めるよう、レイアウトが工夫されています。53ページを御覧ください。各章末に、学習のまとめがあり、重要な言葉が非常に詳しく解説されています。次に、98、99ページを御覧ください。自然災害による傷害の防止は1時間扱いです。しかし、ページをめくっていただいで、100ページを見ると、挿絵資料として、非常にインパクトのある画像を掲載して説明しています。続いて、107から109ページを御覧ください。心肺蘇生法の実習では折り込みが採用され、全体を確認しながら、さらに横1列で流れが分かるように、工夫されたレイアウトとなっています。また中学生が活躍し、親しみが持てる場面の写真が多数掲載されています。最後に、この教科書は本市のめざす子供像に適した内容となっています。以上で答申を終わります。ありがとうございました。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。保健体育答申案についての御意見はございませんか。

## 西川選定委員

ちょっと私のほうから、質問していいですか。

## 西川選定委員

大日本図書だけが、先程言ったように、カラーユニバーサルデザインでやっているという文言が、この裏表紙にないんです。他は全部あるんです。だから、ぱっと見たら、要するに色弱、赤緑色弱、色盲、この辺の配慮がなされていないように見えるんですが、でも、この裏の監修のところに、カラーユニバーサルデザインの担当者の名前が入っていたので、どう扱うべきか、ちょっと悩んだんですが。一応監修にはその人が入っているのという表現をしたんですけども。大日本図書の保健体育の教科書です。その裏表紙を2枚めくってもらったら、真ん中に監修というのがあって、そこにカラーユニバーサルデザインということで、岡山大学教授の宮崎先生が載っているの、恐らく配慮があると思うんですが、他の教科書は全部この裏面にきっちり載せているんです、この面に。ここ載っていて。大日本図書だけ

がそれを載せないで、ユニバーサルデザインフォントは使っていると書いているんです。だから、どう把握すべきか、ちょっと悩んだんですけども、皆さんの意見お聞かせ願いたくて。

#### 高木選定委員

西川委員が言っていた説明でよく分かると思うんです。

#### 西川選定委員

いけますか。

#### 高木選定委員

はい。監修カラーユニバーサルデザインの方があるということと言われたら、それでたぶんそういうことだろうなと。そのために載せていると思いますので。

#### 西川選定委員

思うんですよね。ただ間に合わなくて、ここに載せられなかったのか、それとも全部把握できてないのか、一応監修には入っているという表現でいきましょうか。

#### 高木選定委員

はい、それで分かります。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございます。今の説明及び御意見から、必要に応じて、その答申案に加筆をするという形も含めまして、答申として教育委員会に提出という形でよろしいですか。説明につきまして、また丁寧をお願いしたいと思います。それでは、保健体育について審議していただいたものとして、選定委員会答申及び答申資料として、議決いたします。

#### 西川選定委員

ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは、続きまして、書写の審議に移りたいと思います。御用意のほうお願いします。三宅委員から答申案を基にして、説明をお願いいたします。

---

書写

#### 三宅選定委員

では、書写は答申が4社ございます。よろしく申し上げます。

まず『新編新しい書写一・二・三年』東京書籍です。答申、学習のポイントを示した「書写のかぎ」

を核とした課題解決型学習を通して、書く力を身に付けさせ、その力を学習や生活に役立てられるよう構成されている。手書き文字再発見をはじめ、行書活動では、書く動きを意識させ、特徴的な動きを学ぶことで、誰でも行書が書けるように工夫されている。また職場訪問や防災訓練に参加しようなど、学びを生活に広げるための思考力を育み、活用力につながるように企図した教科書である。続いて、特色と工夫です。28ページを御覧ください。学習の進め方は、目標を見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げようという流れで構成され「書写のかぎ」を核とした課題解決型学習となっています。振り返ろうでは「書写のかぎ」や、書写の用語を使って、学習したことを説明する対話的な振り返りを設定しており、知識と技能の両面から、より深く振り返ることができます。続いて、26ページを御覧ください。行書を書くときの動きをパターン化し、4つに絞った頻度の高い動きを示しています。この動きを組み合わせることで、行書が書けるよう工夫されており、各単元の教材のこの淡墨図には、この4つの動きを生かす部分を示しています。活用単元「生活に広げよう」では、1年、手紙を書こう、年賀状を書こう、職場訪問をしよう、2年、本のポップを書こう、防災訓練に参加しよう、3年、思いを文字で表そうなど、各場面で書写の学習をどのように生かしていくかを考える活動を設定し、思考力を育み、活用力につながるような工夫が見られます。72ページを御覧ください。3年生の身の回りの文字の目的と工夫、手書き文字の特徴、現在につながる文字の役割等では、キャリア教育の観点から、生徒が社会や自分の将来とのつながりを感じて、主体的に学習に取り組めるようになっています。巻末の書写活用ブックでは、さまざまな書式の他に、人名用漢字表や、行書の部分の形など、学校生活だけではなく、日常生活や社会に出てからも活用できるような工夫があります。

続きまして『現代の書写一・二・三』、三省堂です。答申、単元冒頭の「書き方を学ぼう」で、書き方のポイントを明確化し、学習内容が分かりやすく工夫されているため、生徒は見通しを持って、主体的に学習を進めることができます。また、「書いて身につけよう」では、学習したことを多様な書く場面で活用できるように構成され、自分の文字をよりよくして、社会生活のなかで生かせるように企図した教科書である。特色と工夫です。36ページを御覧ください。学習の進め方は、目標を確かめる、書き方を学ぼう、毛筆で書く、学習を振り返る、書いて身につけよう、自分の言葉でまとめるという流れで、構成されています。教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを取り上げ、学習すべき内容が、一目で分かるようになっています。自己評価では、筆順の変化を理解して書くことができましたか？などの形で呼びかけられています。単元終わりの「書いて身につけよう」では、毛筆で学習したことを、普段の文字に生かせるよう硬筆による書き込みページが多く設けられています。各学年末の「やってみよう」では、1年、グループ新聞を作ろう、2年、情報誌を作ろう、3年、名言集を作ろう、が設定されており、学習してきたことを生かして書くことができるようになっています。30ページと68ページに、1年生で文字の変遷、3年生では身のまわりの文字というのがあります。文字の歴史や文化を取り上げることで、手書き文字の魅力を伝え広めながら、社会で活躍する人物が紹介されています。62ページを御覧ください。2年生楷書と行書の使い分けは、目的や必要に応じて、どの書体が適切かを考え、使い分けて書くことができるよう考慮された教材になっています。資料編「日常の書式」では、便箋と封筒、ハガキの書き方、時候の挨拶、送り状、熨斗袋、願書、原稿用紙の書き方が学べ、学習活動や社会生活などで活用できる構成になっています。

続いて『中学書写』教育出版です。答申、学習の進め方が明確で理解しやすく示されている。日常の書写活動に生かすために必要な基礎的、基本的な能力の育成や、書写用語を用いて文字を書く、原理原

則について伝え合う、対話的な学び方ができるように工夫されている。また、他教科と連動して、学習活動や日常生活で生きて働く書写力を身に付けるように企図した教科書である。特色と工夫です。46ページを御覧ください。学習の進め方は、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうという流れで構成されており、日常の書写活動に生かすために必要な基礎的、基本的な能力を習得できるようになっています。目標のあとには、試し書きのワークが、「考えよう」では、穂先の動きが分かりやすいよう淡墨図による解説図案があり、試し書きと比べて、自ら課題を発見し解決していく学び方となっています。振り返ろうでは、丸、三角による自己評価が設定されており、巻頭の学習の進め方で、話し合い活動のポイントや学習用法が例示されており、対話的な学びをすることで、自らの成長に気付いていける配慮がなされています。国語科の『いろは歌』『竹取物語』『論語』『走れメロス』『枕草子』『平家物語』『おくのほそ道』など、国語科の文学教材と、連携された作品を味わうこと、よりよく書く方法が学べる工夫がなされています。61ページを御覧ください。書くことの変遷や、手書き文字と活字の特徴を考えることで、伝統と文化を尊重し、文字環境を豊かにすることができるようになっています。巻末の「書式の教室」では、書写学習で習得した力を、さまざまな学習活動や日常生活に生かし、手紙、封筒、年賀状、ハガキ、包み紙、エメール、原稿用紙、伝票、願書、志願理由書など、効果的に文字を書こうとする力につながるようになっています。

続きまして『中学書写一・二・三年』光村図書です。54ページを御覧ください。答申、学習の進め方が丁寧に示され「学びのカギ」で、ポイントが一目で分かるように工夫されているため、生徒が見通しを持って取り組める。また、別冊書写ブック、硬筆練習帳を活用し、繰り返し学ぶことで、書く力の定着を図ることができる。手書きの価値や文字文化の豊かさに触れる教材が用意され、文字への興味・関心を高めるとともに、書く楽しさや、達成感が感じられるよう企図した教科書である。特色と工夫です。学習の進め方は、考えよう、確かめよう、生かそうという流れで構成され、振り返ろうでは、目標が達成できたか、自己評価するとともに、書写ブックの活用で演習へと促しています。学習の進め方を大きい文字で分かりやすく示し、生徒が見通しを持って、行書スイッチを手掛かりに、主体的に学べるようになっています。別冊書写ブックを設け、毛筆で学んだことを繰り返し、硬筆で練習することにより、書写の基礎、基本を身に付け、書く力の定着を図れるよう工夫されています。88ページと96ページを御覧ください。まず、88ページ、手書きのよさって何だろうと皆で話し合うとともに、96ページのコラム、「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」での、ユニバーサルデザインの学習を取り入れることで、手書きで伝わるよさや特徴を深めたり、見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体に気付いたりすることができるようになっています。『枕草子』『季節の葉』『竹取物語』『走れメロス』『平家物語』など、硬筆教材は、国語科の教科書教材との関連が深くなっています。110ページを御覧ください。日常に役立つ書式では、手紙の縦書き、横書き、ハガキ、送り状、入学願書、原稿用紙などの書き方や、レポートの書き方など、日常に役立つ書式が取り上げられています。最後に、4社どの教科書も、二次元コードによるデジタルコンテンツが豊富で、毛筆の用具の置き方をはじめ、運筆動画を繰り返し見ることで、主体的な書写活動が促されています。以上です。よろしくお願いいたします。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。書写の答申案について御意見ないでしょうか。

### 三宅選定委員

自分のことですが、まだ読み原稿がきちんとできておりませんでしたので、そこは準備して、きちんとまた時間内に収まるようにさせていただきます。

### 高幣選定委員長

ありがとうございます。専門的な立場から、答申案を取りまとめて説明をいただいたところでございます。いただいた説明から、今後必要に応じて、その答申案の加筆も含めまして、今、説明いただいたのを答申として、教育委員会への提出という形でよろしいでしょうか。それでは書写について、審議していただいたものとして、選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。続きまして、社会、地理的分野の答申案についての審議に移りたいと思います。島津委員、説明をよろしくをお願いします。

---

### ——社会（地理的分野）——

#### 島津選定委員

よろしくをお願いします。社会、地理的分野に関しましては、教科書4社の検討を行い、調査委員のご意見と、選定委員会での議論を基に答申案をまとめさせていただきました。では順番に説明をいたします。

まず東京書籍です。『新編新しい社会地理』答申、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を位置や分布、人と自然の関わり、場所、結び付き、地域という地理学習の5つの視点から扱っている。環境、エネルギー、人権、平和、伝統、文化、防災、安全、情報、技術への目配りが効いており、デジタルコンテンツの内容が豊富で、発展的な学習に役立つ点が特色である。続きまして、内容について、多岐にわたりますが簡単にかいつまんで説明をいたします。東京書籍の特色の1つは、地理学習の5つの見方として、位置や分布、人と自然の関わり、場所、結び付き、そして地域の視点が紹介されています。これらの視点を世界と日本の学習に適用することで、学びが深まることが適切に示されているという点が、1つの特徴になっています。大単元、世界と日本の地域構成、世界のさまざまな地域、日本のさまざまな地域の3つの大単元ごとに、導入の活動が設けられ、写真や主題図の読み取りなどを通じて、学習にスムーズに入れるように工夫されています。また、世界の窓と題する美しい写真ページが、世界各州の冒頭に置かれ、学習意欲を高める役目を果たしています。そして、世界と日本の各地域の学習がバランスよく配分され、幅広い知識が身に付くよう、工夫されています。また、世界の各地で暮らす人々の肉声を届けるコラムが用意され、臨場感を持って、地域学習を進められるように工夫されています。なお、30ページなのですが、県庁所在地の学習では、城下町から発展した和歌山県和歌山市の写真が挿入されています。地域調査の方法の単元では、地形図の読み取り方が丁寧に説明されています。さらに「スキルアップ」というコラムが31カ所設けられ、時差の調べ方や、写真、雨温図、分布図、統計地図、地形図の読み取り方など、多様な地理的技能が身に付くように工夫されています。1時間単位の分量を見開きの2ページとして設定しており、最初に学習課題を設定し、チェックで本時の学びを振り返り、最後にトライで学びを思考判断につなげる構成となっています。東京書籍の特色の説明は以上になります。

続きまして教育出版について説明をいたします。『中学社会地理地域に学ぶ』答申、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、学習指導要領で重視される能力、資質の3つの柱、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力など」、「学びに向かう力、人間性など」の育成が重視されている。世界と日本の諸地域に見られるさまざまな地球的課題や、地域問題への目配りが効いた教科書であり、生徒が主体的に問題意識を持って、学習に取り組めるように工夫されている。続きまして、教育出版の教科書の特色を、かいつまんで説明いたします。教育出版の教科書の大きな特徴としては、たとえば39ページなんですけど、世界各地の先住民族や在住外国人の人権問題等、それらの解決に向けた取り組みが扱われています。そして、ルーツの違いや障がいの有無にとらわれないキャラクターが用いられていまして、多様性への配慮が行き届いているという内容になっています。世界の諸地域の学習では、6つの州のそれぞれについて、地球的課題が取り上げられ、SDGs、持続可能な開発目標との関連を考えさせる工夫が見られます。また「クロスロード」と題する、見開きの2ページの特設ページが6カ所設けられ、持続可能な社会に向けたさまざまな取り組みが紹介されています。「地理の窓」と題するコラムが53カ所設けられていまして、本文の内容を基に、さらに学びを深めるための情報が多く盛り込まれています。たとえばウクライナ問題についての解説や、ニュータウンの高齢化、老朽化問題など、時事問題にも踏み込んだ内容が含まれる点が特色となっています。「地域調査の方法を学ぼう」という単元、そして「地域のあり方」の単元では、自然災害や公害問題の地域調査が取り上げられ、問題思考的な演習になっている点が特色であると思います。地図につきましては「地図を活用しよう」と題するページが4つのテーマにわたって設けられておりまして、たとえばオリンピック開催国、これまでのオリンピック開催国の分布図が示されています。そして、オリンピックはどこで開かれるのだろうという問いを投げ掛けることで、逆にオリンピックが開催されない国々の存在や、その理由について考えさせる構成になっています。以上で教育出版の説明は終わりいたします。

続きまして3番目。帝国書院『社会科中学生の地理世界の姿と日本の国土』。答申、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、見やすく美しい写真や図表類と平易な文章によって、世界と日本の地理学習を効果的に進められるように工夫されている。特に地域調査の仕方や、課題解決策の提案をめざす、地域のあり方の内容が充実している。また、章、節ごとに、単元を貫く問いを設定し、生徒が見通しを立てて、学習を進められるよう工夫されている。続きまして内容の紹介に移ります。帝国書院の教科書は、人権、多文化をテーマに掲げたコラムや、現地の人々の肉声を紹介するコラムが配置され、地球上に暮らす多様な人々を等しく尊重する態度が重視されています。「解説」というコラムが53項目にわたって設けられ、分かりにくい用語の説明が丁寧になされています。これは確かな学力を育むという、本市のめざす子供像に適合していると考えられます。世界と日本の地域学習では、冒頭に「写真で眺める」というビジュアルな見開きページを設けて、当該地域への導入とし、次いで自然環境、人文現象の順に学習を進める構成になっています。最後に「学習を振り返ろう」として、まとめの設問が用意されています。ちなみに近畿地方の項目として、林業の盛んな紀伊山地という内容が含まれています。「地図帳活用」という小コラムが56カ所設けられています。教科書の内容を地図帳で確認することで、位置や分布、他地域との結びつきなどを理解して、より深い学びにつなげる工夫がなされています。あと各地域のトピックとして、経済格差や一極集中、環境問題や難民問題などが取り上げられ、こうした地球的課題の解決に向けて、何ができるかを考えさせる内容になっています。「技能をみがく」というコラムが21カ所設けられ、統計資料の使い方や、時差の調べ方、

地形図の使い方やプレゼンテーション資料の作り方など、地理的スキルを実践的に身に付けるための工夫がなされています。そして地域調査の仕方や、地域のあり方の単元では、地域調査をどのように行うかが具体的に説明されています。特に「どのように」や「なぜ」を追究できる調査テーマを設定する必要があるといった、非常に実践的な内容になっている点が特色になっています。そして、調査結果のまとめ方や、プレゼンテーションの仕方なども丁寧に説明されています。帝国書院の紹介は以上になります。

最後に日本文教出版の『中学社会地理的分野』の説明に移ります。答申、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市のめざす子供像に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を5つの地理的な見方、考え方、「位置や分布」、「場所」、「人と自然との関わり」、「地域どうしのつながり」、「地域」を踏まえつつ、地理的な見方、考え方を働かせる観点から扱っている。写真や主題図が見やすく配置され、単元ごとの学習課題に対応したポートフォリオが用意されるなど、地理学習に向かう力を発揮させる工夫が施されている。続いて内容の紹介に移ります。平和や生命の尊さに関わる題材、たとえばアフリカの民族紛争や沖縄県の基地問題などですが、そういった題材や、基本的な人権に関わる題材、たとえばフェアトレードや性的少数者への配慮などといった題材が積極的に取り上げられています。これは豊かな心を育むという、本市のめざす子供像に適合するものと考えられます。「持続可能な地域をめざして」と題するページが16カ所設けられ、当該地域に暮らす人々が課題解決のために、どのような取り組みを進めているかを学ぶことにより、生徒が地域づくりの主体としての意識を持てるよう工夫されています。景観写真や主題図が見やすく配置されていて、世界の各地で暮らす人々の写真や肉声も要所に配置され、生徒が臨場感と親しみを持って学習に取り組めるよう、工夫されています。地域調査の手法の単元では、地域の特色をつかむための5つの視点、すなわち、「自然環境」、「人口や都市・村落」、「産業」、「交通・通信」、「歴史的背景や地域活性化など」といった5つの視点に基づいて、調査テーマを決めるという道筋が示されています。最後に編、章ごとに問いが設けられ、そして、節ごとに学習課題が設けられています。1単位時間ごとに生徒がそれらの解決に取り組めるように工夫されています。取り組みの成果はデジタルコンテンツのポートフォリオに書き込めるようになっていて、生徒が教科書とデジタルコンテンツをうまく横断できるように、工夫されています。以上で日本文教出版の紹介を終わります。地理につきましては以上です。ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。社会、地理的分野の答申案について、御意見ございませんか。

#### 島津選定委員

日本文教出版の1番最後のところで、ポートフォリオ後述と書いてあるんですが、これ後述がちょっとなくなっていて、ちょっと順番の入れ替えをやっているところで、ちょっと違うところにポートフォリオが出てきましたので、このあたりをちょっと直したいと思います。

#### 高幣選定委員長

専門的な立場から説明いただいた内容になっております。また、今いただいた説明等から必要に応じて、今後答申案に加筆をして、答申として、教育委員会に提出という形でよろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、社会、地理的分野につきまして、審議していただいたものを選定委員会答

申及び答申資料として議決いたします。続きまして、社会、歴史的分野の審議に移りたいと思います。田野岡委員より、答申案を基にして、説明をお願いいたします。よろしく申し上げます。

---

———社会（歴史的分野）———

### 田野岡選定委員

よろしく申し上げます。社会、歴史的分野につきましては、教科書は8社ございます。各社の答申と特徴について整理しました。

それでは東京書籍から答申させていただきます。『新編新しい社会歴史』で、答申、全てにおいて、各時代が目次と共通した色で表記されており、カラー使用が多く、平均的に分かりやすく表記されている。和歌山市学校教育指針に示す「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」、確かめよう、ふり返ろう、深めようの流れで構成し、章末にまとめられている。吹き出しを使い、保護者、担当教員の立場でも、配慮を促しながら、これからの防災、エネルギーについても触れている。特徴としましては、各時代の分量については、平均的ではあるが、若干近代が多く現代は少ない。各章の初めに「導入の活動」として、資料が掲載され、「小学校で習った言葉」「資料の読み取り」「みんなでチャレンジ」という問いが設定されています。また探究課題という形で章を貫く問い、探究のステップという形で各章の課題が示されており、学習に見通しを持つことができるようになっていきます。章末のまとめでは、導入に示された節の問いに対して、確かめよう、ふり返ろう、深めようの流れで構成し、本市がめざす子供像の1つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながります。他分野の、他教科との関連を図った学習として、リンクマークというのが取り入れられております。二次元コンテンツのなかでもその分野や、他教科を確認することができます。巻末、各章、各節ごとに二次元コードが用意されており、特にいろいろ、さまざまなコンテンツがあるので、家庭学習においても、デジタルデバイス等で確認しやすいサイト構成になっております。目次のなかで先ほど答申でも言いましたように、目次5ページの下部に、「火山の噴火、地震や津波などの災害の写真を扱っていること」と「指導の際には、担当の先生、保護者の方にも配慮をお願いします」というメッセージが掲載されています。特徴としまして東京書籍は以上です。

次に教育出版について答申させていただきます。『中学社会歴史未来をひらく』答申、各章、各節のはじめに学習の見通しを見やすくする問いと資料が示されているなど、内容をより深く追求し、その時代の変化に注目するポイントが紹介され、見方・考え方を導くヒントが示され、図説、表記ともに興味を引く内容に精査されている。「身近な地域を調べよう」として、地域の歴史や生活体験と関連づけた内容になっています。巻末にSDGsにも触れております。特徴としまして、各ページ横に解説文が掲載されて、原始から現代の流れで、系統的に構成されています。各時代、目次と共通した色で表記し、生徒の興味を引くユニークなタイトル、たとえば、終戦のことを「クリスマスまでには帰れるさ」というようにうたうなど、各時代の目次のところに、ユニークなタイトルを付けております。また教科書を見ていただいたら分かると思います。ちょっと前に戻りますけども、近代が少し多いかなと感じました。ホップ、ステップ、ジャンプの段階を経て、思考力、表現力、判断力を高める活動が設定されております。学びリンクとして、各章の初めに役立つリンク集やクイズとか技、歴史の資料や地図の読み取り方など、二次元コンテンツとして用意されております。章末において、各章の特色について振り返り、時代の変

化を考えながら、見方・考え方を働かせた学習になるように工夫されています。小学校の教科書に登場した人物には、マークが記されております。教科書の横幅が広いので、資料が見やすく配置されています。資料的には非常に効率よく配置されています。二次元コードは23カ所に掲載し、学びリンクとして、学習に活用するよう工夫されております。教育出版につきましては以上です。

次に帝国書院について答申させていただきます。『社会科中学生の歴史日本の歩みと世界の動き』。答申、本文では広く見やすく、「確認しよう」、「説明しよう」の流れで構成し、章末には「学習を振り返ろう」を設けており、本市のめざす子供像の1つである、「自ら課題を見つけ、見通しを持って、粘り強く学ぶ」につながります。小学校の学習内容や、地理や公民と関連する内容については、欄外に表記しています。章末の「学習を振り返ろう」のなかで、話し合っ、章の問いを考察しようというのがあり、グループでの対話を促す工夫をしており、内容もより深く追求し、図説、表記ともに興味を引く内容に精査されています。特徴としまして、各章の初めに「タイムトラベル」として、ページいっぱいイラストが掲載されており、時代のイメージを視覚的に捉えることができます。さらに章の問いを設け、学習に見通しを持つことができ、原則見開きの2ページが1時間という形で、だいたい他社もそうなっていますけども、そういう時間配分になっております。ただ、原始と現代が少なく、近代が多いということになっております。もう1つ特徴として、キャラクターの吹き出しの問いや「確認しよう」、「説明しよう」の問いで、課題研究の視点や方法を示すということでキャラクターを使っているというところです。あと、各章の導入で、小学校で学習した内容を年表とともにイラストで示し、各ページにおいて、小学校で学習した人物や語句を、ページ下に青色で掲載しております。原始から現代の流れで、系統的に構成しており、小学校の学習内容を地理や公民と関連する内容については、欄外に記入しております。特にルビについては、非常に丁寧に帝国書院はされております。略称も示したりとか、いろいろ母国語の読みを、2種類のルビを振ったりとか、そういった工夫もされております。二次元コードにつきましては、関連する動画を見ることもできますし、確認クイズというようなクイズも見ることができますので、そういうのを活用した学習ができます。人権、多文化、環境、エネルギー、情報・技術、防災、平和安全、伝統文化というテーマのコラムを設けております。帝国書院につきましては、以上です。

次に山川出版社について答申させていただきます。『中学歴史日本と世界改訂版』答申、内容をより深く追求し、説明、詳しい図説、表記ともに興味を引く内容に精査されています。各章の初めに導入資料として、年表やその年代の要約、写真等を提示して、章全体のイメージをつかみ、章末のまとめで振り返りを行い、各時代の流れや特徴を確認するという学習の流れは、本市がめざす子供像の1つである、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながります。特徴としまして「歴史へのアプローチ」では、時代を通した視点、グローバルな視点で見たテーマやポイントを絞ったテーマなど、10のテーマで取り上げ、それをそれぞれ多角的、多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができます。本文の語尾が常体となっており、登場する人物が多く、高等学校における学習にスムーズに移行できるような工夫がなされております。現代の私たちの生活と比較して考えやすくする工夫も各箇所にあります。各時代の分量につきましては中世が多く、現代がやや少ないという表記になっております。二次元コードにつきましては、各資料、拡大して見ることができたり、1～2分の動画を見たりということで、学習の理解を深めることができます。山川出版社につきましては以上です。

次に日本文教出版について答申させていただきます。『中学社会歴史的分野』で、答申、内容をより深く追求し、図説、表記ともに興味を引く内容に精査されている。巻末には防災にも触れ、広村堤防等、

地域の防災にも触れ、学習に導入しやすくなっている。また平和教育、政治参加にも触れるなど、近代史にも力を入れている。特色として「先人に学ぶ」「各時代の女性」「地域に学ぶ」のコラムを設け、そのなかでSDGsの17のゴールと関連の深いものにはマークを付けています。特徴としまして、各編の初めに、その時代を概観できる資料が並べられ、さらに年表と地図から日本と世界の結び付きを意識するような構成になっております。また、編をつなぐ問いと各節の問いが紹介されており、学習の見通しを持つことができます。学習課題、手がかりとなる見方・考え方、本文、確認、表現の流れで構成し、編末には、まとめと振り返りを設けており、本市のめざす子供像の1つである、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながっています。小学校で学習した人物は、欄外にリンクコーナーで表記しております。見開きの2ページのなかで表現や資料を活用して学び合える問いには、学び合いマークが付いており、言語活動の充実を図る工夫がなされております。グループで歴史を探究できるように、具体的に示しながら、課題の設定や、調査の仕方、報告の仕方などを解説しております。地理や公民と関連する内容については、欄外にリンクコーナーを設けて表記したり、各時代の目次と共通した色にして、各科目の関連性を持たせております。資料を基に歴史について自分で考えたり対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験する「チャレンジ歴史」のコーナーを設けたりもしております。二次元コードで、動画やワークシート、そして関連資料、ホームページの確認はできます。あと、特徴的にもう1つ「先人に学ぶ」「各時代の女性」「地域に学ぶ」のコラムを設け、そのなかで先ほども答申で申しましたSDGsの17のゴールに関連の深いものにマークを付けております。日本文教出版につきましては以上です。

次に自由社について答申させていただきます。『新しい歴史の教科書』で、答申、巻頭に日本の世界文化遺産のページを設け、地図と写真を掲載している。各章の初めに1つの資料を取り上げ、キャラクターが発する疑問により、興味を持って学習に入ることができるようになっている。章末には、「調べ学習のページ」により、生徒の探究を促し、「復習問題のページ」では、基礎的な用語、知識の定着を図り、「時代の特徴を考えるページ」では、課題学習を設けて、学んだことを自分で構造化し表現する場を図説、表記ともに詳細説明が行われている。特徴としまして、登場人物紹介コーナーで、小学校で学んだ人物を中心に、年表ふうで紹介し、時代の流れ、特徴を捉えられるようにしています。対話とまとめ図のページでは、キャラクターによる時代の鳥瞰、体感のための対話編を設けています。序章のなかの1節に「地域の歴史を調べる」のページがあり、自分たちの暮らすまちの歴史を調査する際のポイントがまとめられています。目次の色と、各時代ページの色がリンクしております。章末のまとめに、何々のページによって学習を振り返り、対話的な学びや多面的、多角的に学びを表現する工夫がなされています。二次元コードはありません。見出しのタイトルに、1から94の通し番号が振られ、見出しのタイトルを検索しやすくなっております。巻末には世界各国の王朝の興亡一覧、初代神武天皇から今上天皇に至る歴史の歴代天皇の系図が掲載されています。自由社につきましては以上です。

次に育鵬社について答申させていただきます。『新しい日本の歴史』で、答申、各章の初めに、その時代の見方・考え方を示し、中学生のキャラクターの吹き出しで発問して、中学生がスムーズに学習できるように工夫しております。図説、写真等も多く、興味を引く内容で、容易に直感的に文章内容を理解しやすくなっています。導入ページでは「歴史モノサシ」ということで、学習する時代の範囲を確認し、章末には学習のまとめを設けており、このような流れの学習は、本市のめざす子供像の1つである、「自らの課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながります。特徴といたしまして、各章の初めに、その時代の見方・考え方を示し、先程も言いました中学生のキャラクターを使って、発問する

などして、学習できるようになっております。「歴史モノサシ」では、導入ページとして、歴史のものさしで学習する範囲を確認し、資料を用いて、鳥の目、虫の目ということで、鳥瞰図、より詳しく虫の目ということで、時代を見ております。学習課題も、右下の学習のまとめになる課題を示したり、イラストや吹き出しの問いでは、課題研究の視点や方法を示して、課題解決をしやすくしております。「歴史新聞を作ろう」では、身近な地域の歴史に触れて、現代に生きる私たちとのつながりについて認識することができる工夫もあります。ここでは、原始から現代の流れで系統的に構成しております。学習のまとめでは、グループで話し合う課題を設定したり「歴史ズームイン」では、各章の学習をさらに掘り下げたり、意見交換して理解を深めたりするようにできております。二次元コードは他の会社のように、情報を読み取ることができます。横幅が広いので、資料は配置が大きく、見やすくなっております。これは各社も言えることです。

最後に令和書籍について答申させていただきます。『国史教科書第7版』です。答申、A5サイズでコンパクトだが、本文ページでは、日本史観点から世界背景を表し、節ごとの課題がまず示され、解説文があり、写真や図、文献資料などが掲載されている。全般的に深く説明されており、記述は詳細であるが、説明文等、フォントが小さくなってしまふ。図説や写真は白黒であるが、興味深いものを取り上げている。巻末には資料集が年代別にカラーでまとめられています。特徴としまして、小学校で学習した人物と文化を思い出し、一番尊敬する人について調べ、歴史カードを作る学習が最初に設定されております。序として「国史を学ぶにあたって」において、歴史の調べ方、歴史の見方、考え方など、学習の進め方を紹介しています。ページ数はかなり多いんですけども、394ページでは「歴史について議論しよう」、404ページでは「ディベートをしてみよう」など、近代のディベートということで、章末の取り組みでは、言語活動にも取り組むことができます。二次元コードにつきましては、461ページに1つあるだけで、ホームページの紹介はありません。従来の歴史区分を用いつつも、わが国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を設定したと述べています。また、天皇を軸として語ることで、歴史の連続性をより実感できるように工夫したとしています。本文中の地図や資料は白黒で、グラフの掲載は少ないです。ただ、エルトゥールル号等の遭難事件がコラムで取り上げられています。王朝の交代を得ずに国家を継続できたのはなぜかというような課題も取っております。あとは縦書きという特徴があります。大きさなどの特徴もあります。令和書籍については以上です。以上8社です。何か御意見をお願いいたします。それと、ちょっと教科書が多いので、資料につきまして、シンプルにさせていただくように、できるだけ少な目に見やすくさせていただいたのと、中黒を表に出して、箇条書きの形を取らせていただきました。もし、これを、私が前回やらせてもらったものもあるんですけども、そのときには詰めて書いてあったんですけど、今回、そういうことに変えさせていただきました。御意見よろしく願いたします。以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。社会、歴史的分野についての答申案について、御意見ございませんか。ただいまいただいた補足も含めまして、お願いいたします。

## 庄禮選定委員

内容のことではないんですが、自由社の答申資料のところに、ちょっと不必要なスペースが幾つかと

ころどころあるので、それをちょっと詰めて、構成していただけたらなと思います。

#### 田野岡選定委員

はい。

#### 庄禮選定委員

それと、同じく令和書籍も、ちょっとかぎかつこが2つあるところ、歴史的な見方・考え方というところ、2つ初めにあるのとか、以上です。

#### 田野岡選定委員

分かりました。

#### 高幣選定委員長

漢字の変換の際に違ったのかなと思うんですけども、育鵬社の答申の3行目、理解しやすくが。

#### 田野岡選定委員

しやすく、はい。すいません。

#### 高幣選定委員長

ちょっとここが変換の関係かなと思いますので、訂正のほうお願いいたします。

#### 高幣選定委員長

答申案につきまして、専門的な立場から分かりやすくコンパクトにまとめていただいております。ただいまいただいた説明等から、必要に応じて、答申案に加筆をしまして、今後の答申として教育委員会に提出をするという形でよろしいでしょうか。それでは、社会、歴史的分野につきまして、審議していただいたものを、選定委員会、答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。

#### 高幣選定委員長

それでは、社会（公民的分野）の審議に移ります。柏野委員より答申案を基に説明をお願いいたします。

———社会（公民的分野）———

#### 柏野選定委員

それでは、公民の答申の案を提案いたします。公民は6社あります。まとめた内容を1社ずつ御説明していきたいと思えます。

まず『新編新しい社会公民』東京書籍ですけれども、答申。ほぼすべてのページに二次元コードがあり、説明動画やワークシート、つまずきを補うシミュレーションや確認クイズなど、個別最適な学びを

支えるコンテンツが用意されている。さまざまな現代的諸課題と克服のための取り組みを学習することで、「よりよい社会の形成者となるための力を育む」ことができる教科書である、という答申案です。特色と工夫ですけれども、今回、教科書を調査させていただいて、多くの会社で単元学習、課題解決的な学習を重視しているということがよく分かりました。そのなかで東京書籍は、章を貫くということで、それを単元課題として設定をしております、またそのなかの各節にも「探究のステップ」というのがございまして、あと、1時間ごとの学習課題ということで、この3段階の問いを設けることで、無理なく課題解決的な学習に取り組める、そういう工夫が見られます。特に各章、単元の導入のところで「みんなでチャレンジ」のコーナーというのを設けておりまして、グループで話し合うなどの対話を促すということで、友達との多様な意見に触れながらこの単元で学ぶ内容についての問いを作るような工夫がなされています。そして教科書のつくりとしましては、見開きの2ページに1時間ごとの学習課題、本文、そして資料、チェック項目等が定位置に配置されているということで、学習の流れを把握しやすくなっております。また、その課題の横にも二次元コードがすべてのページに示されておりまして、そのなかで資料の解説動画とかNHKの動画とかインタビュー映像などのデジタルコンテンツを活用することができますので、内容の理解とか学習の振り返り、それを充実させることができるようになっていると思います。内容のなかでは、特に人権の保障に関しての記述の項目は、部落差別の撤廃であるとか在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃、「男女平等をめざして」と、あと障害のある人への理解など、どの課題に対してもしっかりと記述がございまして、特に、アイヌ民族への差別の撤廃については、さらに2ページで詳しい説明がありまして、また、性の多様性の理解についてはLGBTQ+、あと SOGI、S・O・G・I、SOGIの説明も資料のなかにございまして、それが東京書籍です。

続きまして『中学社会公民ともに生きる』教育出版です。答申案として、社会的少数者の権利の保障をめぐる課題が広く紹介され、夜間学級やこども食堂についてのコラムがあるなど、人権・平和に関する記述が充実している。学習を一步進めて、技能や表現力を養うコーナーもあり、人々の多様なあり方を互いに認め、支え合う態度を身に付けさせることができる教科書である。続きまして特色ですけれども、教育出版も、先の東京書籍と同様、課題解決的に学習を進められるというところを重視しております、単元を通して追究する問いであるとか、各節の問い、1時間ごとの授業の問いと、問いを3段階で設けて、特に見通しを持って取り組めるというような工夫がなされています。単元の導入では「ウォーミングアップ！公民」というコーナーを設けまして、生徒の生活体験のなかから出発して課題意識を持たせて、そして生徒同士の意見交換を通じて単元を貫く問いというのを作らせるという、そういう工夫も見られます。また、適宜「公民の技」のコーナーがありまして、生徒個人やグループでの活動を通じて、学習で身に付いた技能とか表現力をさらに高める機会というのを設けております。内容に関しましては、人権の保障に関して、同じく記述している項目としましては、部落差別、アイヌ民族への差別、外国人に対する差別、「障がいのある人とともに」など、こちらもしっかりと記述をされております。また『「LGBT」と自分らしさ』とか「ハンセン病問題に取り組む学校」については、それぞれ1ページで取り上げておりまして、社会的少数者の権利保障をめぐる課題についても考えられるようにしております。またSDGsについては、巻頭と巻末のページで、この公民の学習全体に関わる大切な視点として紹介するとともに、各ページの脚注とか、それから各章の終わりの「JUMP!」というところに掲載されている取り組みが、そのSDGsのどの項目と関係があるのかという質問を掲載したりするなど、SDGsを一つの軸としてこの学習を展開していくという構成となっているのが特色かと思っております。以上で、教

育出版を終わります。

続きまして帝国書院ですが『社会科中学生の公民よりよい社会を目指して』という教科書名です。答申案として、生徒の日常から見出した問いを常に意識させ、また、活動型の学習を促すパフォーマンス課題や、多様なアイコンを配置することで、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしている。言語活動など、学習の基盤を作る活動の充実を図ることができる教科書である。そして特色としましては、帝国書院も、先の2社と同じく、課題解決的な学習を重視している構成となっている点は変わらないわけですが、特に導入の部分で特色がありまして、鳥瞰図的なもの、イラストを使って、そこに描かれている事柄を比較して、そこから違いや共通点を見出すという作業をさせることで、生徒の日常生活のなかから問いを見つけさせるという工夫が見られます。この導入方法は、生徒にとっては問いを生みやすい手立てであるかなと思います。あと、単元終わりでは「アクティブ公民」として、具体的なテーマを用いたパフォーマンス課題を準備して、活動型の学習で終わるということで、主体的に学習に取り組む態度も含めて評価できるような構成になっております。また、指導しやすさとか生徒にとって学びやすさといった点で、小学校での学習や他分野、それから他教科との関連のある題材には、各ページの脚注で「小・地・歴の関連アイコン」を示す既習事項を踏まえながら学習を進めていくと、そういう足がかりを設けております。内容としまして、同じく人権保障についての充実というところで、部落差別の解消に向けた政策、それから性差を超えた平等の実現、アイヌ民族への取り組み、在日外国人への取り組みの項目がありまして、LGBTQについては本文中とか資料で解説がありまして、特に、選択できる学校の制服を取り扱うという、写真もそこに載っております。また「偏見や差別をなくすために」と題して2ページで生徒の人権作品とか部落差別に関する手記が掲載されているというのも特徴かなと思います。以上で、帝国書院を終わります。

続きまして『中学社会公民的分野』日本文教出版です。答申案として、単元を通して見方・考え方を働かせることができるよう、具体的な問いや活動事例を各所に配置している。また、単元の終わりには、既習事項を生かして社会の課題を自分ごととして捉え、解決へと導く工夫があり、自ら課題を見つけ、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する資質・能力を育成できる教科書である。特色ですけれども、日本文教出版も同じく、課題解決的な学習を重視しておりまして、章を貫く問いというのがあり、またそのなかに節の問い、そして1時間ごとの学習課題ということで、3段階の問いを構造的に配置しております。あと特に、毎ページの脚注に節の問いというのを記載しておりまして、常にその問いというものを意識した学習に取り組ませようとする、そういう工夫が見られます。また、これも全ページに、学習課題の解決に向けての手掛かりになる見方・考え方の例も示されておりまして、示された見方・考え方を働かせて学習内容の理解をさらに深められるようにしております。また、二次元コードが各ページに記されまして、学習ポイントを解説した動画や、それから資料、ポートフォリオとか、あと小テストとかなどのデジタルコンテンツを活用して、各自の学習進度やペースに合わせた学習ができるようにしております。あと、人権の保障に関しての項目につきましては、同じく部落差別、アイヌ民族への差別、在日外国・朝鮮人差別、「障がいのある人とともにつくる社会」など、一通りの記述がございますし、あと「性の多様性を認め合う社会」においては、LGBT、それからS・O・G・I、SOGIの言葉につきましては、巻末の用語解説に記載されています。さらには、選べるようになった制服の写真も、54ページがございます。あと、和歌山県内の写真が6カ所掲載されています。遠隔診療であるとか、みなべ町の梅干しでおにぎり条例があるということが、幾つか紹介されております。以上で、日本文教出版を

終わります。

続いて『新しい公民教科書』自由社です。答申案として、一貫して、個人と家族、地域社会とのつながりや、日本の伝統である勤労・勤勉の精神や、誠実さと利他の精神を大切にしながら学習を進めていく構成となっている。伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、郷土や国を愛する心を育むことのできる教科書である。自由社の特色ですけれども、自由社は、多くの教科書で採用されている個々の生徒の問いから学習がスタートするという、そういう構成は取られていないんですけども、内容には多くの特徴があります。まず、共同社会の典型である、家族の役割、家族のあり方というのを重視しておりまして、家族生活における個人の尊厳、両性の本質的平等など、自他の敬愛と協力が重要であること、そして何よりもその家族のきずなが社会の基盤であるということがしっかりと記述されています。また、天皇の役割については「天皇の役割と国民主権」の単元を設けて、単元と言いましても、自由社は1時間の授業を1単元とカウントしているわけですけども、1時間で学習するということと、そして「もっと知りたい」と題したコラムをさらに2ページ設けまして、宮中祭祀等、天皇のお仕事について詳しく記述があります。あと、さらに領土問題については、わが国の領域に関する課題ということで、本文と、それから「もっと知りたい」のコーナーで北方領土と竹島の問題を2ページ、それから「尖閣諸島をめぐる危機」ということで2ページ紹介しています。また、あと拉致問題についても、なぜ多くの日本人が拉致されたのか、なぜ防げなかったのかなどを2ページにわたって詳しく紹介しておりますし、巻末の法令集に皇室典範、海賊対処法が収録されているのも特色かなと思います。あと、SDGsについても、古来から続く日本人の独特の自然観には、開発と保全を両立させる精神が息づいているとして、その感性を日本型SDGsということで捉え直して、世界に発信していくということを促しております。日本の伝統の素晴らしさを伝える記述となっていると思います。以上が、自由社です。

最後に育鵬社です。育鵬社の教科書名『新しいみんなの公民』です。答申案として、現代社会の理想と現実を紹介し、家族・地域社会・国家・国際社会と自分との関係を常に考えさせることで、人ごとを自分ごととして捉え、自ら考える態度を育てることをねらいとしています。自ら課題を見つけ、人と地域社会と関わりながら見通しを持って粘り強く学ぶ態度を養うということのできる教科書であるという答申です。特色としましては、育鵬社の教科書も「学習を深めよう」とか「やってみよう」というコラムを挿入することで活動を誘っておりまして、単に知識面の理解にとどまらない思考力・判断力・表現力を身に付けられるような工夫がなされています。また、章の終わりに、章の「これから」ということを設け、学習したことを生かして、社会事象等の意味とか意義を考えたり、それから、社会の課題解決に向けた構想を膨らませたりする、そういう活動を設定しながら、学習のまとめができるようになっております。内容につきましても特徴がございまして「象徴としての天皇」の項目のなかで、国事行為や外国からの賓客との会見など天皇の役割についての記述があり、本文中には「現代の立憲君主制のモデルの1つとなっています」というような記述も見られます。また、日本の伝統と文化については「日本文化の特徴」という項目で、年中行事や芸能とか武道などを取り上げておりますし、あと「文化の多様性と異文化理解」の項目で、多文化共生社会の形成について述べたりするなど、4ページを使いまして、文化の継承と、それから新しい文化の創造について紹介しておりまして、わが国と郷土を愛する態度というのを養えるような工夫がございまして。あと、領土問題についても、領土・領海をめぐる問題として、北方領土と竹島の問題、さらには尖閣をめぐる情勢について政府の見解を紹介しながら、5ページにわたって記述がありますし、拉致問題につきましても、2ページにわたって詳しく紹介をしています。あ

とさらに、キャラクターに語らせているのですが、日本人としてこの拉致問題にどう向き合いますか、という問いがあり、物事を他人ごとではなく自分ごととして捉えるようにというふうに導いておりまして、自ら考える態度の育成を図っているというふうになっています。以上、育鵬社の特色です。以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。社会の公民的分野についての答申案について、ご意見はございませんか。

## 高幣選定委員長

答申案について、その専門的な立場から取りまとめていただいております。ただいまいただいた説明から、今後必要に応じて加筆等がございましたらしていただきながら、答申として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。それでは、社会、公民的分野につきまして、審議していただいたものを選定委員会の答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。続きまして、それでは、地図につきまして審議に移ります。島津委員より、答申案を基にして説明をお願いいたします。

---

## 地図

### 島津選定委員

失礼します。社会の地図につきまして説明をいたします。2社ございまして、東京書籍と、帝国書院です。

まず東京書籍の『新編新しい社会地図』ですが、答申を読み上げます。世界と日本の多様な諸地域を満遍なくカバーし、SDGs や地球環境問題、領土問題や国際関係にも周到な目配りがなされた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨及び本市がめざす子供像にとって適切的な内容である。地図や統計図表を見やすく表現していることや、二次元コードのコンテンツが有用であること、設問の立て方に工夫が見られることが特色である。ということで、内容ですけれども、これも多岐にわたりますのでかいつまんで説明をします。一番特徴というのは、一般図、鳥瞰図、主題図、グラフ、統計資料が豊富に盛り込まれておりまして、地理学習に加えて歴史学習や公民学習にも活用できる地図帳になっているという点であります。これは、確かな学力を育むという本市のめざす子供像に適合していると考えられます。SDGs についても、その関連が強く意識され、関連するページや主題図、グラフに SDGs のマークが非常に細かく付けられています。地図の色合い、色調や濃淡のコントラストについては、目に優しい感じで、割と穏やかな色使いになっています。等高線をあまり目立ち過ぎないように工夫されています。文字は、ユニバーサルデザインフォントが用いられており、地図記号に加えて、絵記号が効果的に用いられるなど、読図のしやすさが重視されています。鳥瞰図には、陸上地形のみならず海底地形も表現されており、地球表面のこぼこを陸海の区分を超えて統合的に把握できるよう工夫されています。そして、主題図や統計グラフは読み取りやすさを重視して、多少ですが大きめに描かれています。あと、古代から近現代に至る史跡や出来事が一般図を中心に盛り込まれており、特に近畿地方や東京近辺における歴史と治水との関連を示したユニークな主題図が掲載されるなど、歴史学習や防災学習との関連が

意識されています。あと、都市問題や国際紛争、移民・難民問題に関する資料が多く盛り込まれ、理科学習や公民学習との関連が意識されているということになります。あとは、二次元コードが随所に配置されていて、デジタル地球儀やデジタル地図、そして統計資料など、さまざまな学習コンテンツにアクセスできるようになっています。デジタル地図については生徒自らがさまざまなデジタル主題図を作成できる Web GIS、インターネットでアクセス可能な地理情報システムのことですが、その Web GIS の説明動画が提供されているのが大きな特色かと思います。具体的に言うと、地理院地図、Google マップ、そして政府が提供している RESAS、地域経済分析システムといった、外部の地理情報システムの使い方が中学生にも分かりやすく説明されているというところが、二次元コンテンツの特徴になっていると思われる。東京書籍については、以上になります。

続きまして、帝国書院の『中学校社会科地図』の答申を読み上げます。世界と日本の地域的特色が偏りなく扱われ、領土問題や地域・文化の多様性、SDGs や環境問題、自然災害と防災に対する配慮が行き届いた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨及び本市がめざす子供像にとって適切な内容である。歴史学習との関連が強く意識されていることや、地図表現の仕方が豊富なこと、二次元コードのコンテンツが充実していることが特色である。それで内容についてですが、伝統的な戦前からある出版社ということで、豊富な内容になっています。地図の種類、すなわち一般図と鳥瞰図と主題図という3種類の違いというものが、中学生にも分かるように簡潔に説明されており、地図学習への適切な導入となっています。SDGs についても、それとの関連が強く意識されており、関連するページに SDGs のマークが細かく付けられています。地図帳の地図の色合いなんですけど、これはかなり鮮やかな分かりやすい色合い、色使いがされていて、濃淡の区別が明確になっています。等高線もよりくっきりと描かれていて、判読しやすい形になっています。文字はユニバーサルデザインのフォントが用いられており、可読性を高める工夫がなされています。地図記号についても、従来の記号に加えて、農産物や工業製品には絵記号が用いられており、視認性や親しみやすさが重視されています。そして、多くの一般図では、果樹園が薄い桃色で表現されていて、これは非常に分かりやすい表現になっています。たとえば、和歌山県の果樹園が多いという土地利用の特色がひと目で分かるように工夫されているというのが特徴かと思います。あと、歴史についてですが、古代から近現代に至るまでの歴史的な出来事が、非常に細かく詳しく、一般図のみならず鳥瞰図に至るまで、多様な形で盛り込まれています。たとえば、幕末期の江戸の土地利用図といったユニークな主題図も掲載されるなど、歴史学習との関連が非常に重視されているという特徴がございます。あと、環境問題や食糧問題、国際紛争や難民問題に関する主題図や写真も充実しています。最後に、自然環境と災害・防災に関しては、プレートの運動や境界と火山や地震の震央分布との関連が読み取れるように、主題図の表現が工夫されています。あと、近年の気象災害の激甚化や、線状降水帯のメカニズム等も主題図やイラストを用いて分かりやすく解説、表現されています。以上で、帝国書院の地図帳の紹介は終わりとなります。帝国書院の答申案の下から2行目なんですけど、「教育 DX に基づく」と、これ書いてしまったんですが、これは教育デジタルトランスフォーメーションという意味ですが、ちょっと新しい言葉過ぎて答申案には適切でないと判断し直しましたので、ここはちょっと「ICT 活用に基づく」というふうに、より分かりやすく表現を変えたいと思っています。以上になります。ありがとうございました。

高幣選定委員長

追加の訂正等もありがとうございます。地図についての答申案について、御意見はないでしょうか。

## 高幣選定委員長

答申案について、専門的な立場から取りまとめていただいております。ただいまいただいた説明から、このあと必要に応じて答申案への加筆を行い、答申案として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。それでは地図につきまして、審議していただいたものを選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。それでは次に、数学の審議に移ります。私、高幣より答申案を報告して、説明を行います。

---

## 数学

### 高幣選定委員長

では始めます。これより、数学の答申をいたします。数学の教科書は7社です。選定委員会としての調査、審議をし、まとめた内容を1社ずつ申し上げます。その前に、この教科書を見る視点として、2点申し上げます。まず初めに、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動が展開しやすくなっているか。次に、数学的活動を通して生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する、授業改善をする工夫・配慮がされているか。次に、各社の教科書で共通しているとみられる内容構成を、初めに2点述べます。まず初めに、学習において導入動画や補充問題など、デジタルコンテンツを活用する場面設定が随所にあります。次に、冒頭数ページには、自ら考え、考えたことを伝えるなど、問題発見や解決する力を身に付けるポイントや、意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動の展開例、対話的な学びを実現する例、学習ノートの作り方の例など、教科書を使った学び方が示されております。それでは、各教科書の説明を行います。小学校算数と中学校数学のつながりを考えなければならない部分というのが多いと考えておりますので、主に中学校1年生の教科書を使った説明が多くなると考えております。

では、東京書籍から始めます。答申。算数の振り返りや既習事項との関連づけとして学習課題が明示され、系統性も分かりやすいことから、個々の実態に応じて、自ら見通しを持って学習に取り込むことができる。主体的・対話的で深い学びの実現を促す学習活動を展開することも可能であり、授業でも自学自習でも使えるデジタルコンテンツが多数用意されている。身の回り、社会とのつながりを題材とした内容、小・中・高のつながりや系統性を踏まえた内容なども豊かで、自ら考え、いろいろな意見を出し合って、互いの考えを深めたり広めたりすることができる教科書である。ここから、特色と工夫などについて述べます。まず、1年、巻頭を開いてください。1人1台端末を学びの文房具のように取り扱えるようにと、紙面右下の二次元コードから、学びを広げる導入画面やフラッシュカード、統計ツールなど、デジタルコンテンツを利用することができます。3学年の合計が1752点となっています。このような二次元コードが随所にあります。1ページの目次には、小学校で学んだ既習事項とのつながりが示されています。12ページを開いてください。算数と数学の学びをつなぐ単元として「0章算数から数学へ」が、1年生の教科書に設定されています。中学校数学の最初の授業開きで使えるようになっております。15ページには素因数分解、16ページには累乗の指数を、この章のなかで学習します。負の数を学習する前に、九九表の決まりを説明する題材として素因数分解につなげているのが特徴の一

つです。31ページを御覧ください。必ず身に付けてほしい問題にハート型のマークを示したり、基礎的な問題にはチェックボックスを設けたり、問題の重要度が生徒に分かりやすくなっています。また、266ページにある補充の問題では、少し難しい問題には星型のマークがあります。個に応じて学習を進めることができます。60ページには、習得すべき内容「章の問題A」、61ページには、自ら進んで取り組む「章の問題B」と、個に応じた問題があり、他の章にも同様にあります。身の回りの題材を扱うページに「マイ教科書・マップ」が設けられ、1年では192ページ、47都道府県ごとのデジタル紙面が用意され、和歌山市庁舎や県立橋本体育館など、身の回りにある立体を見られる教材があります。

続いて、学校図書です。各章、各節の初めに、疑問を発見するページがあり、身の回りの生活のなかや数学の学習のなかから主体的に疑問を発見するようになっていきます。また、その疑問を受ける形で数学の問題に置き換えるように導入問題があります。導入問題では、話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで、対話的な深い学びができるようになっている。章の問題や補充的なデジタルコンテンツが豊富にあり、個別最適な学びができるよう、さまざまな配慮が見られる教科書である。ここから、特色と工夫について述べます。1ページを御覧ください。見開きの目次には、小学校で学んだ既習事項とのつながりが明記されています。8ページには算数から数学へ「ふりかえり」のページが設けられ、既習事項を確認できるようになっています。生徒が主体的に数学の学びに取り組めるように、導入や各題材において、身の回りや数学の学習のなかで疑問に思うことを取り上げており、それを解決したいという気持ちが生まれるような構成となっています。生徒が自分たちの疑問を解決する形で学習が進められるよう、主体的・対話的な学びに取り組むことができます。個に応じて、習熟やつまずき対策ができるよう、76ページの「ふりかえり」、84ページの「チャレンジ」や「パトロール隊」、88、89ページの「解答」を示すような二次元コードが他の箇所にも設けられています。94ページには、発展的な学習内容も取り上げられています。最後に、裏返しを御覧ください。ここには「プログラミングを体験してみよう」のページがあり、論理的な思考の大切さや、ICT活用の重要性に気付くことができます。

続いて、教育出版です。答申。学んだことを振り返るページがすべての章の前にあり、既習事項との関連や、予習を促す仕組みがある。また、実社会や日常生活など、数学に関わる話題を取り上げ、学習と関連づけることで、数学の有用性を実感し、学習による自己の成長を感じることができるようになっている。学習の過程で生じる生徒の疑問から主体的・対話的な学びを通じて、学びを進め、深める学習活動につながる教科書である。ここから、特色と工夫などについて述べます。表紙に「数学レンズをのぞいてみよう！」と、数学の世界へ入るきっかけとなる表紙動画があります。目次には、小学校の学習内容との関連が示されています。12ページを御覧ください。各章を学習する前に「章を学習する前に」、学習後に「学習のまとめ」が設けられ、基礎・基本を確認することができます。16ページを御覧ください。第1章第1節のこのページには、素数や素因数分解があり、整数の見方を広げる学習内容があります。その後、正の数・負の数の学習が始まります。26ページを開いてください。このように、「例」「例題」「たしかめ」「問」「補充問題」と、自信を持ちながら学習に取り組めるような構成となっております。70、71ページ、「数学しごと人」というページでは、仕事に数学を活用している人へのインタビュー内容を掲載し、数学が実社会で役立つことを実感することができ、将来の職業を考えるきっかけとなっています。99ページには、発展として生徒が興味・関心を持って、さらに中学2年の内容へと深めていくことができるようになっています。巻末の288ページを開いてください。そこには「学

びのマップ」があり、算数の内容をいつでも振り返ることができるような工夫があります。また、算数のコンテンツも数多く用意されています。このように、小学校や全学年の学習した内容から、自分の考えを広げたり深めたりする学習活動に取り組めることができるようになっています。

続いて、啓林館です。答申。数学的な見方・考え方を体得するために、本文の大切な考え方を働かせる箇所に下線を引き、その右側にどんな考え方を使っているのかを示す標識の配置が随所にある。学んだことから数学的な見方・考え方を働かせ、自ら課題を発見、解決し、他者と意見を出し合い比較したりする場面設定も多く設けられている。1人1台端末も有効活用することで、数学の学習がさらに広がるよう工夫されている教科書である。ここから、特色と工夫などについて述べます。表紙右上の二次元コードを読み取ると、デジタルコンテンツの目次画面を見ることができます。この教科書は、主に授業中に取り組む必修部分「本編」と、247ページ以降の必要に応じて取り組む選択部分「数学の広場」で構成されています。巻頭に戻ってください。巻頭ページ1、2に「学びは新しい時代へ！ICTの活用でひろがる数学の学習」の見開きページがあり、ICTを活用しながら学習を進めるGIGAスクール時代の教科書であることが強調されています。二次元コードからは、教科書のすべての例・例題や、章末問題を丁寧に解説する動画を見ることができるようになっています。次のページには「この教科書で学ばみなさんへ」と、学びに導くメッセージがあります。動画やプログラミングなど、教科書で使われるデジタルコンテンツ数は1384となっています。12ページを御覧ください。新しい学びが始まる導入場面では「学習のとびら」が設けられ、デジタルコンテンツの配置もあることから、生徒が興味・関心を持って学習に向かうことができます。14ページのように、内容のまとまりごとに小見出しがあり、目的意識を持って学習に取り組み、「ひろげよう」で既習事項を基に考えることができるので、スムーズに新しい学習に取り組むことができます。34ページを見てください。授業のなかで働かせる数学的な見方・考え方を表すために、本文中に新しい課題を見つけるなど、学びを広げるときに役立つ考え方を示すオレンジ色の下線や標識、問題を解決するとき役立つ考え方を表すグリーン色の下線や標識で、分かりやすくしています。このような下線や標識が随所にあります。52ページを開けてください。このように単元に「〇〇の利用」の節を配置しており、「〇〇の利用」の節には、ステップ方式の課題を設けています。与えられた問題をただ解くだけでなく、自ら問題を発見し、解決し、解いた問題をさらに深める力が身に付くようになっています。248ページからの「学びをふりかえろう」には、算数で学んだ内容を復習する問題や、「力をつけよう」「学びをいかそう」では、各章との関連する内容で、生徒が深化・発展的で探究的に取り組むことができる問題が豊富にあります。

次に、数研出版です。答申。日常の学びを生徒が主体的に進めることができるように構成されている。各章に入る前に、学習内容と関係する既習内容のページ「ふりかえり」があり、その章を学ぶ前に確認しておきたい既習内容が示されている。また、学習のめあても確認しやすい。教科書の各ページの下に掲載された二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したコンテンツを利用することができる。基礎・基本の定着、数学的に考え説明する力の育成、数学を学ぶことの楽しさなどに力を注いでいる教科書である。ここから、特色・工夫について述べます。11ページを御覧ください。各章の学習に入る前に、その章に関連する既習内容を確認できるようになっております。新たな学習内容と既習事項との関連等が分かるようになっています。21ページにあるような項目、冒頭に「Q」や「TRY」が多くページに設けられており、数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができるようになっています。また、キャラクターの対話の場面によって、数学的な見方・考え方が具体的な形で視覚化され、数学的な

見方・考え方を身に付けられるよう支援されています。例や問いも細かく配置され、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるような工夫が見られます。22ページを御覧ください。節末に、それぞれ標準的な確認問題があり、定着度合いを確認することができます。54ページを開いてください。「やってみよう」などの活動を通して、さらに学びを深めることができるようになっています。また、左下にあるような二次元コードが他のページにも配置され、「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5つのコンテンツとリンクしているので、使いやすくなっています。158ページを御覧ください。平面図形の導入場面で、子午線上に和歌山市友ヶ島があることが紹介されています。巻末292ページから、1年の内容を領域別にまとめたページが設けられています。算数の内容を併せて確認することができるようになっており、小・中の接続に配慮されています。

続いて、日本文教出版です。答申。新たな学びに入る前に既習事項を確認し、学習を進めるようになっている。各章や巻末には、多彩な問題がバランスよく配置され、個に応じて扱うことができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現を促す学習場面の設定もある。分かる・できるを大切に、基礎・基本を重視した学習を進めることができる教科書である。ここから、特色と工夫などについて述べます。1ページ、見開きの目次には「算数で学んだこと」があります。14ページのように、学習のめあてが明示されているので、学習に見通しを持って取り組むことができます。23ページを御覧ください。デジタルコンテンツに二次元コードからアクセスすることができます。理解を助けるアニメーションや動画などのコンテンツが各所に用意されております。51ページを開いてください。節末の「基本の問題」、54ページの章末には、基礎・基本から標準的な問題までの「章の問題」と、55ページのやや難易度の高い問題の「とりくんでみよう」が設けられ、個の実態に応じて扱えるようになっています。他の章にもそれぞれ、章の内容の問題が設けられています。260ページを開いてください。「プログラムと数学」では、素因数分解をするプログラムについて考察することができるようになっており、素因数分解を実行するプログラムのコンテンツも用意されています。

最後に、大日本図書です。答申。各学習単位でめあての明示があり、見通しを持った学習活動が進めやすい。学んだことが身に付くように豊富な課題が用意されており、基礎的・基本的な知識・技能等の定着を図ることができる。学習に主体的・対話的に取り組み、学習したことを深めるための学習活動を進めることができる教科書である。ここから、特色と工夫などについて述べます。2、3ページの目次を御覧ください。ここでは、既習事項とのつながりが明記され、学習の系統性が分かりやすく示されています。14ページを御覧ください。第1章第1節で素数や素因数分解、累乗を学習します。また、各学習単位で「めあて」、導入課題「考えよう」で、学習目標が明確に示されています。活動を通して対話的に学習に取り組むことができるようになっています。「活動」「例」「例題」を適切に配置し、学習の流れが分かりやすく構成されています。49ページにあるようなウェブコンテンツマークが対象を絞って表示され、ICT教育への対応も見られます。59、60ページを御覧ください。各章にある利用の課題、ここでは「正の数、負の数の利用」で、思考の段階に対応させ、問題発見、問題解決の流れを示し、学級の仲間と協力して問題解決に取り組むとともに、解決の過程を振り返ったり、新たな問題を発見したりすることを通じて、深い学びが実現できるような工夫があります。これで、7社の教科書についての答申及び答申資料の説明が済みました。どの教科書も、内容構成に差はなく作られています。既習事項の振り返りや、算数から数学への接続、基礎・基本を図るための工夫もよくできています。どの教科書も、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができる学習活動が展開しやすくなっています。一方、それぞれ

の教科書を比べるなかで、目次ページに既習事項が併記されている教科書とそうでない教科書があります。また、学習の流れやポイントを色や下線、吹き出し、側注を使って学習者への視覚的な示し方に若干の違いがあります。加えて、二次元コードからつながるデジタルコンテンツの量や内容に違いが見られます。さらに、学習活動を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善をする工夫・配慮については、教科書によって差が若干あります。以上で、数学の答申及び答申資料の説明を終わります。以上でございます。今の答申案につきまして、御意見はございませんか。

#### **田野岡選定委員**

学校図書の特徴の、上から8番目の、3つ中黒の点とクエスチョンあるんですけども、これは。

#### **高幣選定委員長**

すみません、ここは自分のなかで書き損じました。申し訳ございません。残ったままでした。すみません、消したつもりが。ご指摘ありがとうございます。

#### **高幣選定委員長**

ありがとうございます。他にございませんか。なければ、今ご指摘いただいたところも含めまして、答申案に加筆・修正を行います。また、必要に応じて加筆もしていきたいと思っております。答申として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、数学について審議していただいたものとして、選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。それでは、理科の審議に移ります。富田委員より、答申案を基に説明をお願いいたします。

---

——理科——

#### **富田選定委員**

私は今年度から担当になりましたので、教科書をじっくり読んだのは実は今回が初めてです。全般的なことを申しますと、実は5社はこれほどまで似ているということに、正直非常に驚きました。もちろん学習指導要領に基づいているから当然と言えば当然なんですけども、そういう意味では差異を探すのに非常に苦勞いたしました。調査委員の方の報告書も実は5社非常によく似ていまして、よく読むとほとんど同じ文が書いてあるんです。私、最初調査報告書を読んだときに、ここまで同じことを書かれるのはどうしてだろうかと思って、手元のメモも含めてもう一度読み直したのですが、確かにほとんど同じか、もちろんレイアウトとかはいろいろと違うんですけども、内容的にはほとんど差異がないということを再確認いたしました。そういう意味では非常に書くのが難しかったです。5社ともそういう意味では同じ文章が書かれているところと、それぞれの社の特徴を書いたところをそれぞれ挙げております。そういう意味ではちょっと私の答申の資料は少し構文がでございます。

まず最初東京書籍からまいります。ページごとにいきます。答申のところです。読み上げます。探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を付ける点でどの社も充実しているが、これほどこも同じように書いております。この社のものは、ここからです。他社に比べて理科に関係した仕事の紹介と働く人の紹介が充実している点に特徴がある。だから実はこ

れぐらいしか、見つけることができませんでしたけど、逆に言うとキャリア教育的な記載が非常に多い教科書でした。それでは下のほうを順番に紹介いたします。下の文章は5社とも各社共通であるがというのと、この社ではというのが頭にきております。まず最初の各社共通であるが巻頭で学習の進め方を提示し、探究の課程や課題の把握の方法についてよく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっております。これは本当に5社共通なんですが、この社では具体的にどうかといいますと、巻頭に探究の流れを確認しようのコーナーがある。また考察はここを押さえよ、レポートのまとめ方、議論の仕方、発表の仕方が簡潔にまとめられています。また「科学の本だな」として、その学年の学習内容に関連のある本が紹介されています。これも特徴です。また教科書の各ページには探究のステップ、たとえば「問題の発見」「ふり返り・活用」などの、どの段階にあるか流れ図のように示されています。これが最初の項目です。次もまた「各社共通であるが」ですが、身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学は日常生活、そしてさまざまな事象、現象と関わっていることを実感できるようになっていると。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されていますと。これも5社共通です。この社では、ここはそれが具体的にどうかということをここへ書いています。「まちなか科学」で日常との関連。「歴史にアクセス」で科学史の観点。「なるほどね！」で科学の幅広い話題。その他「お仕事図鑑」「防災特集」「私たちのSDGs」と、読み物が多方面に豊富に用意されています。「なるほどね！」では発展的な話題も多いと。さらに各単元に「社会につながる科学」があって、そこでは科学に携わる人へのインタビュー記事があります。「お仕事図鑑」のコーナーと合わせて、世の中の仕事の紹介と働く人の紹介が充実しております。これは答申の最初に書かれたところの根拠がここです。この「科学につながる社会」でのインタビュー記事が非常に特徴です。インタビュー記事は男性、女性、両方取り上げられています。次、各社共通であるが、随所に確認問題があり学力の定着ができるような工夫がなされています。これも、もちろん5社とも共通です。この社では、単元末に学習内容の整理、単元問題、活用問題があり、問題の解答例は巻末に示されております。教科書の随所に「？」というコーナーで、生徒に問い掛けてもいます。それに対する例も巻末に示されています。2年生の教科書の巻末には、温帯低気圧の立体モデルも付いております。では次は、これも各社共通であるが、実験器具の取り扱いや事故のときの対応についての記載がなされています。これは当たり前ですが、この社では巻末に「理科室の決まり」薬品の扱い方、器具の使い方がまとめられています。また科学で扱う量の測定と表し方もまとめられています。その次ですが、各社共通であるが登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないよう配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られます。これは先ほどの「お仕事図鑑」等で、申し上げたところです。次は各社共通であるが、写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がなされています。調査員の方も和歌山県内のものを一生懸命探してくださいまして、主に地学分野でやはり、自然地理で出てまいります。この社では和歌山県内のものが2点、西牟婁郡のすさみ町の堆積岩、褶曲のところで写真が紹介されております。次、各社共通であるが、二次元コードで記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっております。この社では実験手順、思考ツール、単元末問題、他教科の内容といったリンクが用意されていますと。最後に各社共通であるが、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっております。先ほど、一番最初の保健体育のところでは気が付いたんですが、色についても配慮されております。それから最後に1つ付記してあるのは、この社の裏表紙の、保護者の皆さまへというのにはよく書かれています

けれども、著者からの思いや呼び掛けになっている点が少し読みやすかったです。面白かったと思います。これは東京書籍です。

次、学校図書まいります。答申です、最初の前半の文章同じです。探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を持つ、ICT活用力をつける点でどの社も充実しているが、この社のものは、他社に比べて電子化が質、量ともに徹底的に進められている点。入試問題を念頭に置いた問題を掲載している点に特徴があります。1番最初に5社非常に似ていると言いますが、あえて言うならこの学校図書が一番特徴としては抜きん出ております。ちょっと下のほう、まいります。最初の各社共通であるが、前のものと同じです。巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法についてよく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。この社では、巻頭に「なぜ理科を学ぶの?」「どうする探究の進め方」「どうするレポート」のコーナーを置いている。「なぜ理科を学ぶの?」というのはちょっと特徴です。それからもう1つ、教科名は理科だが、教科書名を科学とした説明が書かれています。これは他の会社も科学だったり、理科だったり、サイエンスだったりするんですけども、あまり他意はないんですけども、この教科書ではなぜ理科と書かないかというのを書いております。それからこの社では各単元の冒頭に「ふり返ろう」「つながろう」として必修事項の整理「Can-Do List」としてできるようになりたい目標が端的にまとめられたページがあります。では次の各社共通ですけども、身近な問題の取り上げや多様な科学の話題づくりの取り上げを行っており、科学の日常生活、そしてさまざまな事象、現象と関わっていることを実感できるようになっています。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されています。この社では教科書の随所に「理路整然」と題したコーナーがあり、探究を深めるための視点の整理、科学的な読みものが紹介されています。またSDGsを意識して「脱炭素社会へ」というコーナーもあります。それでは次の各社共通です。各社共通ですが、随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がなされています。この社では単元末に、学習のまとめとして用語を覚える、基本問題に慣れる、のテーマでそれぞれ1ページずつ出されている。基本問題は解答例が巻末に示されています。また、巻末にはこれとは別に計算問題、読解力強化問題がそれぞれ解答例とともに示されています。さらに「思考を深める」というコーナーで、高校入試問題を模した問題とその解答の方法を示している。これはかなり特徴です。そういう意味でかなり試験問題対策色が、少し他社よりも出ているというのがここです。次の各社共通です。各社共通であるが、実験器具の取り扱いや事故のときの対応についての記載がなされています。この社では巻末の補充資料として器具の基本操作、薬品の取り扱い、さまざまな読み物の紹介、発展的な内容。その次、各社共通であるが、登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題の対応がなされているように見られます。各社共通であるが、写真やイラストが豊富で視覚的に捉えやすい工夫がなされています。この社では写真について和歌山県内のものが2点掲載されています。これも自然地域です。串本町と白浜町のそれぞれ砂岩、泥岩、扇状地のところ。次、各社共通であるが二次元バーコードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっています。この社では、これは調査員の方も非常に驚いておられました。全ページに二次元コードがあり、全紙面が電子化されている。それにとどまらず、ふりがなを付ける、分かち書きで表示する、6カ国語の外国表記で表示される機能がある。さらにChatbotに質問できる機能まで付加されております。やってみました。定期的に更新される科学ニュースもある。本当にありました。このあたりが先ほどの入試問題対策等を含めて非常に特徴

が出ています。最後各社共通であるが、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。カラーデザインについても考慮されています。この社では、他社に比べてページ数が1割程度少ないが、徹底した電子化とともに考えられたと思われます。学校図書終わりです。

次3社目、教育出版まいます。答申、前半部分同じです。探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を持つ、ICT活用力をつける点でどの社も充実しているが、この社のものは他社に比べて大きなフォントを使い、また重要語句を、色を変えて示しているなどの点に特徴がある。下、まいます。各社共通であるが、最初のところです。巻頭で学習の示し方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法についてよく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになってきている。この社では、冒頭に「なぜ理科を学ぶのか?」「探究の進め方」そして基礎技能として「レポートの書き方」「理科室のきまりと応急処置」のコーナーが、また随所に「私のレポート」として具体的なレポートが多数掲載されています。次、各社共通であるが、身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学の日常生活、そしてさまざまな事象、現象と関わっていることを実感できるようになっている。また防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されています。この社では「ハローサイエンス」で科学の話題が紹介され「科学者列伝」「ブリッジ」で他教科との関連、発展のコーナーがあり、そして「やってみよう」「参考」「チャレンジ」で課題を見つける活動や、調べる活動への案内があります。次の各社共通ですが、随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がなされています。この社では、単元末に要点と重要用語の整理、そして基本問題、活用問題、巻末には学年末総合問題があり、問題の解答例は巻末に示されています。次の各社共通であるが実験器具の取り扱いや事故のときの対応についての記載がなされています。この社では、実験等の説明のところで室内換気、保護メガネ、廃液処理などのマークを適宜入れ、実験の作法について要点を押さえるように工夫されています。次、各社共通であるが登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題の対応がなされているように見られます。次の各社共通であるが、写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすいように工夫されています。この社では、写真についての和歌山県内のものが1点ございました。南紀熊野ジオパークの褶曲の写真でした。次、各社共通であるが二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっております。この社では、これまでの学習のおさらい、要点をチェック、参考リンクやワークシート等へのリンクがございました。最後の各社共通ですが、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっているということで、カラーやデザインについても考慮されています。この社ではフォントサイズが他社よりも大きくて、1年生の教科書はさらに大きい。それからこの社では重要語句はすべて橙色の太文字で印刷されており、市販の赤シートで覆って自習することができるようになってきます。

4社目、啓林館。答申のところです。前半同じです。探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を持つ、ICT活用力をつける点でどの社も充実しているが、この社のものは、他社に比べて探究に関する記載が多いこと、SDGsの問題意識を高める工夫がよくなされていること、付録が豊富な点に特徴があります。では下の部分まいます。最初の各社共通であるが、巻頭で学習の示し方を提示し、探究の過程や課題把握の方法についてよく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになってきている。この社では、巻頭に「探究とは」のコーナーがあり、探究の過程の説明があり

ます。また、ICT活用のページがあり、教科書の二次元コードの活用方法の説明があります。次の各社共通であるが、身近な問題の疑問の取り上げや、多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象、現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されています。この社では、単元末に「みんなで探Qクラブ」「ひろがる世界」。そして随所に「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」「深めるラボ」といったコラムが非常に豊富に掲載されています。「深めるラボ」では科学史の観点や発展的な内容がよく取り入れられています。答申の上のところに書きました探究に関する記載が多いといったところの根拠の1つがここです。次、この社の大きな特徴として、巻末に単元ごとの探Qシートの書き込み可能なシートが付いています。これは教科書のなかに「探Q実験」というページがあるのですが、そこに対応しており、実験がこの探Qシートを使って探究的に行えるよう工夫されています。次、各社共通であるが随所に確認問題があり、学力の定着ができるよう工夫されています。この社では、単元末に学習のまとめや力試しの問題があります。問題の解答は巻末に示されています。次、各社共通であるが実験器具の取り扱いや事故のときの対応についての記載がされています。この社では、巻末のサイエンス資料が充実しています。そこで器具の使い方、実験の作法にとどまらず、主な物質や薬品の性質のまとめ、思考ツールの活用法、成果発表の方法を理科で使う算数、数学のまとめまで示されています。「探究もフェアプレイで」というコーナーもあります。これは、中学生からというので大変良いコーナーだなと思います。あと、観察実験で、保護眼鏡、要換気、廃液処理、強い光注意などの注意、安全マークを使った指示が分かりやすく書かれています。次の各社共通であるが、登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られます。各社共通であるが、写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がなされています。この社では、写真について和歌山県内のものが5点掲載されています。これは啓林館が5社のなかで唯一在阪の会社ということもあり、若干関西の写真が多いんですけども、それが和歌山の写真の多さにも表れています。すべて自然地理的な写真でして、ご覧いただくように白浜、橋本、そして和歌山市に至っては、南海トラフに備えた運転士の訓練の写真も掲載されています。天神崎の写真もございます。次、各社共通であるが二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっております。この社では、問題や解説動画がリンクにとどまらず、各単元に振り返りシートが電子的に導入されています。最後の各社共通ですが、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっております。色の配慮もされていると明記されています。

最後5社目、大日本図書です。答申のところ、探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を持つ、ICT活用力をつける点でどの社も充実しているが、この社のものは、他社に比べて小さめの紙面でタブレット端末を置いても机の上に余裕があるように使える点に特徴がある。では、下にまいります。各社共通であるが、巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法についてよく書かれていると。生徒が見通しを持って学べるようになっております。この社では、各学年で巻頭に理科の学習の進め方を説明した見開きがあります。また巻末に、「探究の進め方」、「ノートやレポートの書き方」、「自由研究にチャレンジしよう!」、「行ってみよう!科学館・博物館」といった特集があります。また単元末に「課題を見つけて探究しよう」というコーナーがあると。5枚目ですから、この社では、単元の初めのページにこれまで学習したこと、という見開きがあり、単元に入る前の整理

として便利です。次の各社共通であるが、身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象、現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災、SDGs についての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されております。この社では「つながる」で他教科との関わり、「Science Press」で科学の話題、「くらしの中の理科」で日常生活や社会への活用「Professional」で職業に関する紹介。「科学のあしあと」で科学的な観点が紹介されています。また「Science Press」などでは、発展的な内容も紹介されております。これは他の社もそうですがやはり、職業の話が多くなってきたのは最近の特徴かと思います。次、各社共通であるが随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がなされております。この社では、各章、そして幾つかの章をまとめた単元、それぞれに章末問題、単元末問題があり、その解答例も巻末に記されております。章末問題は考えさせるような問題が多く出ているように思われます。次、各社共通であるが、実験器具の取り扱いや事故のときの対応についての記載がなされております。この社では、巻末仕様として器具の使い方、薬品の使い方、そして理科の学習で活用する算数、数学のまとめがなされております。次の各社共通であるが、登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心へのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られます。これは実際全ページで確認いたしました。各社共通であるが、写真やイラストが豊富で視覚的に捉えやすい工夫がなされております。しかしこの社では写真について特に和歌山県内のもは見当たりませんでした。各社共通であるが、二次元バーコードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっております。次の記載は、二次元コード、ものすごくたくさん入れている会社もあるので、それに比べて淡泊だなということです。この社では二次元コードが実験の説明のところなどで幾つかに見られるにとどまり、全体としては控えめな使い方になっているように感じるというふうに表現いたしました。最後、各社共通であるが、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっていると。実は保健体育のところでも私も気が付いてもう1度見直したんですが、大日本図書は確かに理科も色についての配慮がなされているというふうに、裏表紙には書かれておりませんでした。ただし、確かにカラー、色についての監修が確かになかに入っておりますので、先ほどの保健体育と同じように色についても十分配慮がされていると思いますが、たぶん大日本図書の書き方なのかと思っております。最後、この社だけ教科書の大きさが B4 判と。他社は横幅が A4 判でもうちょっと正方形に近いです。教科書を広げたときに机の上にさらにタブレット端末を置いても作業しやすい大きさになっていると。また1年生の教科書はフォントサイズを大きめにしております。以上です。大変良く似ておりましたけれども、少しだけそれぞれデジタルコンテンツがものすごく豊富とか、入試問題に対応するまでも問題を掲載するとか、大きさが少し違うとか、そのあたりが少し違っていたなという気がいたします。あともう1点申し上げると、たとえば啓林館は非常に理系に強い会社と聞いておりますが、他の会社と啓林館のものに大きな差はございません。その点も確認いたしました、以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。ポイントを絞った答申に加え、丁寧な説明、本当にありがとうございます。今の説明でそれぞれの委員から質問がございませんか。

## 高木選定委員

東京書籍の1番最後のところですが、著者シャからの思いや呼び掛けの言葉によってシャが。

## 富田選定委員

そうでしたね、様が二重敬語になってますね。保護者の皆様へですから、著者からの思い。承知いたしました。ありがとうございます。

## 高幣選定委員長

他にございませんか。いただきました説明も御丁寧にありがとうございました。また必要に応じて答申案に加筆等をお願いすることになると思います。今の説明を答申として教育委員会に提出して、皆様よろしいでしょうか。それでは理科につきまして、審議いただいたものとして選定委員会答申及び答申資料として決議いたします。なお、当教育委員会の説明の際にはさらにポイントを絞って2点程度というのを事務局から言われておりますので、話す原稿等も用意していただきながらと思っております。よろしく願いいたします。ありがとうございました。それでは次、音楽、一般の審議に移りたいと思います。山本委員より答申案を基にして説明をお願いいたします。

---

———音楽（一般）———

## 山本選定委員

よろしく願います。その前にすべて4枚ともそうなんですけど、内容のところ、1行空いていますのでこれを詰めたいと思います。皆様とそろえるという意味で詰めていきたいと思います。では、報告させていただきたいと思います。音楽は2社となっております。

まず教育出版の『中学音楽1、2・3上、2・3下、音楽のおくりもの』について申し上げます。答申、冒頭に教材と適切な学習の進め方を学習マップとして示しており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書だ。内容につきましては、本教科書は歌唱、鑑賞、創作に分けて教材が配置されています。8、9ページには、「学習MAP」として学習のねらいや他の曲との関連性が分かりやすく示され、各領域分野とのつながりが分かります。比較や発展的な学習のための教材が充実しています。たとえば、中1の教科書ですが、歌唱教材で、14、15ページです。同じ映画のなかで使用された曲で、作詞作曲者が同一人物によるもの、その2曲を比較してみよう。鑑賞では『魔王』48ページに鑑賞教材の『魔王』が載っておりますが、『魔王』であれば、ライヒャルトの『魔王』と比較して鑑賞することなどが挙げられます。これらは教科書の『くらべてみよう』と、教科書の下の方に掲載されています。また、音楽を形作っている要素のページが各学年ともまとめて設けられており、子供たちの学習のてびきとして用いることができることが特徴です。二次元コードでは、見る、聴く、記録する、の3種類に分かれており、生徒の自主的な学習に効果的です。巻末に見開きの3ページを使って、カラー写真で楽典や楽器の種類、作曲家等詳しく掲載され、2・3上では二次元コードで各楽器の演奏を聴くことができます。以上、教育出版の特色です。

次に教育芸術社『中学生の音楽1、2・3上、2・3下』です。答申、表現及び鑑賞の活動において、

資質能力の3つの柱に基づいて学習内容が示され、教材、楽曲及び学習活動との関連度を視覚化する工夫がなされている。楽譜が見やすく、学習内容と学び方を明確に示し、知識や技能等の解説が丁寧に示された教科書である。内容については、本教科書は目次の次のページに資質能力の3つの柱に基づいた学習内容が示されており、教材との関連度が視覚化されるということで、この教材ではどういった内容を学ぶのかということが把握しやすくなっています。また、インクルーシブ教育を行う上で写真やイラストの配置の工夫により、使いやすいように配慮されています。そして、教材には学習目標、考えたポイント、音楽を形作っている要素、活動文などが記されており、学習の手順やポイント等に関する解説が丁寧です。歌唱や創作では、多くの部分でキャラクターの会話が挿入されており、これらを参考にしながら学び合いの学習を深めるための工夫ができます。鑑賞では、中1の教科書、50、51ページに日本音楽入門という教材があり、日本文化への理解や関心を促すもので、その後の伝統音楽の学習につなげていくことができます。二次元コードでは各教材の空ピアノが収録されていたり、監修ではその教材に関するさまざまな資料が閲覧できたりするようになっていきます。創作ツールは、読譜が苦手でもリズム譜が作成することができ、誰でも創作活動を楽しむことができるようになっていきます。これらは生徒たちにとって、教材をさらに興味深いものにし、自主的な学習の手助けにもなると考えられます。最後に和歌山に関する教材として、民謡で根来の子守歌、それから地域の伝統音楽としては那智の田楽が挙げられていることも特徴と言えます。以上教育芸術社の音楽一般でした。よろしく申し上げます。

#### 高幣選定委員長

ありがとうございました。音楽、一般についての、答申案について御意見、皆さまどうでしょうか。

#### 高幣選定委員長

答申案について専門的な立場から視点を絞った形でまとめていただいております。ありがとうございます。今、説明いただいた内容を踏まえて、また今後加筆等もあろうかと思えますし、答申として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。それでは音楽、一般につきまして、答申していただいたものを選択委員会、答申及び答申資料として議決いたします。続きまして、音楽、器楽合奏につきまして山本委員より説明をお願いします。

——音楽（器楽合奏）——

#### 山本選定委員

教育出版『中学器楽音楽のおくりもの』について説明させていただきます。答申、楽器ごとに教材が示されており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書である。内容につきましては器楽活動が主となりますが、音のスケッチというコーナーが各所に設けられており、器楽活動に関連させた創作活動や鑑賞活動も行うことができるよう工夫されています。18から21ページを御覧ください。教材ごとに1つの題材を達成すると、演奏の難易度が上がる構成になっており、演奏技能を段階的に培いながら次にどのようなことを学ぶのか、学習の見通しが持ちやすい構成となっています。次に30ページの「表現の仕方を調べてみよう」では、

楽器の仕組みや演奏法、自分の着眼点についてまとめ、思考力、判断力、表現力を培う活動が充実するように配慮され、学び合いの学習と多様な学習の形態を促すよう工夫されています。各題材の冒頭の部分にある「楽器の名手からのメッセージ」は、音楽的な見方や考え方、音楽の楽しさや美しさを生徒に伝えるものとなっています。また、音楽や楽器を通じて人と人とのつながりを生み出す取り組みの紹介など、社会とのつながりやそれらに果たす役割などを考えられるページが設けられています。二次元コードでは、動画、音声、学習のための資料があり、特に模範演奏の動画資料などは生徒が自分自身で練習するときに非常に大きな手助けになると考えます。以上教育出版の器楽でした。

次に教育芸術社『中学生の器楽』について説明します。答申、表現、器楽創作の活動において、資質能力の3つの柱に基づいた学習内容が示され、教材、楽曲及び学習活動との関連度を視覚化する工夫がなされている。学習内容と学び方を明確にし、知識や技能、奏法等の解説が丁寧に示された教科書である。内容の説明です。本教科書は、楽器の奏法、アンサンブル、楽器でメロディ、資料の4段構成になっています。目次の次のページには、表現、器楽創作の活動において、資質能力の3つの柱に基づいた学習内容が示され、教材、楽曲及び学習活動との関連度を視覚化する工夫がなされています。音楽を形作っている要素も例示されています。16、17ページを御覧ください。段階を踏んで取り組み、合奏の学習活動を通じて学び合いの活動を行うことができるよう「学習目標」「活動文」「学びのコンパス」等の学習目標を達成する手掛かりとなるものが見開きで示されています。また音楽的な見方や考え方を意識した学習をさせるために、特に考えたいポイントが教材の冒頭部分に示されています。リコーダーに関しては、学習を進めていくと、技能面ではやや複雑になっていますが、Q&Aのなかで解説することで対応することができています。基本的には器楽の表現活動を中心とする内容となっていますが、「My Melody」のような創作教材やリズムの即興演奏も掲載されています。二次元コードが多く添付され、ほとんどの曲の伴奏が収録されており、自主学習が充実するようになっています。最後に巻末にあるように、和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の姿やインタビューを示すことで、わが国の伝統的な音楽や楽器に親しみを持ち、身近に感じられるような工夫がなされていることも特徴です。以上教育芸術社、中学生の器楽の説明を終わります。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。音楽につきまして、器楽合奏につきましての答申案についての御意見はございませんか。

## 山本委員

最後、1つだけいいですか。載せていないんです。でも、いろいろお話を聞いていて、改めて教科書を見ると、この教育芸術社の音楽の教科書の裏に、この表紙についてのテーマが書かれています。こんなふうに表紙のテーマを載せている教科書というのは、そうないので、このテーマを音楽の教師がどう扱うかとなって、子供たちに教科書を使って授業しますって、1番最初の導入の、各学年が上がって、4月の一番最初の授業で、このテーマ、こんなふうに書かれているけど、たとえば1年生だったら、音楽との出会いとあるんです。そういうようなテーマを言うことによって、音楽の授業の始まりになることはできないかと、ちょっと思ったので、答申の最後に表紙の裏について書きたいと思っているんですけど、不必要ですか。どうでしょうか。教えていただけると。

### 高幣選定委員長

答申に書き加えるか、説明のなかで盛り込むか、どちらかになると思います。

### 山本委員

どちらでも。説明も、どうしても別に、こんな表紙の説明なんかいらぬという感じなら、それはそれでいいんですけど、教科書を見ていて、なかなか珍しいなと思ったので。

### 高幣選定委員長

教科書会社の、これも特徴になるのであれば、説明のほうに、加筆して盛り込んでいただくというのも、特徴の一つです。

### 山本委員

分かりました。ありがとうございます。

### 高幣選定委員長

よろしいでしょうか。それでは、今まで説明をしていただき、丁寧な説明、専門的なこともからんでいただいておりますので、いただいた意見を今後また加筆して答申案として教育委員会に提出をしていきたいと考えて、皆さんよろしいでしょうか。それでは、音楽につきまして、審議いただいたものとして選定委員会、答申及び答申資料として決議いたします。ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは、技術家庭の技術分野の審議に移ります。庄禮委員より答申案を基にして、説明をお願いいたします。

---

### ———技術・家庭（技術分野）———

### 庄禮選定委員

よろしくお願ひします。技術家庭科、技術分野です。教科書は3社ございます。

まず、東京書籍『新編新しい技術・家庭技術分野未来を創る Technology』の答申と特色・工夫についてお話をさせていただきます。答申。教科書の構成と使い方、学習方法、ガイダンスが巻頭に28ページ分掲載され、生徒が中学校で初めて学習する技術の授業に、興味・関心を持って取り組めるようになっている。また、学習指導要領に沿った学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から問題解決の過程を経て、将来の技術のあり方まで展望できる教科書である。続いて、特色と工夫について。答申でも述べましたが、教科書の構成と使い方、学習方法ガイダンスが、巻頭に28ページ分掲載されており、生徒だけでなく、初任の先生や経験の浅い先生にとっても、3年間の技術分野の学習の流れが詳しく、分かりやすく説明されております。各ページに用意されている二次元コードは、令和3年度の教科書と比較しますと、約8倍に増えており、生徒が学びを深めるのに役立つだけでなく、先生の授業づくり

のサポートにも役立っていると思われます。教科書が重く厚くならないよう、重要なエッセンスのみを教科書に掲載し、主体的・対話的で深い学びのために、デジタルコンテンツを活用できるよう、工夫されております。各編で学習する題材には、身近な学習机やトマト、牛、ドライヤーなどを例に挙げ、興味・関心が持ちやすくなっており、問題解決例にも「あったらいいな」を形にする多彩なテーマが取り上げられております。

次に、教育図書『新技術・家庭技術分野明日を創造する』です。答申。ガイダンスの初めに、中学校で新しく学ぶ技術分野が、4編とも小学校で学習してきたことと密接に関わっているということを見開きの2ページで写真も交え具体的に示しており、導入をスムーズに行うことで、技術の学びを広げていける教科書であります。また、各編での実習や実験の手順やポイント、作業の安全や衛生について、詳しく補足説明をしている技能資料が『別冊スキルアシスト』として付けられているのが大きな特徴である。特色と工夫は、答申でも述べましたが、技能資料が『別冊スキルアシスト』として付けられていることです。実習や実験での手順や、作業の安全等について、写真や図で分かりやすく説明されています。ただ、別冊になっているので、生徒が紛失したり、授業で忘れてしまわないかという心配な面もあります。問題解決学習では、授業の流れを4コママンガでイメージしやすくなっており、題材例も簡単な題材から少し複雑なものまで、多くの例が挙げられております。二次元コードから読み取るデジタルコンテンツも、奇数ページの右下に統一して見出しを付け、統一した場所に記載されて、使いやすくなっております。巻末には各編の設計・計画・栽培のワークシートが付けられており、このワークシートも電子データ化されており、教員が使いやすくアレンジできるようになっております。

次に開隆堂です。『技術・家庭技術分野テクノロジーに希望をのせて』答申。学習指導要領に示される技術分野目標「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のように育成することを旨とする」を達成できるよう **Wants**・安全・環境・経済について、各編冒頭で取り上げ、生活や社会のなかの技術を読み取り、問題に目を向け、問題解決の課題に取り組み、学習したことを社会に生かすという流れで学習していける教科書であります。特色と工夫は、学習の基本的な流れを、基礎・基本、問題解決、技術と私たちの未来という構成で共通化することで、各段階で見方・考え方を働かせながら学べるようになっております。小項目は、学習の目標・学習課題・内容・チェックの4段構成になっており、それぞれが関連し合っているので、何を学習するかが分かりやすく、流れに沿って進めることで、確実に資質・能力を育てることができます。問題解決の実習例を各編4例から7例と、比較的多く例示しており、地域や学校、生徒の実態に合わせた適切な実習を選ぶことができます。また実習後に、問題解決の振り返りシートを使って、評価・改善を行うことで、**SDGs**の実現に向けた関わりについても考えさせられる構成になっております。各編のまとめでは、さまざまな分野の技術に関わる方の紹介・インタビューを掲載し、勤労感・職業感を育む教育にも配慮されております。以上です。よろしくお願いいたします。

## 高幣選定委員長

ありがとうございました。技術家庭、技術分野の答申案について御意見はございませんか。

## 高幣選定委員長

答申案につきましては、その専門的な立場からのまとめでありますとか、説明につきましても、ポイントを絞って専門的な分野、また教科書会社の特色について説明をいただきました。今、説明をいただいたことを、また今後、必要においての加筆を含めまして、答申として教育委員会に提出をしてよろしいでしょうか。

### 高幣選定委員長

それでは、技術家庭、技術分野につきまして、審議いただいたものを選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。ありがとうございました。

### 高幣選定委員長

それでは、次、英語の審議に移ります。

---

## 英語

### 十河選定委員

英語は6社です。答申案を始める前に、令和2年度から小学校5・6年生の外国語が必修化され、各社とも小学校の教科書を作成しています。今回は、各社がこの4年間で得たさまざまな声が、中学校の教科書にも反映されています。ここでは各社の小中連携の工夫と、デジタルコンテンツを中心に説明いたします。

初めに東京書籍『NEW HORIZON English Course』。答申。小学校での学びを土台にして、中学校での学習へと円滑に接続する工夫が見られる。また、各学年の初めには全学年の学習をつなぐUnit 0が設けられ、3年間のスムーズな学習が意識されている。多様な切り口から言語活動をバランス良く積み上げ、豊富なデジタルコンテンツをそろえた教科書である。Book1の表紙を2枚めくってください。小中連携の観点から、小学校の学びを意識し「小学校で学んだことを整理しよう」を目標にUnit 0からUnit 4を使い、音声を中心にまとまりのある配列が工夫され、音から文字へ、表現から文法へと、中学校の学習につないでいます。1つページをお戻りください。デジタルコンテンツについては、豊富に用意されており、再生する速度が選べる機能が付いた本文再生や、用例をジャンル別に収めた用例辞典、文法解説動画、文法クイズ、単語クイズなど、生徒の意欲を引き出す工夫がなされています。「Word Room」は、英単語がジャンルに分けて部屋に収められているので、発信の際には参照しやすいつくりになっています。また、デジタル資料室は当該学年だけでなく、他の学年の箇所も参照できるので、学年の壁を越え、豊かな言語活動ができます。

次に開隆堂です。答申。小学校での学習の基礎の上に立って、話すことを軸に、4技能5領域の能力を総合的に扱っている。確かな学力が身に付くように、易から難への段差をスムーズにした言語活動を仕組んでいる。各学年の目標から逆算し、目的・場面・状況を意識した言語活動を数多く設定した教科書となっている。Book1の7ページを御覧ください。小中連携の観点から13ページを割いて、小学校でできるようになったことを確認し、橋渡しができる「Get Ready」を設け、中学校への学習へのギャップを軽減しています。音声を聞く活動から導入し、苦手意識を持ってしまった生徒にも安心感を与えています。デジタルコンテンツでは、英語音声やアニメーション、実写動画などが用意されています。

また、単語学習アプリを登載し、4つの出題パターンで新出語の定着を図り、フラッシュカード機能や、音声再生機能などの配慮がなされています。

次に三省堂『NEW CROWN English Series』です。答申。音声から文字、基礎・基本を確実に習得する練習問題から、コミュニケーション活動へとスムーズな流れを作るよう、活動を配列している。さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じて言葉を使って理解し、表現し、伝え合いながらコミュニケーションを図ることのできる生徒の育成を意図している教科書である。Book 1の7ページを御覧ください。小学校で聞いたり話したりした活動に取り組む「Starter」が18ページにわたり準備され、小学校で学んだ語句や表現を振り返り、中学校の学びにスムーズにつなげられる配慮がなされています。また、18ページから24ページには、小学校で学んだ語句や表現を収録した「My Dictionary」を配置し、カテゴリー別に掲示された語句や表現を振り返りながら、今後の学習のなかで活用し続けることで、基礎的な語句が定着できる工夫がなされています。デジタルコンテンツは、音声や映像を使った教材が用意されており、二次元コードを利用して、発音のチェックや、辞書機能にアクセスすることができ、個別最適な学びが準備されています。

次は教育出版『ONE WORLD English Course』です。答申。聞く・読む・話す・書くのすべての言語活動において、初めに目標が提示され、生徒がその授業で何ができるようになるかをはっきりと理解して取り組むことができる。4技能5領域をバランス良く身に付け、コミュニケーションツールとして英語力を伸ばす教科書である。Book 1の6ページを御覧ください。小学校で学習した表現や語彙を音声や文字で振り返り、友達とやりとりしたり書いたりして、振り返ることができる「Springboard」が配置されています。20ページには英語学習のポイントで、「相手意識をもとう」、「音声を活用しよう」、などが紹介されています。デジタルコンテンツは、二次元コードを利用してアクセスできる「まなびリンク」を設け、音声やワークシート教材が用意されており、文法解説動画やフラッシュカード機能、キーセンテンスを録音してモデルと比べる機能など、個別最適な学びが準備されています。

次は光村図書『Here We Go! ENGLISH COURSE』です。答申。それぞれの学年・学期・単元で、できるようになることを明確にし、言語活動を系統的に編成することで、資質・能力を育成し定着を図っていく。等身大の中学生が織りなすストーリーを通して、社会の多様性に目を向けながら自他の大切さを学ぶことができる教科書である。Book 1の6ページを御覧ください。中学校の学びへの導入教材の「Let's Be Friends!」では、小学校の既習表現や、語彙を振り返り、最後にまとまりのある自己紹介を無理なく取り組むことができる構成になっています。38ページをご覧ください。Unit 3までは聞き取り中心で、このように文字は必要最小限にとどめ、小学校と中学校の橋渡しを企図しています。二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは750以上を設定し、速度調節機能を持った音声、実写を伴う映像、文法解説、ピクチャーカードの並べ替えなど、ICTならではの個別最適な学びができる工夫がなされています。

最後に啓林館『BLUE SKY English Course』です。答申。目的・場面・状況に応じたコミュニケーションが図れるよう、言語活動をスモールステップで設定し、知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。世界平和やユニバーサルデザイン、エネルギー問題など、現代社会の諸課題を積極的に取り上げ、生徒の興味や関心に対応した教科書である。Book 1の表紙を1枚めくって御覧ください。「BLUE SKY World Map」が掲載され、各学年で学習する国や地域、人種、民族が登場しており、国際理解や異文化を深める工夫がなされています。また同じページに登場人物の紹介が示されています。

4 ページを御覧ください。中学校の学びへの導入教材の「Let's Start」では、小学校で慣れ親しんだ、聞く・話す・文字と音を振り返り、中学校での学習につなげています。また小学校で聞く・話すを中心に学んできたことを踏まえ、Unit 1 から Unit 5 までは話すことを中心に目標を設定しています。二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは700以上を設定し、本文の音声、新出語句の音声、リスニング音声、本文アニメーション映像や、文法解説動画などが用意されています。以上です。なお、答申案にあります、特集と工夫のところですが、漢字の誤変換や読点の脱落等見られます。最後、全体を通して確認し、訂正したいと思います。以上です。

### 高幣選定委員長

説明ありがとうございます。英語の答申案について、皆さん、御意見はございませんか。

### 高幣選定委員長

専門的な立場で答申案の作成に関わってくださっております。今、説明していただいた中身につきまして、今後の加筆を含めまして、また答申として教育委員会への提出をさせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、英語について審議いただいたものを選定委員会答申及び答申資料として議決いたします。続きまして、道徳の審議に移ります。川端委員より答申案を基に説明をお願いいたします。よろしく申し上げます。

---

### ———道徳———

### 川端選定委員

最後の選定になります。道徳の教科書は7社です。まず最初に東京書籍の、『新編新しい道徳』について答申します。教材冒頭に学習のテーマを配置し、観点を共有して学習を進められるようにしている。定番教材を増やすとともに、YouTuber や分身ロボットなど、生徒に身近な題材を扱った教材や、防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材を充実させている。授業の導入や章末、自宅学習など、さまざまな場面で活用できる教科書となっている。内容の特徴として、物事を多面的・多角的に考えられるよう、読み物教材はもちろん、マンガやグラフなど、さまざまな形の教材が用意されている。また、教科書のなかでこういう場面が出ていますっていうのは、また付け加えたいと思います。教材冒頭の右上に内容項目の視点を色と絵柄で示し、教材のテーマも示し、ねらいからずれずに授業展開できるようになっている。各教材の末には「考えよう」「見つめよう」があり、主に道徳的価値に迫る中心的な問いと、自我関与として発展的に考えることのできる問いが示されている。NHK for school の番組ストーリーを紙面に落とし込んで、全学年、紙面と同じ内容の動画に二次元コードからアクセスでき、文章を読むことが苦手な生徒も、楽しく参加できるようにしている。以上です。

次に、教育出版は『中学道徳とびだそう未来へ』です。答申として、魅力的な教材と、誰にでも理解しやすい発問構成で、生徒の考えたい・話し合いたい、を引き出し、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしている。学校や生徒の実態に合ったカリキュラムづくりに柔軟に対応できる教材構成であり、活力ある授業を支えています。内容として、道徳の授業について、1年生では何を学ぶか、2年生ではどう学ぶか、3年生では学びを広げる。学年末の『「よりよく生きる」って、どういうことだろう?』

で道徳科の学びを今後の生き方に生かし、生徒それぞれのウェルビーイングの実現につなげようとしている。誰もが取り組みやすく、生徒が主役となる授業づくりのために、教材は内容把握のしやすさを大切に、話し合い活動に誰もが参加できるように考えられている。教材での学びを豊かに広げたり、さらに深めたり、他の教科や特別活動の時間と関連づけられる多彩な内容「ひろば(コラム)」を設けています。教育出版を以上で終わります。

次に光村図書の『中学道徳きみがいちばんひかるとき』です。答申として「主体的な学び手を育てる」「自ら問いをもち探求する」「人権に対する感性を育む」を軸に内容が編集されています。全学年、年間を9つのテーマを持ったユニットで構成し、いじめを許さない心、共生、情報モラルなど、全学年に共通するものもあれば、学年の発達段階に応じたテーマも設定されています。内容項目間を関連づけ、より効果的な学習ができる主体的・対話的に学びが深まる授業を実現できる工夫が施された教科書です。内容として、人権について考えることを大切にしています。自分も他者も大切に感じる感覚を養うため、さまざまな教材を用意しています。人権についてしっかりとじっくりと考えられるよう「共に生きるために大切なこととは？」というユニットを設けています。各学年3つの教材とコラムで構成されていて、人権と向き合うために、3年間を通して人権について知ってほしいこと、考えてもらいたいことをコラムにしています。3年間系統立てて掲載されています。問うことの楽しさを実現するために、自ら問いを立てて考えていくことを促し、何だろうと問うことの楽しさを感じるために、「なんだろう なんだろう」を掲載し、生徒が楽しみながら考えることができるようにしています。以上で光村図書を終わります。

続いて、日本文教出版『中学道徳あすを生きる』と『あすを生きる道徳ノート』。日本文教出版だけ道徳ノートというのが付いております。答申。道徳ノートを別冊で付け、教科書と同じ配列で心の成長を記録するようにしています。「いじめと向き合う」「より良い社会を考える」の2つのユニットを年に複数回組んで集中的に学ぶことができるなど、テーマのまとまりを意識し、系統的・発展的に学習できる教科書です。内容として各学年「学びを深めよう」のページを設け、問題解決的な学習や体験的な学習などの流れと資料を示し、学びの見通しや思考の広がり・深まりにつながる工夫をしています。学びのための配慮として、人権への配慮では多様性を挙げ、全ページ、人権面に配慮しています。特別支援教育への配慮として、ユニバーサルデザインに配慮した紙面、個に応じた指導を支えられるように工夫しています。ユニットとして「いじめと向き合う」は、いじめの事例を直接扱った教材と、違う視点から間接的に考える教材の両方で構成されています。コラムは知識を深めるものと、スキルを身に付けるものの2段階構成で構成し、多面的・多角的に考えられるようになっています。いじめが起きやすい時期に年間複数回配置して、1年生には3カ所、2年生・3年生には2カ所となっています。1年生では5月・9月・1月の時期に取り扱うようになっております。夏休み明けの時期に配置することで、いじめの未然防止につながるようになっています。以上で日本文教出版を終わります。

続いて **Gakken** です。『新版中学生の道徳明日への扉』です。答申。道徳の学習に興味や関心を持って取り組めるように、内容・構成に配慮して編集されています。今の時代を生きる上で、必要不可欠な情報と解決すべき現代的課題を扱った教材や、誰にとっても優しいユニバーサルデザインなど工夫されており、多様な学び方や他の人と考えを深めることができる教科書です。内容として、最重点テーマを命の教育とし、生命の尊さはすべての学年で3本ずつ用意されています。また、内容項目でその尊さに改めて気付くように、教材冒頭の上に命のマークを付け、複数用意し、生命について多面的・多角的に

考えられるようにしています。主体性を育む多様な学び方や、ICT活用も積極的に取り入れ、学びの幅を広げるための例を表示しています。キャリアへの意識を高められるよう、さまざまな分野で活躍する人々のライフストーリーを教材にしています。身近な人の生き方から、生徒たちはより自分の将来について考えられるようにもしています。以上で **Gakken** を終わります。

あかつき教育図書の『中学生の道徳』。答申。読み継がれてきた定番教材から多様な現代課題を扱う教材まで、生徒たちの心に触れ揺さぶる授業ができるように教材にこだわり、生徒が自分を見つめ、他者と対話し、学びを深めていくことができる教科書です。道徳をどのように学んでいくかを「自分を見つめて考える」、「いろいろな見方で考える」、「自分の生き方を考える」、の3つのステップで示しています。授業開きでは「はじまりの時間」、1年生は「小さな勇気」、2年生は「自分の人生って。」、3年生は「自分と向き合う」という教材で、今の自分を見つめることから始まる内容となっています。学期ごとに、また1年間の授業の取り組みを振り返ることができるシートが巻末にあります。学びを深めるために、教材の冒頭に視点をマークで、「自分自身に関すること」、「人との関わりに関すること」、「集団や社会との関わりに関すること」、「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表示しています。教材末の「自分を見つめて考える」では、主体的な学び・対話的な学びのどちらかを選定し、「考えを深める」では、道徳的な価値に照らして思考や対話を促すような発問を示しています。以上で、あかつき教育図書を終わります。

最後に日本教科書。この日本教科書だけは、学年によって教科書名が変わります。1年生は『道徳中学校1 生き方から学ぶ』、2年生は『道徳中学校2 生き方を見つめる』、3年生は『道徳中学校3 生き方を創造する』となっています。答申。読解に偏りがちであった教材を、生徒自身自ら考える教材へと変え、考え合ってほしいことに切り込むために、教材の視覚化を図った教科書です。内容として、ガイダンス1教材と本編34教材の35教材、学習指導要領の内容項目、「自分自身と向き合う」、「人との関わり」、「集団や社会との関わり」、「自然や崇高なものとの関わり」をテーマで配列されていますが、ここは他社と違うのは、年間を通した配列は、学校行事等に合わせて、学校ごとに配列を考えることができる、自由に組み立てられるというのが1つの特徴になっております。教材テキストだけでなく、動画やマンガ、写真やグラフなど、多彩な情報が積極的に取り入れられています。また、ウェルビーイングカードを扱う短い教材が各学年に用意されています。ウェルビーイングカードというのは、授業のなかで内容項目そのものについて学ぶだけでなく、生徒自身が自分はどうの価値を大事にしているかを意識しそれについて生徒同士で議論するツールで、各学年、教科書の巻末の付録に付けられているものです。これを使っているんな他の人との会話というのが進むのではないかなと考えられております。以上です。

## 高幣選定委員長

ありがとうございます。それでは道徳についての答申案について、御意見、皆さんどうでしょうか。

## 川端選定委員

1個やりながら気付いたんですが、光村図書の内容で、説明はしなかったんですが「道徳の授業として1、第1教材に道徳の学習」で何か勝手に改行してしまったので、これ「道徳の学習を始めよう」と続いていきますので、ここは訂正しておきます。

## 高幣選定委員長

改行位置の修正をお願いしておきます。他にどうでしょうか。

## 高幣選定委員長

今、説明いただいた専門的な立場からまとめていただいている答申案について、今後、加筆修正等が生じることがあると思いますが、答申として教育委員会に提出という形でよろしいでしょうか。それでは、道徳について審議していただいたものを、選定委員会答申及び答申資料として決議いたします。長時間にわたり、ありがとうございます。これですべての教科・種目の答申及び答申資料について議決していただきましたので、次の内容にて答申としたいと思います。答申及び答申資料案の1ページを御覧ください。1枚めくったところです。今、見ていただいているのは答申案としての鑑の文章でございます。和歌山市教育委員会教育長宛に選定委員長の私から答申をすることになります。答申の内容を読み上げていきます。令和7年度和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について（答申）。令和6年5月9日付和教研第87号において、和歌山市教育委員会阿形博司教育長から、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について諮問がありました。これを受けて、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会は、教科・種目ごとのすべての教科書について、調査研究を進め、同月9日から5回にわたり審議を重ねました。ついでには、ここに審議結果を「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申」として取りまとめ「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料」を添えて答申いたします。このような鑑文を付けて答申という形で提出をしていきたいと思っております。今、読み上げたものに、本日の審議内容を受けて加筆修正いただいた答申及び答申資料を添えて、7月10日開催の教育委員会に提出いたします。御承認いただけますか。ありがとうございます。

## 高幣選定委員長

長時間にわたって本当にありがとうございました。教育長から諮問を受けて第1回選定委員会以来、本当に長期にわたって慎重な調査、審議を重ねることができました。委員の皆様方が御多忙のなか、多くの教科・種目の教科書についての詳細な調査研究を行っていただいた結果だと思っております。本当にありがとうございます。また、何度も委員の方には出席をいただき、活発に協議を重ねることができました。おかげをもちまして委員会としての答申をまとめることができました。大変ありがたく思っております。これをおかげで、第5回選定委員会を終了いたします。なお、皆さんの選定委員としての任期は8月31日までとなっておりますので、その旨よろしくお願ひしたいと思います。それでは長時間どうもありがとうございました。お気を付けてお帰りください。